

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年2月28日
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
糸島市地域公共交通会議	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行 (白糸線)	バス路線を維持していくため、沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤなどの見直しを必要に応じて実施する。	A	B	定時定路線バス時間帯等の利用状況を注視し、ダイヤ改正等により、収支の改善を図る。	<p>・評価の指標は、路線別の収支率。</p> <p>・公共交通マップのHP上での情報提供やバス停におけるベンチの設置等の待合環境の整備等、路線毎の細やかなダイヤやルートの見直しによる利便性向上の取組を着実に実施されていることを評価します。</p> <p>また、自治会や民生委員、交通事業者と協力しながら、利用促進の取組を実施されていることも評価します。</p> <p>・「⑤目標・効果の達成状況」について、目標達成出来ていない系統については、利用者層の属性等に着目するなど、系統ごとにその特性を丁寧に分析した上で、目標達成に向けた来年度の事業の改善に努めていただくことを期待します。</p> <p>また、目標を達成した系統についても詳細に達成要因を分析を行っていただき、地域の日常的な利用需要の安定的な増加を期待します。</p> <p>・あわせて評価指標の「収支率」については、公共交通を確保維持していくためには、投資の発想も必要であり、支出を減らすことが必ずしも是でないとの視点を持った上で、支出と収入のバランスを考えつつ、収支率の向上に努めていただくことを期待します。</p> <p>・今後「⑥事業の今後の改善点」に挙げられた取組及び地域公共交通計画の施策を着実に実施していただくとともに、交通事業者、地域に加え、他分野の関係者との連携と協働による「共創」の取組を推進し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。</p>	
		コミュニティバスの運行 (雷山線)	曾根線等におけるオンデマンドバスの利用状況を踏まえながら日中のオンデマンド化と、運動公園へのアクセス確保を含めダイヤや路線などの見直しにより、利便性の向上につなげ、収支の改善を図る。	A	C	定時定路線バス時間帯等の利用状況を注視し、ダイヤ改正等により、収支の改善を図る。		
		コミュニティバスの運行 (曾根線波多江経由)	オンデマンドバス運行時間帯以外の運行は、利用状況を踏まえながら、問題点の改善(ダイヤ改正等)を図り、更なる利便性の向上と収支の改善を図る。	A	C	オンデマンドバス運行時間帯以外の運行については、利用状況を踏まえながら、問題点の改善(ダイヤ改正等)を図り、更なる利便性の向上と収支の改善を図る。		
		コミュニティバスの運行 (曾根線有田経由)	運動公園へのアクセス確保を含めダイヤや路線などの見直しや、オンデマンドバス運行時間帯以外の利用状況を踏まえながら、問題点の改善を図り、更なる利便性の向上と収支の改善を図る。	A	C	オンデマンドバス運行時間帯以外の運行については、利用状況を踏まえながら、問題点の改善(ダイヤ改正等)を図り、更なる利便性の向上と収支の改善を図る。		
		コミュニティバスの運行(井原山線)	オンデマンドバス運行の導入、オンデマンドバスは、自治会等と協力して、会員登録と利用を促進し、オンデマンドバス運行時間帯以外の運行については、利用状況を踏まえながらダイヤ改正等により、更なる利便性の向上と収支の改善を図る。	A	B	オンデマンドバス運行時間帯以外の運行については、利用状況を踏まえながら、問題点の改善(ダイヤ改正等)を図り、更なる利便性の向上と収支の改善を図る。		
		コミュニティバスの運行 (川原線)	交通計画策定に伴う市民アンケートの結果等を活用し、バス路線を維持していくため、沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤなどの見直しを必要に応じて実施する。	A	C	引き続き、沿線住民への情報提供や利用啓発を行いながら、利用促進を図るとともに、利用状況や収支状況、ニーズ等を踏まえ、適宜必要に応じてダイヤ改正を実施するなど、収支の改善を図る。 また、オンデマンドバスへの転換についても、必要に応じ検討を行う。		
		コミュニティバスの運行 (前原北原線)	沿線住民への情報提供や利用啓発を行う。また、路線短縮に伴う利用状況を検証し、ダイヤの見直しなどを適宜実施し、収支改善を図る。	A	B	沿線住民への情報提供や利用啓発と共に、利用状況を見ながら、ダイヤなどの見直しを適宜必要に応じて実施することにより、収支の改善を図る。		
		コミュニティバスの運行 (九大線油・油比経由)	公共交通マップ等情報提供による啓発等を事業として利便性利用率向上を目指し、国際村構型の進捗等を踏まえ、便数や路線の検討を行い、収支改善を目指す。 九州大学関係者の利用状況を踏まえ、運行車両の最大値を上げ、輸送力の強化を図る。	A	C	公共交通マップ等情報提供による啓発等を事業として利便性利用率向上を目指す。 また、長距離路線であることから、より効率的な運行路線への見直し等を検討する。		
		コミュニティバスの運行 (初深江線)	公共交通マップ等情報提供による啓発等を事業として利便性利用率向上を目指した。	A	C	公共交通マップ等情報提供による啓発等を事業として利便性利用率向上を目指す。 また、長距離路線であることから、より効率的な運行路線への見直し等を検討する。		
		コミュニティバスの運行 (産業団地線)	市街地循環線のオンデマンドバス化に伴い、代替補充路線として令和4年10月より開始した路線。	A	A	公共交通マップ等情報提供による啓発等を事業として利便性利用率向上を目指す。 また、路線の主な利用者である産業団地等の通勤者や企業進出等を踏まえ、増便等のダイヤ改正等の検討を行い、利用者の増加を目指す。		
		コミュニティバスの運行 (篠原線)	市街地循環線のオンデマンドバス化に伴い、代替補充路線として令和4年10月より開始した路線。	A	C	公共交通マップ等情報提供による啓発等を事業として利便性利用率向上を目指すとともに、利用状況等を踏まえ、より効率的な運行路線となるようダイヤ改正等の検討を行い、必要に応じて実施する。		
		オンデマンドバスの運行 (オゾコよかまちみらい号) (曾根線・井原山線エリア)	R4年10月より井原山線沿線を運行エリアとして拡大。利用者の声を踏まえながら課題等を改善するとともに、拡大エリアを中心に、自治会等と協力して、会員登録と利用を確保する。 また、乗合率を高めることにより、効率的な運行につなげ、収支の改善を図る。	A	C	利用者の声を踏まえながら課題等を改善するとともに、自治会等地域住民と協力して、会員登録と利用促進を図る。 また、乗合率を高めることにより、効率的な運行につなげ、収支の改善を図る。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
朝倉市地域公共交通活性化協議会	ひまわりタクシー(4条) →あいのりタクシー黒川線	○運行区間 黒川地区～久喜宮・志波地区経由～杷木地区	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	C	路線毎に沿線コミュニティ組織と運行事業者、市(行政)の三者が一体となって利用者推移を注視しながら、目標値達成のために、朝倉市地域公共交通網形成計画の施策でもある以下の取組(事業改善)を推進する。 ・コミュニティバス運行に関する認知度の向上及び住民意識の醸成。(出前講座等)	評価の指標は、路線毎の利用者数。 ・昨年度に引き続き、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動等の利用促進に継続的に取り組まれていることを評価します。	
	ひまわりタクシー(4条) →あいのりタクシー杷木東部線	○運行区間 松末地区～杷木地域中心部、杷木地区内	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	A	・多様な媒体を活用した広報活動(HP、市報等) ・災害の復旧状況を見極めながら、コースの再編	・「③前回の事業評価結果の反映状況」及び「⑥今後の事業の改善点」については、R5年度と同様の内容でなく、R5年度に実施した事業についての評価結果を反映した形で効果的にPDCAが回るような形での自己評価を行っていただきますようお願いいたします。	
	市(78条) →あいのりスクールバス高木地域(佐田コース)	○運行区間 佐田地区～矢野竹経由～十文字	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	B	・運行サービス水準の統一基準に基づき、運行便数等の見直し(便数、時間帯、運行日等) ・利用促進及び運行内容の改善に関する三者協議(地域、運行事業者、市)の場を必要に応じ設ける。	・「⑤目標・効果の達成状況」については、目標達成出来ない系統については、利用者層の属性等に着目するなど、系統ごとにその特性を丁寧に分析した上で、目標達成に向けた来年度の事業の改善に努めていただくことを期待します。 また、目標を達成した系統についても詳細に達成要因を分析を行っていただき、地域の日常的な利用需要の安定的な増加を期待します。	
	市(78条) →あいのりスクールバス高木地域(黒川コース)	○運行区間 黒川地区～矢野竹経由～十文字	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	B			
	安全タクシー(4条) →あいのりタクシー馬田線	○運行区間 馬田地区～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	B			
	安全タクシー(4条) →あいのりタクシー福城線	○運行区間 蟻城地区～福田地区～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	A			
	安全タクシー(4条) →あいのりタクシー矢野竹線	○運行区間 矢野竹～十文字～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	A			
	安全タクシー(4条) →あいのりタクシー美奈宜の社線	○運行区間 矢野竹～美奈宜の社地区～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	A			
	矢野タクシー(4条) →あいのりタクシー長瀬線	○運行区間 大福地区～金川地区～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	A			
	矢野タクシー(4条) →あいのりタクシー上秋月・安川線	○運行区間 上秋月地区～安川地区～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	B			
	矢野タクシー(4条) →朝倉地域コミュニティバス	○運行区間 朝倉・宮野・大庭・福成地区～朝倉地域中心部	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	B			・今後「⑥事業の今後の改善点」に挙げられた取組及び地域公共交通計画の施策を着実に実施していただくとともに、交通事業者、地域に加え、他分野の関係者との連携と協働による「共創」の取組を推進し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業の) 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大牟田市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス大牟田(株)	米の山・黒崎団地線(18番系統) ●西鉄大牟田営業所～大牟田駅前～黒崎団地前 ●大牟田駅前～新栄町～黒崎団地前 ●新栄町～手越～黒崎団地前	【系統の分析、目標値の見直し】 市内及び沿線の人口減少、生活様式の変化等により利用者がコロナ禍前の7割程度となっている。また、本路線は利用頻度に応じた便数の見直しが行われたことから、新たに収支率の改善を目標値として設定する。 収支率の改善を図るには利用促進の取組が必要であり、交通事業者等と連携しながら以下の取組を行った。 ・おむた「大蛇山」まつり100円バス、公共交通デジタルスタンプラリーを実施した。 ・おむた1日乗り放題バスきっぷを販売した。 ・小学校の低学年を対象にしたバスの乗り方教室を9校で実施した。 ・石炭産業科学館でバス運転手体験会とバス車体体験を実施した。 ・おむた産業フェスタで公共交通利用促進のPRをおこなった。	A	C	生活交通確保維持改善計画に掲げる目標について、「全市民の公共交通等の利用に対する満足度」は上回ったものの、「フィーダー補助路線の利用者数」は下回った。利用者数が下回った要因として、本系統において非効率なサービス提供の見直しを行い、運行の効率化を図ったことがあげられる。一方で収支率は下がったものの、下がり幅は小さく、一定効率化の成果が得られたと考える。 今後も目標達成のため、利用促進や更なる見直しを交通事業者と連携しながら進める必要がある。	・評価の指標は、全市民の公共交通等の満足度、フィーダー補助5系統合計の利用者数、系統収支率。 ・「おむた大蛇山まつり」での100円バスや公共交通デジタルスタンプラリー、1日乗り放題切符の販売等等、積極的な利便性向上の取組を着実に実施されていることを評価します。 また、小学生に対するバスの乗り方教室等、現在だけでなく、将来を見据えた利用促進の取組を実施されていることも評価します。 さらに大きな課題である運転手不足に対して、バス運転手体験会等の取組も実施されていることは高く評価します。	
	西鉄バス大牟田(株)	米の山・黒崎団地線(10番系統) ●西鉄大牟田営業所～市立病院～普光寺 ●西鉄大牟田営業所～大牟田駅前～米の山 ●大牟田駅前～普光寺 ●大牟田駅前～米の山 ●西鉄大牟田営業所～大牟田駅前～普光寺	同上 普光寺のバス停で降車の際に配布される抽選券で特産品が当たるイベントを実施した。	A	C	生活交通確保維持改善計画に掲げる目標について、「全市民の公共交通等の利用に対する満足度」は上回ったものの、「フィーダー補助路線の利用者数」は下回った。利用者数が下回った要因として、本系統において非効率なサービス提供の見直しを行い、運行の効率化を図ったことがあげられる。一方で収支率は下がったものの下がり幅は小さく、運行の効率化及び本系統のみが対象の利用促進の取組が一定効果があったものと思われる。 今後も目標達成のため、利用促進や更なる見直しを交通事業者と連携しながら進める必要がある。	・「⑤目標・効果の達成状況」について、目標達成出来ていない系統については、利用者層の属性等に着目するなど、系統ごとにその特性を丁寧に分析した上で、目標達成に向けた来年度の事業の改善に努めていただくことを期待します。 また、人口減少等により利用者数の目標は達成できなかったと分析されていますが、人口減少の割合と利用者数を比較する等の観点から、人口減少等以外に特殊要因がないかの分析を行っていただくことも期待します。 あわせて評価指標の「満足度」については、目標を達成しており評価するもの、達成した要因を丁寧に分析していただくことを期待します。	
	西鉄バス大牟田(株)	上宮線(16番系統) ●ゆめタウン大牟田～笹林～倉掛 ●ゆめタウン大牟田～笹林～万田坑 ●ゆめタウン大牟田～笹林～万田坑	【系統の分析、目標値の見直し】 市内及び沿線の人口減少、生活様式の変化等により利用者がコロナ禍前の7割程度となっており、現状利用者の増加を見込むことは厳しいため、新たに収支率の改善を目標値として設定する。 収支率の改善を図るには利用促進の取組が必要であり、交通事業者等と連携しながら以下の取組を行った。 ・おむた「大蛇山」まつり100円バス、公共交通デジタルスタンプラリーを実施した。 ・おむた1日乗り放題バスきっぷを販売した。 ・小学校の低学年を対象にしたバスの乗り方教室を6校で実施した。 ・石炭産業科学館でバス運転手体験会とバス車体体験を実施した。 ・おむた産業フェスタで公共交通利用促進のPRをおこなった。	A	C	生活交通確保維持改善計画に掲げる目標について、「全市民の公共交通等の利用に対する満足度」は上回ったものの、「フィーダー補助路線の利用者数」は下回った。また、本路線は運行の効率化等を実施していないため、収支率が10番18番と比較して大きく下がっている。 今後も目標達成のため、利用促進や非効率なサービス提供の見直し、運行の効率化を交通事業者と連携しながら進める必要がある。	・また、今回新たに設定された評価指標「収支率」については、公共交通を確保維持していくためには、投資の発生も必要であり、支出を減らすことが必ずしも是でないとの視点を持った上で、支出と収入のバランスを考えつつ、収支率の向上に努めていただくことを期待します。	
	西鉄バス大牟田(株)	大牟田市内線(1番系統) ●西鉄大牟田営業所～大牟田駅前～三池中町 ●西鉄大牟田営業所～大牟田駅前～久福木田地	【系統の分析、目標値の見直し】 市内及び沿線の人口減少、生活様式の変化等により利用者がコロナ禍前の7割程度となっている。また、本路線は便数の見直しが行われたことから、新たに収支率の改善を目標値として設定する。 収支率の改善を図るには利用促進の取組が必要であり、交通事業者等と連携しながら以下の取組を行った。 取組については、同上。	A	B	生活交通確保維持改善計画に掲げる目標について、「全市民の公共交通等の利用に対する満足度」は上回ったものの、「フィーダー補助路線の利用者数」は下回った。一方で本路線の利用者数、収支率とも前年度より改善しており、利用が少ない時間帯の運行の効率化などによるものと思われる。 今後も目標達成のため、利用促進の取組を交通事業者と連携しながら進める必要がある。	・今後「⑥事業の今後の改善点」に挙げられた取組及び地域公共交通計画の施策を着実に実施していただくとともに、交通事業者、地域に加え、他分野の関係者との連携と協働による「共創」の取組を推進し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
	西鉄バス大牟田(株)	吉野線(57番系統) ●西鉄大牟田営業所～橋交差点・大牟田病院前～西鉄大牟田営業所 ●西鉄大牟田営業所～橋交差点・大牟田病院前～大牟田市立病院 ●大牟田市立病院～橋交差点・大牟田病院前～大牟田市立病院	【系統の分析、目標値の見直し】 市内及び沿線の人口減少、生活様式の変化等により利用者がコロナ禍前の7割程度となっている。また、本路線は、令和5年11月1日から便数の1部を新大牟田駅前へ乗り入れ、運行総距離が増えたこと、また乗り入れによる利用者の伸びが多かったためと考えられる。 収支率の改善を図るには利用促進の取組が必要であり、交通事業者等と連携しながら以下の取組を行った。 取組については、同上。	A	C	生活交通確保維持改善計画に掲げる目標について、「全市民の公共交通等の利用に対する満足度」は上回ったものの、「フィーダー補助路線の利用者数」は下回った。また、本系統の収支率は他系統と比べて下がり幅が大きく、要因として、令和5年11月1日から便数の1部を新大牟田駅前へ乗り入れ、運行総距離が増えたこと、また乗り入れによる利用者の伸びが多かったためと考えられる。 今後も目標達成のため、利用促進や新大牟田駅への乗り入れ便数の再検討など、交通事業者と連携しながら進める必要がある。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
柳州市地域公共交通協議会	柳州市 大和みなみ線	大和みなみ地域の運行 【車両減価償却費国庫補助金対象系統】	・公共施設や病院等、比較的コミュニティバスの利用が多い場所に時刻表を配架し、利用促進を図った。	A	B	大和ひがし線、三橋線の利用者は1便あたりの利用者数が前年比+0.5人と増加した。両路線とも、前年比で柳川ショッピングモールでの乗降が1.2倍程度になっており、買い物を目的とした利用者増によるものと推測できる。大和みなみ線、大和ひがし線、市街循環線は1便あたりの利用者数が前年よりも減少した。特に市街循環線は、目標値と実績が-2.0人と大きく乖離している。これは、令和5年4月に便数を5便から10便に増便したが、目標値は令和5年度から+0.1人増としていたことが原因。そのため、今後市街循環線の目標値見直しを検討していく。目標が達成できなかった路線については、引き続き利用者増のための利用促進活動を行いたい。	・評価の指標は、1便当たりの利用者数。 ・昨年度に引き続き、公共施設や病院への時刻表の配架等の利用促進に継続的に取り組まれていることを評価します。	
	柳州市 大和ひがし線	大和ひがし地域の運行	・公共施設や病院等、比較的コミュニティバスの利用が多い場所に時刻表を配架し、利用促進を図った。	A	A		・「⑤目標・効果の達成状況」について、目標達成出来ていない系統については、利用者層の属性等に着目するなど、系統ごとにその特性を丁寧に分析した上で、目標達成に向けた来年度の事業の改善に努めていただくことを期待します。	
	柳州市 大和にし線	大和にし地域の運行 【車両減価償却費国庫補助金対象系統】	・公共施設や病院等、比較的コミュニティバスの利用が多い場所に時刻表を配架し、利用促進を図った。	A	B		また、目標を達成した系統については、その達成要因がきちんと分析されており、今後も丁寧な分析を継続いただき、地域の日常的な利用需要の安定的な増加を期待します。	
	柳州市 三橋線	三橋地域の運行 【車両減価償却費国庫補助金対象系統】	・公共施設や病院等、比較的コミュニティバスの利用が多い場所に時刻表を配架し、利用促進を図った。	A	B		・今後「⑥事業の今後の改善点」に挙げられた取組及び地域公共交通計画の施策を着実に実施していただくとともに、交通事業者、地域に加え、他分野の関係者との連携と協働による「共創」の取組を推進し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
	柳州市 市街循環線	市街地の運行 【車両減価償却費国庫補助金対象系統】	・公共施設や病院等、比較的コミュニティバスの利用が多い場所に時刻表を配架し、利用促進を図った。	A	B			
久山町地域公共交通活性化協議会	新宮タクシー㈱ ◎補助対象系統 ＜久原線＞ レスポアール～山の神～久山療育園前～役場玄関前～下久原～レスポアールの運行(時計回り) ＜久原線＞ レスポアール～山の神～役場玄関前～深井～レスポアール～猪野経由便> トリアス久山～猪野～篠栗駅	＜久原線＞ レスポアール～山の神～久山療育園前～役場玄関前～下久原～レスポアールの運行(時計回り) レスポアール～山の神～久山療育園前～山の神～レスポアールの運行 ＜猪野経由便＞ トリアス久山～下山田～猪野～山の神～久原療育園前～久山温泉前～大浦～篠栗駅前の運行	＜取組み内容＞ ・計画どおりの運行を実施し、路線の維持・存続を図るとともに、利用状況に応じたイコバスの幹線・巡回の運行本数・運行ダイヤの変更等を行い、利便性向上を行った(令和5年3月～)。 ・イコバス及び西鉄バス、JR九州バス、JR九州の、総合的な公共交通マップの改訂版を作成するとともに、乗継ぎ情報等も掲載し、公共交通の利用促進に努めた。 ＜変更した主な事業概要と検討手順＞ ・利用者アンケート調査結果に基づき、幹線系統について、平日の夜19時の増便を行い、篠栗駅での待ち時間を短縮。 ・町内巡回のダイヤ調整を行い、行きと帰りの両方において利用しやすい便を設定。 ・町役場への意見を随時受付。モニタリング結果も踏まえて、変更対応可能なものについて適宜検討し、実施。	A	B	・イコバス幹線系統(町外への通勤通学での利用がメイン)と町内巡回(町内での買い物・通院での利用がメイン)の異なる利用ニーズへの対応を図るとともに、運行事業者の運転士不足・高齢化等にも対応するために、幹線系統の他の交通モードとのダイヤ調整や、町内巡回の再編・運行形態の変更等の継続検討が求められる。 ・イコバス及び西鉄バス、JR九州バス、JR九州(鉄道)を一体的に捉え、町内外公共交通体系の整備を継続的に行うことが求められる。	・評価の指標は、1便当たりの利用者数と満足度。 ・町役場への意見を随時受付されているモニタリングと利用者アンケートに基づき、ダイヤ等の変更を実施し、利用者利便を向上に努めていることを評価します。 また、地域のコミュニティバスだけでなく、路線バス、鉄道も含めた総合時刻表の作成などの交通をネットワークと捉えた利用促進を継続的に実施されていることも評価します。	
						・「③前回の事業評価結果の反映状況」については、R5年度内容の更新でなく、R6年度の評価結果を反映した形で、R6年度の取組をご記載いただき、効果的にPDCAが回るような形でのご自己評価を行っていただきますようお願いいたします。		
						・「⑤目標・効果の達成状況」については、全系統を目標に掲げるのではなく、系統ごとに目標を設定し、利用者層の属性等に着目するなど、系統ごとにその特性を丁寧に分析し、あわせて目標達成された要因分析等を行った上で、次年度の事業の改善に努めていただくとともに、目標を達成した指標についても詳細に達成要因を分析を行っていただき、地域の日常的な利用需要の安定的な増加を期待します。		
鞍手町地域公共交通会議	MGタクシー株式会社	長谷線 (神田公民館～鞍手駅)	利用促進を図るために町内の公共施設、病院、銀行等にバスガイドの配布などを行った。 バス利用促進の啓発グッズを庁舎内に配置した。	A	A	もやいタクシーにおける予約時間や移動可能な区間などの制限を解消するため、代替交通手段としてAIを活用したオンデマンド交通を導入し、利便性や効率性の向上を図っていく。	・評価の指標は、系統ごとの利用者数。 ・昨年度に引き続き、町内の公共施設、病院、銀行等へのバスガイドや啓発グッズの配布・配置等の利用促進に継続的に取り組まれていることを評価します。	
	MGタクシー株式会社	古月線 (古門栄町～くらしの郷)	利用促進を図るために町内の公共施設、病院、銀行等にバスガイドの配布などを行った。 バス利用促進の啓発グッズを庁舎内に配置した。	A	C	もやいタクシーにおける予約時間や移動可能な区間などの制限を解消するため、代替交通手段としてAIを活用したオンデマンド交通を導入し、利便性や効率性の向上を図っていく。	・「③前回の事業評価結果の反映状況」については、R5年度と同様の内容でなく、R6年度の評価結果を反映した形で効果的にPDCAが回るような形でのご自己評価を行っていただきますようお願いいたします。	
	MGタクシー株式会社	泉水線 (永谷公民館～鞍手駅)	利用促進を図るために町内の公共施設、病院、銀行等にバスガイドの配布などを行った。 バス利用促進の啓発グッズを庁舎内に配置した。	A	B	もやいタクシーにおける予約時間や移動可能な区間などの制限を解消するため、代替交通手段としてAIを活用したオンデマンド交通を導入し、利便性や効率性の向上を図っていく。	また、目標を達成した系統についても詳細に達成要因を分析を行っていただき、地域の日常的な利用需要の安定的な増加を期待します。	
						・今後「⑥事業の今後の改善点」に挙げられた取組(AIを活用したオンデマンド交通)及び地域公共交通計画の施策を着実に実施していただくとともに、交通事業者、地域に加え、他分野の関係者との連携と協働による「共創」の取組を推進し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考		
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果			
那珂川市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス二日市(株)	南畑線 ※【令和2年3月】 車両(ノンステップバス) 1台購入 ⇒南畑線及び通動かわせみ (一部路線)で運用開始	効率的な利用促進策として、以下の取り組みを実施した。 (1)JR博多南線との接続性確保 ⇒JR博多南線のダイヤ改正が無かったことから、かわせみバスのダイヤも変更しないことで接続性の維持を図った。 (2)バスに関するイベントの実施 ⇒バスの利用促進を図る目的で、運行事業者や周辺自治体担当者等と共同で企画・準備を行い「バスの日」記念イベントを実施した。	A	A	固定利用者の減少等の理由により通動かわせみの利用者が昨年度から減少しているものの、かわせみバス全体の利用者は昨年度に引き続き増加傾向にあり、特に南畑線は前年度比116%と大きく増加している。これは日中時間帯における需要がコロナ禍前と同等水準まで回復したことによるものと推測されるが、バスの日記念イベントの実施等の利用促進を図る取り組みの効果も出ていると思われる、これら路線に対する生活交通としての市民の需要の高さがうかがえる。 今後は、これまで通りJR博多南線への接続性確保を第一に考えたダイヤ見直しを適時実施することで利用者数の増加を図っていくことを基本とするが、昨今の乗務員不足問題によりバスの運行継続が難しい状況であることを鑑み、AIオンデマンド交通のような定時路線形式の運行にとられない新しい運行形態への転換についても検討していく必要がある。 また「バスの日」記念イベントについては、バスに関する貴重な情報発信の場となっていることから、今後も継続して実施に向け検討していく。	・評価の指標は、採算性及び利用者数。 ・昨年度に引き続き、交通事業者や周辺自治体担当者等と連携した「バスの日」記念イベントの実施等の利用促進に継続的に取り組まれていることを評価します。			
	西鉄バス二日市(株)	通動かわせみ ※【令和2年3月】 車両(ノンステップバス) 1台購入 ⇒南畑線及び通動かわせみ (一部路線)で運用開始		A	B	「⑤目標・効果の達成状況」については、系統毎に分析を実施されており、今後も引き続き、利用者層の属性等に着目するなど、系統ごとにその特性を丁寧に分析した上で、目標達成に向けた来年度の事業の改善や地域の日常的な利用需要の安定的な増加に努めていただくことを期待します。 ・評価指標の「採算性」については、公共交通を確保維持していくためには、投資の発想も必要であり、支出を減らすことが必ずしも是でないとその視点を持った上で、支出と収入のバランスを考えつつ、採算性の向上に努めていただくことを期待します。 ・今後「⑥事業の今後の改善点」に挙げられた取組(AIを活用したオンデマンド交通の検討)及び地域公共交通計画の施策を着実に実施していただくとともに、交通事業者、地域に加え、他分野の関係者との連携と協働による「共創」の取組を推進し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。				
飯塚市地域公共交通協議会	(有)Shonai観光 飯塚東地区	飯塚東地区内及び越智外科胃腸科医院・ハローデイ柏の森店・上の谷バス停・飯塚記念病院入口・カホテラス・鶴三橋(西鉄バス停)への運行	利用ガイドの全戸配布・市報による利用促進の呼びかけ等の広報活動を継続することで、住民に対する周知については一定の効果が出ている。 利用者数増加の課題である利用者登録手続きの簡素化については、パソコンやスマートフォンによる電子申請を可能とし、登録者の増加と住民サービス向上に取り組んだ。 利用者を含めた住民からの要望等については、電話や窓口での聞き取りのほか、まちづくり協議会、自治会長会等の各種団体からの意見についても継続して収集するなど、可能な限り反映し、運行改善を行っている。また、利用促進や多様な意見の収集のため、地域活動団体への周知広報活動を増加した。	A	B	(ア)令和7年度版の利用ガイドのページ数を増加するなど、高齢者等の利用者に、よりわかりやすいように作成し、市民への周知に努める。 (イ)年々、予約乗合タクシーの利用方法や有効性の認知が拡大し、今年度は451人が追加登録された。今後も引き続き市民への周知活動の強化に取り組み、利用促進を図る。 (ウ)モニタリング調査等により利用者ニーズを把握し、民間公共交通とコミュニティ交通との役割分担を考慮した、効果的・効率的で持続可能な公共交通体系づくりを通して利用促進を図る。 (エ)感染症対策は継続して行う。 (オ)地区外運行施設の増加 (カ)他用途で使用(本デマンド型と定期路線型の兼用)している区分を調整し、本デマンド型の運行時間を拡充する。	・評価の指標は、コミュニティ交通全体の利用者数。 ・昨年度に引き続き、利用ガイドの全戸配布や市報による利用促進の呼びかけ等の広報活動等の利用促進に継続的に取り組まれていることを評価します。 また、まちづくり協議会、自治会長会、地域活動団等と連携しながら、運行改善や広報活動を行っていること、その他課題である利用者登録の簡素化等サービス改善に取り組まれていることも評価します。			
	(有)Shonai観光 庄内地区	庄内地区内及び筑豊緑地・トライアル上三緒店への運行								
	綜合交通(株) 鎮西地区 (八木山地区以外)	鎮西地区(八木山地区以外)内及び飯塚市立病院・せき損センター・ミスターマックス花瀬店・イオン穂波店への運行								
	(有)Shonai観光 筑穂地区	筑穂地区内及び済生会病院・青山医院・JR桂川駅への運行								
	穂波タクシー(株) 穂波地区	穂波地区内及びJR筑前大分駅・ゆめタウン飯塚への運行								
	安全タクシー(有) 諺田・鯉田地区	諺田・鯉田地区内及び筑豊緑地への運行								
	綜合交通(株) 鎮西地区 (主に八木山地区)	鎮西地区(主に八木山地区)内及び飯塚市立病院・せき損センター・ミスターマックス飯塚花瀬店・イオン穂波店への運行								
	綜合交通(株) 二瀬地区	二瀬地区内及びせき損センター・イオン穂波店・金澤整形外科への運行								
	(有)安全タクシー 幸袋地区	幸袋地区内及びJR鯉田駅・川食鯉田店・ハローデイ丸工大前店・諺田病院への運行								

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
川崎町地域公共交通会議	川崎町	安宅コースの運行	公共施設等に時刻表を設置しコミュニティバスの周知、利用促進に努めた。町民アンケート調査等を実施し、町民及び利用者のニーズに合った商業施設への乗り入れや路線再編を検討した。	A	B	引き続き公共施設やイベント開催時等で時刻表やグッズを配布し、コミュニティバスの周知を行い、利用促進を図る。また、行った町民アンケート調査等の結果をもとに主要施設等への乗入れや路線再編案を作成し利便性向上及び利用者増加に努める。	・評価の指標は、系統毎の利用者数。 ・昨年度に引き続き、コミュニティバスの周知等の利用促進や町民アンケートを継続して実施されていることを評価します。	
	川崎町	木城・荒平コースの運行	公共施設等に時刻表を設置しコミュニティバスの周知、利用促進に努めた。町民アンケート調査等を実施し、町民及び利用者のニーズに合った商業施設への乗り入れや路線再編を検討した。	A	B	引き続き公共施設やイベント開催時等で時刻表やグッズを配布し、コミュニティバスの周知を行い、利用促進を図る。また、行った町民アンケート調査等の結果をもとに主要施設等への乗入れや路線再編案を作成し利便性向上及び利用者増加に努める。	・「③前回の事業評価結果の反映状況」については、R5年度と同様の内容でなく、R5年度の評価結果を反映した形で効果的にPDCAが回るような形での自己評価を行っていただきますようお願いいたします。	
	川崎町	上真崎・永井コースの運行	公共施設等に時刻表を設置しコミュニティバスの周知、利用促進に努めた。町民アンケート調査等を実施し、町民及び利用者のニーズに合った商業施設への乗り入れや路線再編を検討した。	A	B	引き続き公共施設やイベント開催時等で時刻表やグッズを配布し、コミュニティバスの周知を行い、利用促進を図る。また、行った町民アンケート調査等の結果をもとに主要施設等への乗入れや路線再編案を作成し利便性向上及び利用者増加に努める。	・「⑤目標・効果の達成状況」について、目標達成出来ていない系統については、利用者層の属性等に着目するなど、系統ごとにその特性を丁寧に分析した上で、目標達成に向けた来年度の事業の改善に努めていただくことを期待します。 また、目標を達成した系統についても詳細に達成要因を分析を行っていただき、地域の日常的な利用需要の安定的な増加を期待します。	
	川崎町	池尻・田原コースの運行	公共施設等に時刻表を設置しコミュニティバスの周知、利用促進に努めた。町民アンケート調査等を実施し、町民及び利用者のニーズに合った商業施設への乗り入れや路線再編を検討した。	A	B	引き続き公共施設やイベント開催時等で時刻表やグッズを配布し、コミュニティバスの周知を行い、利用促進を図る。また、行った町民アンケート調査等の結果をもとに主要施設等への乗入れや路線再編案を作成し利便性向上及び利用者増加に努める。	・今後「⑥事業の今後の改善点」に挙げられた取組及び地域公共交通計画の施策を着実に実施していただくとともに、交通事業者、地域に加え、他分野の関係者との連携と協働による「共創」の取組を推進し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
	川崎町	三井・大峰コースの運行	公共施設等に時刻表を設置しコミュニティバスの周知、利用促進に努めた。町民アンケート調査等を実施し、町民及び利用者のニーズに合った商業施設への乗り入れや路線再編を検討した。	A	A	引き続き公共施設やイベント開催時等で時刻表やグッズを配布し、コミュニティバスの周知を行い、利用促進を図る。また、行った町民アンケート調査等の結果をもとに主要施設等への乗入れや路線再編案を作成し利便性向上及び利用者増加に努める。		
岡垣町地域公共交通協議会	(株)西部遠賀交通	・岡垣循環線13系統 【車両減価償却費等国庫補助金対象系統】 ・岡垣町予約型乗合タクシー1系統	【利便性の向上】 ①海老津駅での接続を考慮した運行ダイヤの設定。 ②時刻表に、JRとの乗り継ぎ可能な便を記載し、利便性の向上を図った。 ③小中学校の登下校時間に合わせたダイヤの調整。 ④買い物時間に配慮したダイヤの調整。 ⑤中央公民館での乗り継ぎを円滑にするようバス停の新設を行った。また、利用者の安全を考慮したバス停の移設を行った。 【利用促進】 ①住民向け利用促進講座と講座受講者に対する無料乗車券の配布。	A	A	岡垣町第4次公共交通体系整備計画(岡垣町地域公共交通計画)を基本とした上で、乗降調査の客観的データを活用することで、住民ニーズを捉えた持続可能な運行計画を策定する。	・評価の指標は、網形成計画を策定時(H27事業年度)の利用者数の確保。 ・昨年度から引き続きJRとの接続を配慮したダイヤ設定をされていることに加え、小中学生や買い物、中央公民館等での乗り継ぎに考慮した運行計画の設定など利用者利便性向上に努められていることを評価します。 また、住民向け利用促進講座や無料券の配布等、一度乗ってもらうような利用促進を行っていることについても高く評価します。 ・また、昨年度に引き続き今年度も目標を達成されたことは高く評価する一方、「⑤目標・効果の達成状況」については、全系統を目標に掲げるのではなく、系統ごとに目標を設定し、利用者層の属性等に着目するなど、系統ごとにその特性を丁寧に分析し、あわせて目標達成された要因分析等を行った上で、次年度の事業の改善に努めていただくことを期待します。 ・今後「⑥事業の今後の改善点」に挙げられた取組及び地域公共交通計画の施策を着実に実施していただくとともに、交通事業者、地域に加え、他分野の関係者との連携と協働による「共創」の取組を推進し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
須恵町地域公共交通協議会	須恵町	<p>■コミュニティバス運営事業 ・一番田～上須恵線 ・佐谷～建正寺線 ・平原～大間線</p> <p>■コミュニティバス購入事業 ・令和3年度に車両減価償却費等庫庫補助金を活用し、緑バスを購入。</p>	<p>【R5評価結果】 評価の指標は、系統毎の利用者数、大学と連携した利用者動向モニタリング調査や、バス位置情報の発信、乗り継ぎ拠点である福祉センターにデジタルサイネージを設置するなど、利用者ニーズを把握されるとともに利便性向上に取り組まれていることを評価します。フューチャー対象系統は前年度から利用者数が増加したことにより、目標を達成されており、全体の利用者数についてもコロナ禍前の令和元年度を超える利用者数があったことを評価します。今後も協議会が挙げられている関係団体・施設と連携した町民の回遊サポートを実施されるとともに、令和6年に策定される地域公共交通計画の施策が着実に実施されることにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。</p> <p>【R6目標設定および対応策】 (目標) 乗降者数前年度比100%を確保する (対応策) ①料金減免証発行促進 ②バス停情報等オープンデータ化 ③大学との連携事業 ◆バス位置情報発信 ◆利用者動向モニタリング実施 ◆福祉センターにデジタルサイネージ設置 ④地域公共交通計画の策定 ⑤コミュニティバスのパンフレットを作成し利用促進につなげる</p>	A	A	<p>①地域公共交通計画に基づき、持続可能な公共交通体系の構築を目指す。 ②今後のコミュニティバス全体の再編に向けて情報収集や現状の整理を行う。</p>	<p>・評価の指標は、利用者数。 ・昨年度に引き続き、大学と連携したバス位置情報の発信やバス停情報のオープンデータ化等の利用者の利便向上に継続的に取り組まれていることを評価します。 ・「③前回の事業評価結果の反映状況」及び「⑥今後の事業の改善点」については、R5年度と同様の内容でなく、R5年度に実施した事業についての評価結果を反映した形で効果的にPDCAが回るような形で自己評価を行っていただきますようお願いいたします。 ・「⑤目標・効果の達成状況」については、全系統を目標に掲げるのではなく、系統ごとに目標を設定し、利用者層の属性等に着目するなど、系統ごとにその特性を丁寧に分析し、あわせて目標達成された要因分析等を行った上で、次年度の事業の改善に努めていただくことを期待します。 ・今後「⑥事業の今後の改善点」に挙げられた取組及び地域公共交通計画の施策を着実に実施していただくとともに、交通事業者、地域に加え、他分野の関係者との連携と協働による「共創」の取組を推進し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。</p>	
八女市地域公共交通協議会	大丸タクシー(株)	八女エリア 平日のみ1日8便運行(土・日・祝日は運休)	・ふれあいサロンや広報・HPIによる利用促進に努めた。	A	B	<p>市中心部として商業施設や病院関係施設も充実しているエリアであり、安定した需要が見込まれる。 幹線系統バスとの乗継ぎ利便性の向上等、利用者増加策を検討する。併せて、サロンやシニアクラブでの利用説明会の実施や広報等周知活動を行っていく。</p>	<p>・評価の指標は、系統毎の利用者数。 ・昨年度に引き続き、ふれあいサロンや広報・HPIによる利用促進に継続的に取り組まれていることを評価します。 ・「③前回の事業評価結果の反映状況」については、R5年度と同様の内容でなく、R5年度の評価結果を反映した形で効果的にPDCAが回るような形で自己評価を行っていただきますようお願いいたします。 ・「⑤目標・効果の達成状況」については、目標達成出来ていない系統については、利用者層の属性等に着目するなど、系統ごとにその特性を丁寧に分析した上で、目標達成に向けた来年度の事業の改善に努めていただくことを期待します。 また、目標を達成した系統についても詳細に達成要因を分析を行っていたとき、地域の日常的な利用需要の安定的な増加を期待します。 ・今後「⑥事業の今後の改善点」に挙げられた取組及び地域公共交通計画の施策を着実に実施していただくとともに、交通事業者、地域に加え、他分野の関係者との連携と協働による「共創」の取組を推進し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。</p>	
	大丸タクシー(株)	辺春エリア 平日のみ1日8便運行(土・日・祝日は運休)	・ふれあいサロンや広報・HPIによる利用促進に努めた。	A	B	<p>乗合タクシーの登録率が高いエリアだが、制度導入から10年超が経過し、利用者の高齢化が進むとともに利用者減少も見受けられる。 幹線系統バスとの乗継ぎ利便性の向上等、利用者増加策を検討する。併せて、サロンやシニアクラブでの利用説明会の実施や広報等周知活動を行う。</p>		
	大丸タクシー(株) 堀川バス(株)	白木エリア 平日のみ1日8便運行(土・日・祝日は運休)	・ふれあいサロンや広報・HPIによる利用促進に努めた。	A	A	<p>乗合タクシーの登録率が高いエリアだが、制度導入から10年超が経過し、利用者の高齢化が進んでいる。 幹線系統バスとの乗継ぎ利便性の向上等、利用者増加策を検討する。併せて、サロンやシニアクラブでの利用説明会の実施や広報等周知活動を行っていく。</p>		
	堀川バス(株) (有)川島タクシー	矢部エリア 平日のみ1日8便運行(土・日・祝日は運休)	・ふれあいサロンや広報・HPIによる利用促進に努めた。	A	B	<p>乗合タクシーの登録率が高いエリアだが、制度導入から10年超が経過し、利用者の高齢化および人口減少が進むとともに利用者が減少している。 幹線系統バスとの乗継ぎ利便性の向上等、利用者増加策を検討する。併せて、サロンやシニアクラブでの利用説明会の実施や広報等周知活動を行っていく。</p>		
	(有)八女観光バス	上隅エリア 平日のみ1日8便運行(土・日・祝日は運休)	・ふれあいサロンや広報・HPIによる利用促進に努めた。	A	B	<p>利用者の高齢化とともに人口減少が利用者減少の要因と考えられる。 幹線系統バスとの乗継ぎ利便性の向上等、利用者増加策を検討する。併せて、サロンやシニアクラブでの利用説明会の実施や広報等周知活動を行っていく。</p>		
	堀川バス(株) (有)川島タクシー (株)くろき	旧黒木町エリア 平日のみ1日8便運行(土・日・祝日は運休)	・ふれあいサロンや広報・HPIによる利用促進に努めた。	A	B	<p>利用者の高齢化とともに人口減少が利用者減少の要因と考えられる。 幹線系統バスとの乗継ぎ利便性の向上等、利用者増加策を検討する。併せて、サロンやシニアクラブでの利用説明会の実施や広報等周知活動を行っていく。</p>		
	星野タクシー(有)	星野エリア 平日のみ1日8便運行(土・日・祝日は運休)	・ふれあいサロンや広報・HPIによる利用促進に努めた。	A	B	<p>利用者の高齢化とともに人口減少が利用者減少の要因と考えられる。 幹線系統バスとの乗継ぎ利便性の向上等、利用者増加策を検討する。併せて、サロンやシニアクラブでの利用説明会の実施や広報等周知活動を行っていく。</p>		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車線	まちなか循環線 社会保険田川病院～大浦上ノ山団地の運行	利便性向上のためのデジタル定期券、パスロケーションシステムの導入。広報紙等による利用促進。	A	A	デジタル回数券の発行やその他券種の見直しを行う。 新規利用者獲得のためのチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。	評価の指標は、系統毎の輸送人員。 ・デジタル定期券、パスロケーションシステムの導入などの利用者利便の向上や広報紙等による周知などの利用促進に取り組みられていることを高く評価します。	
	田川構内自動車線	坂谷線 坂谷～社会保険田川病院の運行	利便性向上のためのデジタル定期券、パスロケーションシステムの導入。広報紙等による利用促進。	A	A	デジタル回数券の発行やその他券種の見直しを行う。 新規利用者獲得のためのチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。	「⑥目標・効果の達成状況」について、利用者層の属性等に着目するなど、系統ごとにその特性を丁寧に分析した上で、来年度の事業の改善に努めていただくとともに、目標を達成した系統についても詳細に達成要因を分析を行っていただき、地域の日常的な利用需要の安定的な増加を期待します。	
	田川構内自動車線	伊加利・鎮西線 田川市立病院～田川伊田駅前の運行	利便性向上のためのデジタル定期券、パスロケーションシステムの導入。広報紙等による利用促進。	A	A	デジタル回数券の発行やその他券種の見直しを行う。 新規利用者獲得のためのチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。	・また、公共交通を確保維持していくためには、投資の発想も必要であり、支出を減らすことが必ずしも是でないとの視点を持った上で、支出と収入のバランスを考えつつ、引き続きデジタル化・DX化の推進に努めていただくことを期待します。	
	田川構内自動車線	弓削田・川宮線 社会保険田川病院～田川市立病院の運行	利便性向上のためのデジタル定期券、パスロケーションシステムの導入。広報紙等による利用促進。	A	A	デジタル回数券の発行やその他券種の見直しを行う。 新規利用者獲得のためのチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。	・今後「⑥事業の今後の改善点」に挙げられた取組及び地域公共交通計画の施策を着実に実施していただくとともに、交通事業者、地域に加え、他分野の関係者との連携と協働による「共創」の取組を推進し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
	田川構内自動車線	桜町・川宮線 社会保険田川病院～田川市立病院の運行	利便性向上のためのデジタル定期券、パスロケーションシステムの導入。広報紙等による利用促進。	A	B	早朝便の時間帯を運くことで、利用者の増加を図る。 デジタル回数券の発行やその他券種の見直しを行う。 新規利用者獲得のためのチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。		
	田川構内自動車線	糯・夏吉線 メルクス前～田川伊田駅前の運行	利便性向上のためのデジタル定期券、パスロケーションシステムの導入。広報紙等による利用促進。	A	A	デジタル回数券の発行やその他券種の見直しを行う。 新規利用者獲得のためのチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。		
	田川構内自動車線	岩屋・夏吉線 メルクス前～田川伊田駅前の運行	利便性向上のためのデジタル定期券、パスロケーションシステムの導入。広報紙等による利用促進。	A	A	デジタル回数券の発行やその他券種の見直しを行う。 新規利用者獲得のためのチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業の) 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
遠賀町地域公共交通会議	遠賀町	・遠賀町コミュニティバス 田園・松の本快速線(1)時計回り(遠賀川駅(北口)～松の本～遠賀川駅(北口))の運行 ・遠賀町コミュニティバス 田園・松の本快速線(2)反時計回り(遠賀川駅(北口)～松の本～遠賀川駅(北口))の運行	町の広報紙に、バスのお得情報を掲載した。 また、体験乗車や出前講座の募集を行うなど、利用促進の取り組みを行った。	A	B	前年度に比べ、利用者が249人減少している。 団地での高齢化の影響により通勤、通学者の減少が大きな理由と考えられる。 引き続き広報紙へのバスの利便性の掲載や体験乗車の募集などの利用促進をはじめ、令和5年3月に策定した遠賀町地域公共交通計画に記載した利用促進事業に取り組みことで遠賀町コミュニティバスの利用促進を図っていく。	・評価の指標は、系統毎の利用者数。 ・広報紙でのバスのお得情報を掲載など利用促進に取り組まれていることを評価します。 ・体験乗車や出前講座については、昨年度に引き続き開催に至らなかったとのことなので、来年度は開催できるよう手法等の工夫を行っていただくことを期待します。	
	遠賀町	・遠賀町コミュニティバス 虫生津・浅木快速線(1)反時計回り(遠賀川駅南口～蓮角～遠賀川駅南口)の運行 ・遠賀町コミュニティバス 虫生津・浅木快速線(2)時計回り(遠賀川駅南口～蓮角～遠賀川駅南口)の運行	町の広報紙に、バスのお得情報を掲載した。 また、体験乗車や出前講座の募集を行うなど、利用促進の取り組みを行った。	A	B	前年度に比べると、利用者が537人減少している。 団地での高齢化の影響により通勤、通学者の減少が大きな理由と考えられる。 引き続き広報紙へのバスの利便性の掲載や体験乗車の募集などの利用促進をはじめ、令和5年3月に策定した遠賀町地域公共交通計画に記載した利用促進事業に取り組みことで遠賀町コミュニティバスの利用促進を図っていく。	・「⑤目標・効果の達成状況」について、利用者層の属性等に着目するなど、系統ごとにその特性を丁寧に分析されており、高く評価するとともに、引き続き、詳細に利用状況や背景を分析を行っていただき、地域の日常的な利用需要の安定的な増加を期待します。 ・今後「⑥事業の今後の改善点」に挙げられた取組及び地域公共交通計画の施策を着実に実施していただくとともに、交通事業者、地域に加え、他分野の関係者との連携と協働による「共創」の取組を推進し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
	遠賀町	・遠賀町コミュニティバス 田園・松の本線(1)時計回り(遠賀川駅(北口)～松の本～遠賀川駅(北口))の運行 ・遠賀町コミュニティバス 田園・松の本線(2)反時計回り(遠賀川駅(北口)～松の本～遠賀川駅(北口))の運行	町の広報紙に、バスのお得情報を掲載した。 また、体験乗車や出前講座の募集を行うなど、利用促進の取り組みを行った。	A	A	前年度に比べ、利用者が979人増加している。 駅の利用や買い物目的の利用が増加してきたことが大きな理由と考えられる。 引き続き広報紙へのバスの利便性掲載や体験乗車の募集などの利用促進をはじめ、令和5年3月に策定した遠賀町地域公共交通計画に記載した利用促進事業に取り組みことで遠賀町コミュニティバスの利用促進を図っていく。		
	遠賀町	・遠賀町コミュニティバス 虫生津・浅木線(1)反時計回り(遠賀川駅(北口)～遠賀高校～遠賀川駅(北口))の運行 ・遠賀町コミュニティバス 虫生津・浅木線(2)時計回り(遠賀川駅(北口)～遠賀高校～遠賀川駅(北口))の運行 ・遠賀町コミュニティバス 虫生津・浅木線(3)反時計回り(遠賀川駅(北口)～ふれあいの里～遠賀川駅(北口))の運行	町の広報紙に、バスのお得情報を掲載した。 また、体験乗車や出前講座の募集を行うなど、利用促進の取り組みを行った。	A	A	前年度に比べ、利用者が2787人増加している。 買い物目的の利用や町内にある公立高校の生徒の利用が増加したことが理由と考えられる。 引き続き広報紙へのバスの利便性掲載や体験乗車の募集などの利用促進をはじめ、令和5年3月に策定した遠賀町地域公共交通計画に記載した利用促進事業に取り組みことで遠賀町コミュニティバスの利用促進を図っていく。		
	遠賀町	・遠賀町コミュニティバス 島津・尾崎線(1)反時計回り(遠賀川駅(北口)～尾崎～遠賀川駅(北口))の運行 ・遠賀町コミュニティバス 島津・尾崎線(2)時計回り(遠賀川駅(北口)～尾崎～遠賀川駅(北口))の運行	町の広報紙に、バスのお得情報を掲載した。 また、体験乗車や出前講座の募集を行うなど、利用促進の取り組みを行った。	A	A	前年度に比べ、利用者が166人増加している。 路線全体で大きな変動は見られませんでした。 引き続き広報紙へのバスの利便性掲載や体験乗車の募集などの利用促進をはじめ、令和5年3月に策定した遠賀町地域公共交通計画に記載した利用促進事業に取り組みことで遠賀町コミュニティバスの利用促進を図っていく。		
	遠賀町	・遠賀町コミュニティバス 老良・広渡線(1)時計回り(遠賀川駅(北口)～ふれあいの里～遠賀川駅(北口))の運行 ・遠賀町コミュニティバス 老良・広渡線(2)反時計回り(遠賀川駅(北口)～ふれあいの里～遠賀川駅(北口))の運行	町の広報紙に、バスのお得情報を掲載した。 また、体験乗車や出前講座の募集を行うなど、利用促進の取り組みを行った。	A	A	前年度に比べ、利用者が292人増加している。 団地から通院や買い物目的の利用が増加してきたことが大きな理由と考えられる。 引き続き広報紙へのバスの利便性掲載や体験乗車の募集などの利用促進をはじめ、令和5年3月に策定した遠賀町地域公共交通計画に記載した利用促進事業に取り組みことで遠賀町コミュニティバスの利用促進を図っていく。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
芦屋町地域公共交通活性化協議会	芦屋町地域公共交通活性化協議会	芦屋タウンバス 中央病院・遠賀川駅線の運行	バス路線・便数の維持確保を行ったほか、JR九州のダイヤ改正に合わせて、時刻表改正を行った。	A	A	生活交通確保維持改善計画に定める利用者目標を達成した。引き続き利用者数の増加を図る。	<p>・評価の指標は、系統毎の輸送人員。</p> <p>・昨年度に引き続き、バス路線・便数の維持確保や、鉄道との接続に合わせたダイヤ改正に取り組みられていることを評価します。</p> <p>・「③前回の事業評価結果の反映状況」及び「⑥今後の事業の改善点」については、R5年度と同様の内容でなく、R5年度の評価結果を反映した形で効果的にPDCAが回るような形で自己評価を行っていただきますようお願いいたします。</p> <p>・「⑤目標・効果の達成状況」について、利用者層の属性等に着目するなど、系統ごとにその特性を丁寧に分析した上で、来年度の事業の改善に努めていただくとともに、目標を達成した場合についても詳細に達成要因を分析を行っていただき、地域の日常的な利用需要の安定的な増加を期待します。</p> <p>・今後「⑥事業の今後の改善点」に挙げられた取組及び地域公共交通計画の施策を着実に実施していただくとともに、交通事業者、地域に加え、他分野の関係者との連携と協働による「共創」の取組を推進し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。</p>	
	芦屋町地域公共交通活性化協議会	芦屋タウンバス はまゆう・遠賀川駅線の運行	バス路線・便数の維持確保を行ったほか、JR九州のダイヤ改正に合わせて、時刻表改正を行った。	A	A	生活交通確保維持改善計画に定める利用者目標を達成した。引き続き利用者数の増加を図る。		
	芦屋町地域公共交通活性化協議会	車両減価償却費等国庫補助金 (車両購入)	安全な輸送を確保するために芦屋タウンバス車両の購入を行った。	A	A	老朽化した車両を更新し、利用者の安全や利便性の確保による安定した運行形態を引き続き構築する。		
広川町地域公共交通協議会	(有)蒲池自動車・ 堀川バス(株)	ふれあいタクシー (町内全域、八女市、久留米市の一部)	利用者の意見聴取により運賃を値下げしてほしいとの要望、並びに外出機会の増加に伴う健康維持の観点から、運賃を現行の半額とする改定を行った。	A	A	<p>運賃の値下げ改定により利用者が増加したが、予約をとりにくくなったとの意見が出ているので、対応策を検討する。また値下げによる収益率の悪化が想定され、原資となる町からの補助金が増加すると考えられるため、補助金圧縮を図れるよう検討する。</p>	<p>・評価の指標は、年間利用者数。</p> <p>・外出機会の増加に伴う健康維持の観点からの利用促進を積極的に実施されていることを評価します。</p> <p>・「⑤目標・効果の達成状況」について、利用者層の属性等に着目するなど、利用者の特性を丁寧に分析し、あわせて目標達成された要因分析した上で、来年度の事業の改善に努めていただくとともに、目標を達成した要因についても詳細な分析を行っていただき、地域の日常的な利用需要の安定的な増加を期待します。</p> <p>・また、⑥にご記載の「収支率」については、公共交通を確保維持していくためには、投資の発想も必要であり、支出を減らすことが必ずしも是でないとの視点を持った上で、支出と収入のバランスを考えつつ、補助金の圧縮に努めていただくことを期待します。</p> <p>・今後「⑥事業の今後の改善点」に挙げられた取組及び地域公共交通計画の施策を着実に実施していただくとともに、交通事業者、地域に加え、他分野の関係者との連携と協働による「共創」の取組を推進し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。</p>	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
直方市公共交通協議会	MGタクシー株式会社	コミュニティバス上頓野線の運行 (直方駅～会下団地～竜王峡)	・時刻表及び路線図を庁舎、その他公共施設、ホームページ、市内転入者に配架するほか市報への折り込みによる周知を行った。 ・回数乗車券や毎月5日にコミュニティバスの運賃を無料にし、利用促進に努めた。 ・市が主催するイベントにて公共交通の利用を促進するための啓発活動を実施。	A	A	・引き続き周知活動を行うとともに利用促進に向け、地域や市内でのイベント時に啓発活動を実施する。 ・利用促進の一環として新たな運賃制度の導入を検討する。	・評価の指標は、系統毎の年間利用者数。 ・昨年度に引き続き、時刻表及び路線図を庁舎、その他公共施設、ホームページ、市内転入者に配架するほか市報への折り込みによる周知に取り組まれていることを評価します。 また、回数乗車券や毎月5日にコミュニティバスの運賃無料など、「一度乗ってもう取組」や「継続して乗ってもう取組」の観点からの利用促進をされていることも高く評価します。	
	筑豊タクシー株式会社	コミュニティバス駒生田団地線の運行 (直方駅～駒生田団地～サンリブのおがた店)	・時刻表及び路線図を庁舎、その他公共施設、ホームページ、市内転入者に配架するほか市報への折り込みによる周知を行った。 ・回数乗車券や毎月5日にコミュニティバスの運賃を無料にし、利用促進に努めた。 ・市が主催するイベントにて公共交通の利用を促進するための啓発活動を実施。	A	B	・引き続き周知活動を行うとともに利用促進に向け、地域や市内でのイベント時に啓発活動を実施する。 ・利用促進の一環として新たな運賃制度の導入を検討する。	・「⑤目標・効果の達成状況」について、目標達成出来ていない系統については、利用者層の属性等に着目するなど、系統ごとにその特性を丁寧に分析した上で、目標達成に向けた来年度の事業の改善に努めていただくことを期待します。 また、目標を達成した系統についても詳細に達成要因を分析を行っていただき、地域の日常的な利用需要の安定的な増加を期待します。	
	MGタクシー株式会社	コミュニティバス武谷線の運行 (直方駅～ハローデイト～ゴルフ場)	・時刻表及び路線図を庁舎、その他公共施設、ホームページ、市内転入者に配架するほか市報への折り込みによる周知を行った。 ・回数乗車券や毎月5日にコミュニティバスの運賃を無料にし、利用促進に努めた。 ・市が主催するイベントにて公共交通の利用を促進するための啓発活動を実施。	A	A	・引き続き周知活動を行うとともに利用促進に向け、地域や市内でのイベント時に啓発活動を実施する。 ・利用促進の一環として新たな運賃制度の導入を検討する。	・今後「⑥事業の今後の改善点」に挙げられた取組及び地域公共交通計画の施策を着実に実施していただくとともに、交通事業者、地域に加え、他分野の関係者との連携と協働による「共創」の取組を推進し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
	直方タクシー有限会社	コミュニティバス楠木線の運行 (直方駅～下新入～下町公民館)	・時刻表及び路線図を庁舎、その他公共施設、ホームページ、市内転入者に配架するほか市報への折り込みによる周知を行った。 ・回数乗車券や毎月5日にコミュニティバスの運賃を無料にし、利用促進に努めた。 ・市が主催するイベントにて公共交通の利用を促進するための啓発活動を実施。	A	A	・引き続き周知活動を行うとともに利用促進に向け、地域や市内でのイベント時に啓発活動を実施する。 ・利用促進の一環として新たな運賃制度の導入を検討する。		
	MGタクシー株式会社	コミュニティバス感田線の運行 (直方駅～東和苑北～行常集会所)	・R5年10月より需要の高いクリニックに停留所を新規設置することで利用者増を図った。 ・時刻表及び路線図を庁舎、その他公共施設、ホームページ、市内転入者に配架するほか市報への折り込みによる周知を行った。 ・回数乗車券や毎月5日にコミュニティバスの運賃を無料にし、利用促進に努めた。 ・市が主催するイベントにて公共交通の利用を促進するための啓発活動を実施。	A	A	・引き続き周知活動を行うとともに利用促進に向け、地域や市内でのイベント時に啓発活動を実施する。 ・利用促進の一環として新たな運賃制度の導入を検討する。		
	直方タクシー有限会社	コミュニティバス赤地新入線の運行 (緑光苑～直方駅～サンリブのおがた店)	・時刻表及び路線図を庁舎、その他公共施設、ホームページ、市内転入者に配架するほか市報への折り込みによる周知を行った。 ・回数乗車券や毎月5日にコミュニティバスの運賃を無料にし、利用促進に努めた。 ・市が主催するイベントにて公共交通の利用を促進するための啓発活動を実施。	A	A	・引き続き周知活動を行うとともに利用促進に向け、地域や市内でのイベント時に啓発活動を実施する。 ・利用促進の一環として新たな運賃制度の導入を検討する。		
久留米市地域公共交通会議	久留米市地域公共交通会議	北野地域よりみちバス運行 ・A日程(月・水・金):17便 ・B日程(火・木・土):17便	地域住民の日常生活において、安全・安心に移動できる地域公共交通の確保・維持のため、運行地域と行政が連携して現状の運行ルートやダイヤ、今後の利用促進について意見交換し、検討する場を作りながら、生活支援交通の運行継続に努めた。	A	B	昨年度に引き続き、目標1の日利用者数は達成、目標2の満足度は、前年度より上昇したものの、目標に対しては未達成となった。 よりみちバスの利用者は、校区広報紙での紹介や、利用者へ直接話を伺うアンケート調査など、運行地域と行政が連携して継続的な利用促進に取り組んでおり、目標を達成できたものと思われる。 一方、公共交通機関の満足度は、前回調査より上昇しているものの、年代や性別に関わらず、市全体で下がっている傾向にある。今後はよりみちバスとともに、広域的な移動を担う鉄道バスについても、各交通事業者と密に連携して、利用環境の改善等による利便性の向上および利用促進に取り組む必要があると考える。	・評価の指標は、系統毎の日利用者数と公共交通満足度。 ・行政と地域が連携して運行ルートやダイヤ、利用促進について意見交換を実施し、生活支援交通の維持に継続して取り組まれていることを評価します。	
		城島地域よりみちバス運行 ・A日程(月・水・土):17便 ・B日程(火・木・金):16便	地域住民の日常生活において、安全・安心に移動できる地域公共交通の確保・維持のため、運行地域と行政が連携して現状の運行ルートやダイヤ、今後の利用促進について意見交換し、検討する場を作りながら、生活支援交通の運行継続に努めた。	A	B	昨年度に引き続き、目標2の満足度は達成、目標1は未達成となった。 よりみちバスの利用者は、昨年度よりも増加し、過去最多となったが、目標達成には至らなかった。ルート変更などにより、利用者は増加傾向にあるが、地域と連携し更なる利用促進に取り組む必要があると考える。 一方、公共交通機関の満足度は、前回調査より低下しているものの目標は達成、しかしながら他地域と比較すると依然として低く、北野地域と同様に、各交通事業者と密に連携して、利用環境の改善等による利便性の向上および利用促進に取り組む必要があると考える。	・「⑤目標・効果の達成状況」について、目標達成出来ていない評価指標については、利用者層の属性等に着目するなど、系統ごとにその特性を丁寧に分析した上で、目標達成に向けた来年度の事業の改善に努めていただくことを期待します。 また、目標を達成した指標についても詳細に達成要因を分析を行っていただき、地域の日常的な利用需要の安定的な増加を期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
中間市地域公共交通会議	ひかり第一交通株式会社 産業タクシー株式会社	太賀・朝霧系統	窓口やお電話で交通手段に関するお問い合わせがあった際、コミュニティバスの紹介や利用方法の説明を積極的に行った。 また、交通計画策定の際に実施した、市民1,800人(無作為抽出)を対象としたアンケートにおいて、コミュニティバスの路線図や運行日等の概要を記載したことで、間接的な周知になったと考えられる。	A	C	利用者、収支率ともに目標値には達していないが、昨年度と比較して状況が改善し、再び補助対象となった。 引き続き利用者の推移を見ながら、新たな利用者の獲得と効率的な運行について検討する。	・評価の指標は、系統毎の利用者数と収支率。 ・コミュニティバスの紹介や利用方法の積極的な説明など利用促進に取り組まれていることを評価します。 ・「⑤目標・効果の達成状況」について、目標達成出来ていない評価指標については、利用者層の属性等に着目するなど、系統それぞれの特徴を丁寧に分析した上で、目標達成に向けた来年度の事業の改善に努めていただくことを期待します。 また、目標を達成した評価指標についても詳細に達成要因を分析を行っていただき、持続可能な地域公共交通の確保を期待します。	
	有限会社ことぶきタクシー	通谷・桜台系統	窓口やお電話で交通手段に関するお問い合わせがあった際、コミュニティバスの紹介や利用方法の説明を積極的に行った。 また、交通計画策定の際に実施した、市民1,800人(無作為抽出)を対象としたアンケートにおいて、コミュニティバスの路線図や運行日等の概要を記載したことで、間接的な周知になったと考えられる。	A	B	昨年度は収支率が目標値に達していなかったが、今年度は23.38%と目標値を上回っており、運行状況は改善してきている。 持続可能な公共交通体系の構築に向けて、更なる利用者増を目指し、効果的な周知方法等を検討する。	・また、評価指標「収支率」については、公共交通を確保維持していくためには、投資の発想も必要であり、支出を減らすことが必ずしも差でないとの視点を持った上で、支出と収入のバランスを考えつつ、収支率の改善に努めていただくことを期待します。 ・今後「⑥事業の今後の改善点」に挙げられた取組及び地域公共交通計画の施策を着実に実施していただくとともに、交通事業者、地域に加え、他分野の関係者との連携と協働による「共創」の取組を推進し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
	みやま市 清水・上庄線	瀬高町の水上～清水～上庄～本郷地域を運行	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・バスの利用促進、知名度向上を図る目的で、運行事業者や周辺自治体と共同で企画・準備等を行い「無料バスの日」イベントを実施した。 ・利用者や住民向けアンケートを実施し、路線再編を検討した。 ・コミュニティバスのオープンデータ化を構築し、Google Map上で時刻や経路が検索できるようになり、利便性の向上と利用促進を図った。	A	A (B)	・みやま市地域公共交通計画に基づき、コミュニティバスの運行形態について見直しを実施する。 ・利用状況や利用ニーズを分析し、路線やダイヤなど見直しが必要な項目の洗い出しを行い、近隣自治体への路線の延長など検討する。 ・コミュニティバスにおける代替手段として新たな交通体系の実証実験を行い、効果検証を行う。	・評価の指標は、系統毎1便当たりの輸送人員。 ・市報、HP、SNSでの積極的な情報発信、交通事業者事業者や周辺自治体と共同した「無料バスの日」イベント等の利用促進やコミュニティバスのGoogle Map上での検索できるようにするなどの利用者の利便性向上に取り組まれていることを高く評価します。 ・「⑤目標・効果の達成状況」について、利用者層の属性等に着目するなど、系統ごとにその特性を丁寧に分析されており、高く評価するとともに、引き続き、詳細に利用状況や背景を分析を行っていただき、地域の日常的な利用需要の安定的な増加を期待します。	
	みやま市 瀬高・高田線 (太神・岩田経由)	瀬高町～高田町を太神・岩田地域を経由して運行	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・バスの利用促進、知名度向上を図る目的で、運行事業者や周辺自治体と共同で企画・準備等を行い「無料バスの日」イベントを実施した。 ・利用者や住民向けアンケートを実施し、路線再編を検討した。 ・コミュニティバスのオープンデータ化を構築し、Google Map上で時刻や経路が検索できるようになり、利便性の向上と利用促進を図った。	A	B (B)	・みやま市地域公共交通計画に基づき、コミュニティバスの運行形態について見直しを実施する。 ・利用状況や利用ニーズを分析し、路線やダイヤなど見直しが必要な項目の洗い出しを行い、再編見直しの検討をする。 ・利用者の利便性向上を図るため、コミュニティバスにおける代替手段として新たな交通体系の実証実験を行い、効果検証を行う。	・「③前回の事業評価結果の反映状況及び」⑥今後の事業の改善点」については、系統においてほぼ同じ文言のため、⑤目標・効果達成状況にて分析した結果を元に各系統にあった効果的な改善を行っていただくことを期待します。 ・今後「⑥事業の今後の改善点」に挙げられた取組及び地域公共交通計画の施策を着実に実施していただくとともに、交通事業者、地域に加え、他分野の関係者との連携と協働による「共創」の取組を推進し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
	みやま市 高田・瀬高線 (江浦・浜田・大江経由)①	高田町～瀬高町を江浦・浜田・大江地域を経由して運行 【車両減価償却費等国庫補助金交付対象】	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・バスの利用促進、知名度向上を図る目的で、運行事業者や周辺自治体と共同で企画・準備等を行い「無料バスの日」イベントを実施した。 ・利用者や住民向けアンケートを実施し、路線再編を検討した。 ・コミュニティバスのオープンデータ化を構築し、Google Map上で時刻や経路が検索できるようになり、利便性の向上と利用促進を図った。	A	B (A)	・みやま市地域公共交通計画に基づき、コミュニティバスの運行形態について見直しを実施する。 ・利用状況や利用ニーズを分析し、路線やダイヤなど見直しが必要な項目の洗い出しを行い、再編見直しの検討をする。 ・コミュニティバスにおける代替手段として新たな交通体系の実証実験を行い、効果検証を行う。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 高田・瀬高線 (江浦・浜田・大江経由)②	高田町～瀬高町を江浦・浜田・大江地域を經由して運行 【車両減価償却費等国庫補助金交付対象】	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・バスの利用促進、知名度向上を図る目的で、運行事業者や周辺自治体と共同で企画・準備等を行い「無料バスの日」イベントを実施した。 ・利用者や住民向けアンケートを実施し、路線再編を検討した。 ・コミュニティバスのオープンデータ化を構築し、Google Map上で時刻や経路が検索できるようになり、利便性の向上と利用促進を図った。	A	B (B)	・みやま市地域公共交通計画に基づき、コミュニティバスの運行形態について見直しを実施する。 ・利用状況や利用ニーズを分析し、路線やダイヤなど見直しが必要な項目の洗い出しを行い、再編見直しの検討をする。 ・コミュニティバスにおける代替手段として新たな交通体系の実証実験を行い、効果検証を行う。		
	みやま市 高田・瀬高線 (国道209号経由)	高田町～瀬高町を国道209号を經由して運行 【車両減価償却費等国庫補助金交付対象】	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・バスの利用促進、知名度向上を図る目的で、運行事業者や周辺自治体と共同で企画・準備等を行い「無料バスの日」イベントを実施した。 ・利用者や住民向けアンケートを実施し、路線再編を検討した。 ・コミュニティバスのオープンデータ化を構築し、Google Map上で時刻や経路が検索できるようになり、利便性の向上と利用促進を図った。	A	B (B)	・みやま市地域公共交通計画に基づき、コミュニティバスの運行形態について見直しを実施する。 ・利用状況や利用ニーズを分析し、路線やダイヤなど見直しが必要な項目の洗い出しを行い、再編見直しの検討をする。 ・コミュニティバスにおける代替手段として新たな交通体系の実証実験を行い、効果検証を行う。		
	みやま市 山川・瀬高線①	山川町の真弓公民館～瀬高町の市立図書館を国道443号線を經由して運行 【車両減価償却費等国庫補助金交付対象】	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・バスの利用促進、知名度向上を図る目的で、運行事業者や周辺自治体と共同で企画・準備等を行い「無料バスの日」イベントを実施した。 ・利用者や住民向けアンケートを実施し、路線再編を検討した。 ・コミュニティバスのオープンデータ化を構築し、Google Map上で時刻や経路が検索できるようになり、利便性の向上と利用促進を図った。	A	A (B)	・みやま市地域公共交通計画に基づき、コミュニティバスの運行形態について見直しを実施する。 ・利用状況や利用ニーズを分析し、路線やダイヤなど見直しが必要な項目の洗い出しを行い、再編見直しの検討をする。 ・コミュニティバスにおける代替手段として新たな交通体系の実証実験を行い、効果検証を行う。		
	みやま市 山川・瀬高線②	山川町のバイオマスセンター～瀬高町の市立図書館を国道443号を經由して運行 【車両減価償却費等国庫補助金交付対象】	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・バスの利用促進、知名度向上を図る目的で、運行事業者や周辺自治体と共同で企画・準備等を行い「無料バスの日」イベントを実施した。 ・利用者や住民向けアンケートを実施し、路線再編を検討した。 ・コミュニティバスのオープンデータ化を構築し、Google Map上で時刻や経路が検索できるようになり、利便性の向上と利用促進を図った。	A	B (A)	・みやま市地域公共交通計画に基づき、コミュニティバスの運行形態について見直しを実施する。 ・利用状況や利用ニーズを分析し、路線やダイヤなど見直しが必要な項目の洗い出しを行い、再編見直しの検討をする。 ・コミュニティバスにおける代替手段として新たな交通体系の実証実験を行い、効果検証を行う。		
	みやま市 山川・瀬高線③	瀬高町のJR瀬高駅～山川町の真弓公民館を国道443号を經由して運行 【車両減価償却費等国庫補助金交付対象】	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・バスの利用促進、知名度向上を図る目的で、運行事業者や周辺自治体と共同で企画・準備等を行い「無料バスの日」イベントを実施した。 ・利用者や住民向けアンケートを実施し、路線再編を検討した。 ・コミュニティバスのオープンデータ化を構築し、Google Map上で時刻や経路が検索できるようになり、利便性の向上と利用促進を図った。	A	C (C)	・みやま市地域公共交通計画に基づき、コミュニティバスの運行形態について見直しを実施する。 ・利用状況や利用ニーズを分析し、路線やダイヤなど見直しが必要な項目の洗い出しを行い、路線の廃止も踏まえた見直しの検討をする。 ・利用者が低迷しているため、コミュニティバスにおける代替手段として新たな交通体系の実証実験を行い、効果検証を行う。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
	みやま市 高田南部・西部線 (循環)	高田町のあたご苑～高田町の西鉄駅を循環して運行	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・バスの利用促進、知名度向上を図る目的で、運行事業者や周辺自治体と共同で企画・準備等を行い「無料バスの日」イベントを実施した。 ・利用者や住民向けアンケートを実施し、路線再編を検討した。 ・コミュニティバスのオープンデータ化を構築し、Google Map上で時刻や経路が検索できるようになり、利便性の向上と利用促進を図った。	A	B (B)	・みやま市地域公共交通計画に基づき、コミュニティバスの運行形態について見直しを実施する。 ・利用状況や利用ニーズを分析し、路線やダイヤなど見直しが必要な項目の洗い出しを行い、再編見直しの検討をする。 ・利用者が低迷しているため、コミュニティバスにおける代替手段として新たな交通体系の実証実験を行い、効果検証を行う。		
	みやま市 山川・高田線 (亀谷・竹蔵経由)	高田町の南部及び西部地域をJR渡瀬駅からあたご苑、西竹蔵を経由して山川げんきかんまで運行	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・バスの利用促進、知名度向上を図る目的で、運行事業者や周辺自治体と共同で企画・準備等を行い「無料バスの日」イベントを実施した。 ・利用者や住民向けアンケートを実施し、路線再編を検討した。 ・コミュニティバスのオープンデータ化を構築し、Google Map上で時刻や経路が検索できるようになり、利便性の向上と利用促進を図った。	A	C (C)	・みやま市地域公共交通計画に基づき、コミュニティバスの運行形態について見直しを実施する。 ・利用状況や利用ニーズを分析し、路線やダイヤなど見直しが必要な項目の洗い出しを行い、再編見直しの検討をする。 ・利用者が低迷しているため、コミュニティバスにおける代替手段として新たな交通体系の実証実験を行い、効果検証を行う。		
	みやま市 山川・高田線 (田浦・田尻経由)①	高田町の南部及び西部地域をJR渡瀬駅からあたご苑を経由して山川げんきかんまで運行	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・バスの利用促進、知名度向上を図る目的で、運行事業者や周辺自治体と共同で企画・準備等を行い「無料バスの日」イベントを実施した。 ・利用者や住民向けアンケートを実施し、路線再編を検討した。 ・コミュニティバスのオープンデータ化を構築し、Google Map上で時刻や経路が検索できるようになり、利便性の向上と利用促進を図った。	A	C (C)	・みやま市地域公共交通計画に基づき、コミュニティバスの運行形態について見直しを実施する。 ・利用状況や利用ニーズを分析し、路線やダイヤなど見直しが必要な項目の洗い出しを行い、再編見直しの検討をする。 ・利用者が低迷しているため、コミュニティバスにおける代替手段として新たな交通体系の実証実験を行い、効果検証を行う。		
	みやま市 山川・高田線 (田浦・田尻経由)②	高田町の南部及び西部地域を山川げんきかんからあたご苑を経由してヨコクラ病院前まで運行	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・バスの利用促進、知名度向上を図る目的で、運行事業者や周辺自治体と共同で企画・準備等を行い「無料バスの日」イベントを実施した。 ・利用者や住民向けアンケートを実施し、路線再編を検討した。 ・コミュニティバスのオープンデータ化を構築し、Google Map上で時刻や経路が検索できるようになり、利便性の向上と利用促進を図った。	A	A (B)	・みやま市地域公共交通計画に基づき、コミュニティバスの運行形態について見直しを実施する。 ・利用状況や利用ニーズを分析し、路線やダイヤなど見直しが必要な項目の洗い出しを行い、再編見直しの検討をする。 ・運行本数が少ないため、利用者の利便性の向上を図るべく、コミュニティバスにおける代替手段として新たな交通体系の実証実験を行い、効果検証を行う。		
宮若市地域公共交通会議	株式会社松川タクシー MOタクシー株式会社	宮田・小竹線	市ホームページ、市報等での周知やバス利用促進の啓発物の配布を行い、新規利用者の拡大を目指した	A	C	収益率では、目標値を大きく下回っており、利用者数・収支率も昨年より減少している。定期的な利用者が存在する一方、住宅が集中している地域での新規利用者が少ないことも考えられる。 このような利用状況を鑑みて、令和7年4月以降は、路線不定期運行により効率的に運行を行うこととし、収支率の改善を目指す。 ・「⑥目標・効果の達成状況」については、利用者層の属性等に着目するなど、系統ごとにその特性を丁寧に分析した上で、目標達成に向けた来年度の事業の改善に努めていただくことを期待します。 ・また、評価指標「収支率」については、公共交通を確保維持していくためには、投資の発想も必要であり、支出を減らすことが必ずしも是でないとの視点を持った上で、支出と収入のバランスを考えつつ、収支率の改善に努めていただくことを期待します。 ・今後「⑥事業の今後の改善点」に挙げられた取組及び地域公共交通計画の施策を着実に実施していただくとともに、交通事業者、地域に加え、他分野の関係者との連携と協働による「共創」の取組を推進し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
嘉麻市地域公共交通会議	嘉穂観光有限会社	稲築桂川線(市役所・稲築病院経由)	通学等の利便性を向上させるため、路線の一部変更や増便を行いました。 また、今年度も前回から引き続き、バスの利便性向上を図ると共に、バスが走っていること、利用できることを周知するため、広報誌や市ホームページでのPRと、市内在住の学生に向けた通学定期券の補助を継続して実施し、通学での公共交通の利用を呼びかけを行いました。	A	A	適宜利用者からの要望や意見を精査し、ダイヤや路線の見直し、検討を実施してきました。 今回も、目標としていた収支率20%以上の維持を達成し、前年度と比較すると1.9ポイント上昇しています。 今後も更なる利便性の向上、わかりやすいバスを目指すため、市内循環線同様にノンステップバスへの切替えを予定しています。 また、継続した周知活動を実施し、バスを利用していない層にも視野を向け、事業等を実施予定です。	・評価の指標は、収支率。 ・昨年から引き続き、報誌や市ホームページでのPR等の利用促進や路線の見直し等による利用者利便の向上に取り組まれていることを評価します。また、学生に向けた通学定期券の補助制度の実施についても継続して行われていることも高く評価します。 ・評価指標「収支率」については、公共交通を確保維持していくためには、投資の発想も必要であり、支出を減らすことが必ずしも是でないとの見点を持った上で、支出と収入のバランスを考えつつ、収支率の改善に努めていただくことを期待します。 ・また、評価指標については、地域公共交通計画本体において設定された目標と整合するように「収支率」だけでなく、「利用者数」などの他の指標も含めて設定する等、多角的な評価の実施のご検討をお願いします。 ・「⑤目標・効果の達成状況」については、事業者毎の系統で目標とするのではなく、各系統ごとに目標を設定し、それぞれの系統において利用者層の属性等に着目するなど、系統ごとにその特性を丁寧に分析を行った上で、次年度の事業の改善に努めていただくことを期待します。	
		稲築桂川線(東岩崎・嘉穂総合高校経由)		A				
		稲築桂川線(なつきが丘・市役所・稲築病院経由)※嘉麻市役所本庁舎前を経由しない		A				
		稲築桂川線(嘉麻市役所経由)		A				
		稲築桂川線(なつきが丘・市役所経由)		A				
		稲築桂川線(山野社宅～稲築病院)		A				
	株式会社ひまわり観光	市内循環線東回り山田方面	ノンステップバスの導入に伴い、広報で特集記事を掲載し、バスの利用について全般的に広報活動を実施しました。 また、稲築桂川線と同様に市内在住の学生に向けた通学定期券の補助を継続して実施し、通学での公共交通の利用を呼びかけを行いました。	A	A	適宜利用者からの要望や意見を精査し、ダイヤや路線の見直し、検討を実施してきました。 今回も、目標としていた収支率20%以上の維持を達成し、前年度と比較すると3.6ポイント上昇しています。 また、継続した周知活動及びノンステップバスのPRを実施し、バスを利用していない層にも視野を向け、事業等を実施予定です。	・今後「⑥事業の今後の改善点」に挙げられた取組及び地域公共交通計画の施策を着実に実施していただくとともに、交通事業者、地域に加え、他分野の関係者との連携と協働による「共創」の取組を推進し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
		市内循環線東回り山田方面(稲築病院～生涯学習館)		A				
		市内循環線東回り山田方面(嘉麻市役所～総合バスステーション)		A				
香春町地域公共交通会議	香春町	採銅所コース(往路・復路) 「香春町役場・香泉荘・すずかけ病院」及び採銅所地区への運行	前回評価では、利便性向上のためコミュニティバスからAIオンデマンドバスへ運行を見直すことにした。 見直しにあたり、定時停路線型のコミュニティバスと予約が必要なAIオンデマンドバスでは利用方法が異なるため、利用者が困惑することがないように事前周知を次のとおり行った。 【事前周知方法】 利用者の85%以上が70歳以上であるため、町HPやチラシなどで周知するだけでなく、1対1の個別説明を中心に実施した。 【説明会場所】 地区公民館 香泉荘 役場ロビー 等 (期間) 1月中旬～3月末	A	B	令和6年4月1日にコミュニティバスからAIオンデマンドバスの運行に見直しことにより、利用者数が増加しており、香春町に適した移動手段であると考えられる。 更なる利便性向上のため、利用者アンケートを実施し、必要に応じて見直しを行う。	・評価の指標は、1日あたりの利用者数。 ・AIオンデマンド交通へ移行され、丁寧な周知等により目標を達成されたことは高く評価します。 ・「⑤目標・効果の達成状況」について、利用者層の属性等に着目するなど、系統ごとにその特性を丁寧に分析し、あわせてAIオンデマンド交通の利用者数について、目標達成された要因分析等も含め、次年度の事業の改善に努めていただくことを期待します。 ・今後「⑥事業の今後の改善点」に挙げられた取組及び地域公共交通計画の施策を着実に実施していただくとともに、交通事業者、地域に加え、他分野の関係者との連携と協働による「共創」の取組を推進し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
	香春町	鏡山コース(往路・復路) 「香春町役場・香泉荘・道の駅・ドラッグコーエイ・すずかけ病院」及び鏡山地区への運行						
	香春町	柿下・中津原コース(往路・復路) 「香春町役場・香泉荘・道の駅・ドラッグコーエイ・すずかけ病院」及び柿下・中津原地区への運行						
	香春町	下香春コース(往路・復路) 「香春町役場・香泉荘・道の駅・ドラッグコーエイ・すずかけ病院」及び下香春地区への運行						
	香春町	紫竹原コース(往路・復路) 「香春町役場・香泉荘・道の駅・ドラッグコーエイ・すずかけ病院」及び紫竹原地区への運行						
	香春町	一本松コース(往路・復路) 「香春町役場・香泉荘・道の駅・ドラッグコーエイ・すずかけ病院」及び一本松地区への運行						

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
福智町地域公共交通会議	福智町地域公共交通会議 (運行は社会福祉法人 福智町社 会福祉協議会に業務委託)	ふく～るバス (AIオンデマンド交通「ふく～るバス」の運行を町内全域で 実施)	・広報紙による住民への周知の他、ふく～るバスの利用促進 を図るため町内イベントでのPR等を実施。	A	B	・新規利用者を継続的に確保するため、引き続き広報紙やHP等を活用し、町内イ ベント等でのPRに取り組む。 ・町の高齢者福祉部門や免許返納担当部署と連携し、高齢者運転免許返納支援事 業を継続して行い、高齢ドライバーの交通事故を防止するとともに、「ふく～るバス」 の利用率向上に繋げる。	・評価の指標は、年間利用者数、収支率、財政負担額。 ・広報紙や町内イベントでのPR等により年間利用者数の 目標を達成されたことは高く評価します。また、福智町内 において他部門と連携して取り組まれていることも評価し ます。 ・評価指標「収支率」「財政負担額」については、公共交通 を確保維持していくためには、投資の発想も必要であり、 支出を減らすことが必ずしも是でないとの視点を持った上 で、支出と収入のバランスを考えつつ、収支率の改善や 財政負担額の軽減に努めていただくことを期待します。 ・「⑤目標・効果の達成状況」について、利用者層の属性 等に着目するなど、利用者の特性を丁寧に分析し、あわ せて目標達成された要因分析等も含め、次年度の事業 の改善に努めていただくことを期待します。 ・今後「⑥事業の今後の改善点」に挙げられた取組及び地 域公共交通計画の施策を着実に実施していただくとも に、交通事業者、地域に加え、他分野の関係者との連携 と協働による「共創」の取組を推進し、持続可能な公共交 通体系が構築されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年2月28日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鳥栖市地域公共交通協議会	西鉄バス佐賀(株)	弥生が丘循環線	利用促進のため、バスマップの配布及びバスの日イベントの実施等により、運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)に努めた。	A	A	今後も引き続き利用促進に向け、沿線住民等への運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)を行っていく必要がある。また、R7年3月に地域公共交通計画を策定予定であり、市民アンケートや利用実態調査等の結果を基に地域の実情に応じた利用促進策を検討する必要がある。	評価の指標は、路線別の収支率(弥生が丘循環線)、路線毎の1便あたり利用者数(鳥栖地区循環線、田代地区循環線、基里地区循環線、旭地区循環線)。バスマップ配布やイベント開催等の利用促進に向けた取組を実施し、一部の系統で目標を達成できたことを評価します。次年度に策定予定の利便増進実施計画に基づき、更なる利用者利便の増進と持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
	(株)鳥栖構内タクシー	鳥栖地区循環線	利用促進のため、バスマップの配布及びバスの日イベントの実施等により、運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)に努めた。また、日頃公共交通を利用していない人を対象にミニバス乗車体験会を開催し、実際に乗っていただくことで利用促進に努めた。	A	B			
	(株)鳥栖構内タクシー	田代地区循環線	利用促進のため、バスマップの配布及びバスの日イベントの実施等により、運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)に努めた。	A	B	今後も引き続き利用促進に向け、沿線住民等への運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)や、利用方法の周知のためミニバス乗車体験会を実施していく必要がある。また、R7年3月に地域公共交通計画を策定予定であり、市民アンケートや利用実態調査等の結果を基に地域の実情に応じた利用促進策を検討する必要がある。		
	久留米西鉄タクシー(株)	基里地区循環線	利用促進のため、バスマップの配布及びバスの日イベントの実施等により、運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)に努めた。また、日頃公共交通を利用していない人を対象にミニバス乗車体験会を開催し、実際に乗っていただくことで利用促進に努めた。	A	B			
	久留米西鉄タクシー(株)	旭地区循環線	利用促進のため、バスマップの配布及びバスの日イベントの実施等により、運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)に努めた。	A	B			
嬉野市地域公共交通活性化協議会	温泉タクシー株式会社 春日線・大野原線	嬉野市乗合タクシー(春日線) 大野～ユースポ入口 (大野原線) 平重～嬉野医療C 両路線の運行日数 月水金曜日：4便 火木曜日：2便 ただし、祝日、8月13日-15日、12月31日-1月3日は運休	市ホームページに時刻表や公共交通に関するお知らせ等を掲載し、市民や観光客向けに引き続きPRを行った。また、経路検索サイトへ春日線・大野原線ともに継続して行っていることや、更にGTFSを用いてオープンデータ化を果たし、Google Mapで時刻や経路が検索できるようになり、利便性の向上と利用促進を図った。利用者数については、春日線については11%増、大野原線については24%減となっている。	A	B	(春日線) R6年度の利用者状況はR5年度比で増加(166人)、収支状況は概ね横ばいであった。固定の利用者に引き続き利用して貰える環境を整えたい。 (大野原線) R6年度の利用者状況はR5年度比で24%減少(▲116人)、収支状況は右肩下がりであった。固定の利用者に引き続き利用して貰える環境を整えたい。 (特記事項) 大野原線については、フィーダー補助要件を下回った。現状に則した運行形態への転換を進め、持続可能な交通網としたい。 (全体) 運賃の見直しや、沿線住民や地元地域コミュニティに対し利用促進を図る利用促進の取り組みを実施すると同時に、広報誌や市ホームページを通して、より積極的に市民や観光客等へ情報発信を行っていく。令和4年度に策定した地域公共交通計画に基づき、利便性と財政面の両方に配慮しつつ、地域公共交通網の適正化を進めたい。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年2月28日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市 晴田線 (小城市巡回バス)	小城市の晴田地区内における巡回バスの運行	(1)運転免許証自主返納者に対する巡回バスの運賃割引制度を引き続き行った。 (2)老朽化したバス停の更新、バス停時刻表の更新を行った。	A	B	乗り込み調査を実施した際に、市民からは運行本数(日)やバス停の場所、バスの車体が見直しの意見があった。 バスルートの見直し、運行本数(日)の見直しを行う。 また、バスの車体にラッピングを行い、バスの車体を分かりやすくし、利用促進のための周知を行う。 市報・ホームページ、出前講座等で運行情報の提供に努め、運転免許自主返納者への割引制度継続等を行い利用促進を図っていく。	評価の指標は1便あたりの利用者数。 運転免許自主返納者割引制度、老朽化したバス停の更新、運行情報の周知等の従来の取組に加え、乗り込み調査を実施し利用実態の把握に取り組みましたことを評価します。 次年度においては、7月の公立佐賀中央病院の開院に伴う路線再編後の利用状況を注視するとともに、子どもや学生といった新しい需要開拓に積極的に取り組むことで、持続可能な旅客運送サービスの確保に繋げることを期待します。	
	小城市 岩松線 (小城市巡回バス)	小城市の岩松地区内における巡回バスの運行	(3)広報誌やホームページにコミュニティバス運行情報等の掲載などで利用促進と周知に取り組んだ。 (4)フリー乗降区間設定し、運行を開始した。 (5)乗り込み調査を行った。	A	C			
	小城市 三里線 (小城市巡回バス)	小城市の三里地区内における巡回バスの運行	上記の活動により、更なる利用促進と新たな需要の掘り起こしに取り組んだ。	A	B			
	小城市 北回りコース (三日月町巡回バス)	三日月町の北部地区及び小城市の一部における巡回バスの運行	上記の(1)～(4)の他、ルートの見直しを検討し、更なる利用促進と新たな需要の掘り起こしに取り組んだ。	A	A			
	小城市 南回りコース (三日月町巡回バス)	三日月町の南部地区における巡回バスの運行		A	C			
	小城市 勝・柿種瀬線 (牛津町巡回バス)	牛津町の勝・柿種瀬地区における巡回バスの運行		A	B			
	小城市 砥川線 (牛津町巡回バス)	牛津町の砥川地区における巡回バスの運行	上記の(1)～(4)を行い、更なる利用促進と新たな需要の掘り起こしに取り組んだ。	A	C			
	小城市 天満町・芦刈町線 (牛津町巡回バス)	牛津町天満町地区及び芦刈町の一部(北部)における巡回バスの運行		A	B			
	小城市 広域線 (広域循環バス)	市内の主要公共施設等を回る循環バスの運行	上記の(1)～(5)の他、ルートの見直しを検討し、更なる利用促進と新たな需要の掘り起こしに取り組んだ。	A	B			
	小城市タクシー(株) あしま～る線 (芦刈町乗合タクシー)	芦刈町の南部地区における乗合タクシーの運行	上記の(1)～(3)の他、運行日数と1日あたりの運行便数の増加をし、利用促進を図った。	A	B			
小城市タクシー(株) やまびこ線 (小城市やまびこタクシー)	小城市巡回バスの運行エリアではない中山間地区における乗合タクシーの運行	(1)運転免許証自主返納者に対する巡回バスの運賃割引制度を引き続き行った。 (2)バス停時刻表の更新を行った。	A	B	市報・ホームページ、出前講座等で運行情報の提供に努め、運転免許自主返納者への割引制度継続等を行い利用促進を図っていく。 利用者の状況等を把握し、減便等の見直しを検討していく。			
小城市タクシー(株) 江里山・石体線 (小城市やまびこタクシー)	小城市巡回バスの運行エリアではない中山間地区における乗合タクシーの運行	(3)広報誌やホームページ等にコミュニティバス運行情報等の掲載などで利用促進と周知に取り組んだ。	A	B				

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年2月28日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
神海市地域公共交通活性化協議会	(有)ジョイックス交通 北部コース西(右回り)	(1)北部コース西 神埼駅を起終点とし尾崎等を経由する 23.7km	市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や定期的な利用促進のための乗車回数券販売増加の取り組みとして事業者による利用者への声かけや積極的なコミュニケーション等を実施した。	A	A	これまでの利用実績や利用者アンケートを基に協議会で議論を行い、利用促進のための情報発信を行ったところ、1運行当たりの利用者数について目標を達成することが出来た。 上記を踏まえ、既存バス路線の維持・確保を図るとともに、情報発信・費用支援・運行形態の検討など様々な形で利用促進を図っていく。	評価の指標は、1運行当たりの利用者数(北部コース西・東、中部コース西・東、南部コース西・東、神崎市～千代田線)と計画運行回数に対する稼働率(北部デマンド、中部デマンド、南部デマンド)。 市HPや市報等による広報活動に加え、事業者による利用者への声かけ等の利用促進に向けた取組を評価します。 次年度に取り組み予定である次期地域公共交通計画の策定においては、旧地域公共交通網形成計画の達成状況の評価を行うとともに新たな課題やニーズの把握に努め、持続可能な旅客運送サービスの確保が図られることを期待します。	
	(有)ジョイックス交通 北部コース西(左回り)		市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や定期的な利用促進のための乗車回数券販売増加の取り組みとして事業者による利用者への声かけや積極的なコミュニケーション等を実施した。	A	A	これまでの利用実績や利用者アンケートを基に協議会で議論を行い、利用促進のための情報発信を行ったところ、1運行当たりの利用者数について目標を達成することが出来た。 上記を踏まえ、既存バス路線の維持・確保を図るとともに、情報発信・費用支援・運行形態の検討など様々な形で利用促進を図っていく。		
	(有)ジョイックス交通 北部コース東(右回り)	(1)北部コース東 神埼駅を起終点とし馬郡等を経由する 22.0km	市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や定期的な利用促進のための乗車回数券販売増加の取り組みとして事業者による利用者への声かけや積極的なコミュニケーション等を実施した。	A	B	これまでの利用実績や利用者アンケートを基に協議会で議論を行い、利用促進のための情報発信を行ったが、1運行当たりの利用者数について目標を達成できなかった。 上記を踏まえ、既存バス路線の維持・確保を図るとともに、情報発信・費用支援・運行形態の検討など様々な形で利用促進を図っていく。		
	(有)ジョイックス交通 北部コース東(左回り)		市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や定期的な利用促進のための乗車回数券販売増加の取り組みとして事業者による利用者への声かけや積極的なコミュニケーション等を実施した。	A	A	これまでの利用実績や利用者アンケートを基に協議会で議論を行い、利用促進のための情報発信を行ったところ、1運行当たりの利用者数について目標を達成することが出来た。 上記を踏まえ、既存バス路線の維持・確保を図るとともに、情報発信・費用支援・運行形態の検討など様々な形で利用促進を図っていく。		
	(有)ジョイックス交通 中部コース西(右回り)	(1)中部コース西 神埼駅を起終点とし姉川等を経由する 22.2km	市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や定期的な利用促進のための乗車回数券販売増加の取り組みとして事業者による利用者への声かけや積極的なコミュニケーション等を実施した。	A	B	これまでの利用実績や利用者アンケートを基に協議会で議論を行い、利用促進のための情報発信を行ったが、1運行当たりの利用者数について目標を達成できなかった。 上記を踏まえ、既存バス路線の維持・確保を図るとともに、情報発信・費用支援・運行形態の検討など様々な形で利用促進を図っていく。		
	(有)ジョイックス交通 中部コース西(左回り)		市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や定期的な利用促進のための乗車回数券販売増加の取り組みとして事業者による利用者への声かけや積極的なコミュニケーション等を実施した。	A	B	これまでの利用実績や利用者アンケートを基に協議会で議論を行い、利用促進のための情報発信を行ったが、1運行当たりの利用者数について目標を達成できなかった。 上記を踏まえ、既存バス路線の維持・確保を図るとともに、情報発信・費用支援・運行形態の検討など様々な形で利用促進を図っていく。		
	(有)ジョイックス交通 中部コース東(右回り)	(1)中部コース東 神埼駅を起終点とし駅ヶ里等を経由する 21.5km	市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や定期的な利用促進のための乗車回数券販売増加の取り組みとして事業者による利用者への声かけや積極的なコミュニケーション等を実施した。	A	B	これまでの利用実績や利用者アンケートを基に協議会で議論を行い、利用促進のための情報発信を行ったが、1運行当たりの利用者数について目標を達成できなかった。 上記を踏まえ、既存バス路線の維持・確保を図るとともに、情報発信・費用支援・運行形態の検討など様々な形で利用促進を図っていく。		
	(有)ジョイックス交通 中部コース東(左回り)		市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や定期的な利用促進のための乗車回数券販売増加の取り組みとして事業者による利用者への声かけや積極的なコミュニケーション等を実施した。	A	B	これまでの利用実績や利用者アンケートを基に協議会で議論を行い、利用促進のための情報発信を行ったが、1運行当たりの利用者数について目標を達成できなかった。 上記を踏まえ、既存バス路線の維持・確保を図るとともに、情報発信・費用支援・運行形態の検討など様々な形で利用促進を図っていく。		
	(有)ジョイックス交通 南部コース西	(1)南部コース西 千代田支所～ジョイックス営業所を起終点とし柴尾等を経由する 20.8km	市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や定期的な利用促進のための乗車回数券販売増加の取り組みとして事業者による利用者への声かけや積極的なコミュニケーション等を実施した。	A	A	これまでの利用実績や利用者アンケートを基に協議会で議論を行い、利用促進のための情報発信を行ったところ、1運行当たりの利用者数について目標を達成することが出来た。 上記を踏まえ、既存バス路線の維持・確保を図るとともに、情報発信・費用支援・運行形態の検討など様々な形で利用促進を図っていく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年2月28日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
(有)ジョイックス交通	南部コース東	(1)南部コース東 千代田支所～ジョイックス営業所を起終点とし仲田町等を 經由する 24.0km	市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や定期的な利用促進のための乗車回数券販売増加の取り組みとして事業者による利用者への声かけや積極的なコミュニケーション等を実施した。	A	A	これまでの利用実績や利用者アンケートを基に協議会で議論を行い、利用促進のための情報発信を行ったところ、1運行当たりの利用者数について目標を達成することが出来た。 上記を踏まえ、既存バス路線の維持・確保を図るとともに、情報発信・費用支援・運行形態の検討など様々な形で利用促進を図っていく。		
	神埼～千代田線	(1)神埼～千代田線 神埼駅～千代田支所を起終点とし詫田バス停等を經由する 13.8km	市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や定期的な利用促進のための乗車回数券販売増加の取り組みとして事業者による利用者への声かけや積極的なコミュニケーション等を実施した。	A	B	これまでの利用実績や利用者アンケートを基に協議会で議論を行い、利用促進のための情報発信を行ったが、1運行当たりの利用者数について目標を達成できなかった。 上記を踏まえ、既存バス路線の維持・確保を図るとともに、情報発信・費用支援・運行形態の検討など様々な形で利用促進を図っていく。		
	北部デマンド	(1)北部デマンド 神埼市神埼町内を区域とする	市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や、地元コミュニティに Outreach している出前講座などを通じて利用者登録の増加を図った。	A	A	これまでの利用実績や利用者アンケートを基に協議会で議論を行い、利用促進のための情報発信を行ったところ、計画運行回数に対する稼働率の目標について概ね達成することができた。 上記を踏まえ、既存バス路線の維持・確保を図るとともに、利用促進に向けた情報発信等に引き続き努めることとした。		
	中部デマンド	(1)中部デマンド 神埼市神埼町、千代田町内を区域とする	市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や、地元コミュニティに Outreach している出前講座などを通じて利用者登録の増加を図った。	A	A	これまでの利用実績や利用者アンケートを基に協議会で議論を行い、利用促進のための情報発信を行ったところ、計画運行回数に対する稼働率の目標について概ね達成することができた。 上記を踏まえ、既存バス路線の維持・確保を図るとともに、利用促進に向けた情報発信等に引き続き努めることとした。		
	南部デマンド	(1)南部デマンド 神埼市神埼町、千代田町内を区域とする	市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や、地元コミュニティに Outreach している出前講座などを通じて利用者登録の増加を図った。	A	A	これまでの利用実績や利用者アンケートを基に協議会で議論を行い、利用促進のための情報発信を行ったところ、計画運行回数に対する稼働率の目標について概ね達成することができた。 上記を踏まえ、既存バス路線の維持・確保を図るとともに、利用促進に向けた情報発信等に引き続き努めることとした。		
鹿島市地域公共交通活性化協議会	祐徳自動車線: 市内循環バス	市内循環バスの運行	令和6年度においても計画どおりの運行を実施した。運行内容等については、市報、市ホームページなどにおいて広報活動を随時行い、合わせて利用促進や利用へのきっかけ作りのために無料運行イベントを実施した。	A	A	利用者のニーズ等を適切に把握し、運行内容の見直しについて必要に応じ実施している。また、他路線との乗継PRや学生・高齢者・障がい者・運転免許証自主返納者を対象とする無料運行イベント等を継続的に実施することで、新たな利用者の発掘を行い、更なる利用者増加に繋げる。		
	(有)再耕鹿タクシー: 高津原のりあいタクシー	高津原のりあいタクシーの運行	令和6年度においても計画どおりの運行を実施した。運行内容等については、市報、市ホームページなどにおいて広報活動を随時行い、合わせて利用促進や利用へのきっかけ作りのために無料運行イベントを実施した。	A	A	利用者のニーズ等を適切に把握し、運行内容の見直しについて必要に応じ実施していく。また、他路線との乗継PRや学生・高齢者・障がい者・運転免許証自主返納者を対象とする無料運行イベント等を継続的に実施することで、新たな利用者の発掘を行い、更なる利用者増加に繋げる。		
	(有)再耕鹿タクシー: 予約型のりあいタクシー	予約型のりあいタクシー(能古見線)の運行	令和6年度においても計画どおりの運行を実施した。運行内容等については、市報、市ホームページなどにおいて広報活動を随時行い、合わせて利用促進や利用へのきっかけ作りのために無料運行イベントを実施した。	A	A	利用者のニーズ等を適切に把握し運行内容の見直しについて必要に応じて実施している。また、他路線との乗継PRや無料運行イベント等の実施、対象地域への登録・利用方法の出前講座を実施することで、新たな登録者を発掘するため周知活動の強化を行い、利用者増に繋げる。	評価の指標は、1便あたりの利用者数(市内循環バス、高津原のりあいタクシー)、稼働率(予約型のりあいタクシー)。	
	(有)再耕鹿タクシー: 予約型のりあいタクシー	予約型のりあいタクシー(北鹿島線)の運行	令和6年度においても計画どおりの運行を実施した。運行内容等については、市報、市ホームページなどにおいて広報活動を随時行い、合わせて利用促進や利用へのきっかけ作りのために無料運行イベントを実施した。	A	B	利用者のニーズ等を適切に把握し運行内容の見直しについて必要に応じて実施している。また、利用者ニーズを聞き、停留所の見直しを行う。他路線との乗継PRや無料運行イベント等の実施、対象地域への登録・利用方法の出前講座を実施することで、新たな登録者を発掘するため周知活動の強化を行い、利用者増に繋げる。	市報、市ホームページ等による広報活動に加え無料運行イベントの開催等、利用促進に取り組まれたことを評価します。	
	(有)再耕鹿タクシー: 予約型のりあいタクシー	予約型のりあいタクシー(古枝線)の運行	令和6年度においても計画どおりの運行を実施した。運行内容等については、市報、市ホームページなどにおいて広報活動を随時行い、合わせて利用促進や利用へのきっかけ作りのために無料運行イベントを実施した。	A	B	利用者のニーズ等を適切に把握し運行内容の見直しについて必要に応じて実施している。また、利用者ニーズを聞き、停留所の見直しを行う。他路線との乗継PRや無料運行イベント等の実施、対象地域への登録・利用方法の出前講座を実施することで、新たな登録者を発掘するため周知活動の強化を行い、利用者増に繋げる。	引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年2月28日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
みやき町地域公共交通確保維持改善協議会	株式会社鳥栖構内タクシー	〈みやき中央線〉 大島病院～齋藤整形外科の運行	町内の公共施設等に、路線図及び時刻表を配布し、周知を図った。	A	A	町の主要施設を結ぶみやき中央線が最も利用者数が大きいため、今後も中央線をメインとした形態で利用者の増加を図っていきたい。現在、コミュニティバスを運行して12年が経過しているため、利用者や住民の意見等をもとに、再編等も視野に入れて、検討していく。	評価の指標は、年間利用者数と1日平均利用者数。目標を達成できなかった系統については、利用者の生活行動の分析やニーズの把握をお願いします。特に令和4年5月から開始した高齢者向けの外出支援タクシー事業については、行きはコミュニティバス、帰りはタクシーを利用するというように双方の利用増加に繋がった地域がある一方、利用がコミュニティバスからタクシーに流れた地域もあったことから、引き続きコミュニティバスと外出支援タクシーの相互補充のあり方をご検討されることを期待します。	
	株式会社鳥栖構内タクシー	〈三根東線〉 齋藤整形外科～土井外公民館～坂口公民館～齋藤整形外科の循環運行	町内の公共施設等に、路線図及び時刻表を配布し、周知を図った。	A	C	三根東線については、これまで増加傾向であったが、令和6年度は大幅な減少に転じた。高齢者の外出支援タクシー事業の利用者増などが原因と考えられるが、本路線についても利用者増となるよう、継続して利用周知を図っていきたい。現在、コミュニティバスを運行して12年が経過しているため、利用者や住民の意見等をもとに、再編等も視野に入れて、検討していく。		
	株式会社鳥栖構内タクシー	〈中原線〉 大島病院～板部～番田～大島病院の循環運行	町内の公共施設等に、路線図及び時刻表を配布し、周知を図った。	A	C	中原線については、これまで増加傾向にあったが、令和6年度は減少に転じた。原因を分析し、利用人数の増加に向け継続して利用周知を図っていきたい。現在、コミュニティバスを運行して12年が経過しているため、利用者や住民の意見等をもとに、再編等も視野に入れて、検討していく。		
	株式会社鳥栖構内タクシー	〈三根西線〉 齋藤整形外科～三根庁舎前～梅野医院前～齋藤整形外科の循環運行	町内の公共施設等に、路線図及び時刻表を配布し、周知を図った。	A	A	三根西線については、1日の平均利用者数が2人を割り込んでいるが、今年度は増加に転じ、計画年間利用者数は達成しているため、今後も増加傾向を維持できるように、計画年間利用者数の増加に向け継続して利用周知を図っていきたい。現在、コミュニティバスを運行して12年が経過しているため、利用者や住民の意見等をもとに、再編等も視野に入れて、検討していく。		
	株式会社鳥栖構内タクシー	〈北茂安線〉 大島病院～豆津～みやき庁舎～大島病院の循環運行	町内の公共施設等に、路線図及び時刻表を配布し、周知を図った。	A	B	北茂安線については、計画年間利用者数と比べ増加しているものの、前年度と比較し、利用者が減少となっているため、継続して利用周知を図っていきたい。現在、コミュニティバスを運行して12年が経過しているため、利用者や住民の意見等をもとに、再編等も視野に入れて、検討していく。		
伊万里市民と考える地域交通会議	西肥自動車株式会社	いまりんバス郊外線 ①牧島～立花線 ②脇田～古賀線 ③屋敷野～南ヶ丘線	・市内の病院、店舗や公共施設への時刻表の設置、市ホームページへの掲載により情報提供を行い、公共交通に対する認知向上と利用促進に取り組んだ。	A	C	・①～③いずれの系統も市街地と住宅地を結ぶ路線であることから、今後もチラシ配布や説明会等による運行経路等の周知、利用促進を継続する。	評価の指標は、各系統における1便あたりの利用者数。公共施設等や市ホームページによる情報提供のほか、区長会、老人会等における利用呼びかけ等の利用促進に継続して取り組まれたことを評価します。今後も、令和6年4月に策定した地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
	西肥自動車株式会社	いまりんバス地域線 浦ノ崎駅～ファインズタケダ	・市内の病院、店舗や公共施設への時刻表の設置、市ホームページへの掲載により情報提供を行い、公共交通に対する認知向上と利用促進に取り組んだ。	A	A	・R4.10から経路変更を行い、利便性向上を図っていることから、今後もチラシ配布や説明会等による運行経路等の周知、利用促進を継続する。		
	特定非営利活動法人 まちづくり波多津	波多津ふれあい号 ①循環線A ②循環線B ③波多津小下校便	区長会を通じて運行実績の報告を行うなどして、地区単位や老人会等での利用呼びかけを依頼した。	A	B	・区長会等への利用実績報告を通じ、地区住民への周知を行い、利便性向上に係るPRを通じて積極利用を呼び掛けている。		
	大川町コミュニティ運営協議会	コミュニティさくやかバス ①Aコース ②Bコース ③短縮Bコース	区長会を通じて運行実績の報告を行うなどして、地区単位や老人会等での利用呼びかけを依頼した。	A	C	・区長会等への利用実績報告を通じ、地区住民への周知を行い、利便性向上に係るPRを通じて積極利用を呼び掛けている。		
	黒川町まちづくり運営協議会	町内巡回バスくろがわ号 ①黒川循環線1便 ②黒川循環線2、3便 ③中心部線1便 ④中心部線2便	区長会を通じて運行実績の報告を行うなどして、地区単位や老人会等での利用呼びかけを依頼した。	A	B	・区長会等への利用実績報告を通じ、地区住民への周知を行い、利便性向上に係るPRを通じて積極利用を呼び掛けている。		
	西肥亀の井タクシー株式会社	松浦町デマンドタクシー ①市街地 ②桃川駅前便 ③金石原駅	区長会を通じて運行実績の報告を行うなどして、地区単位や老人会等での利用呼びかけを依頼した。	A	B	・区長会等への利用実績報告を通じ、地区住民への周知を行い、利便性向上に係るPRを通じて積極利用を呼び掛けている。		
	西肥亀の井タクシー株式会社	二里町デマンドタクシー ①伊万里駅 ②共立病院 ③金武集結	区長会を通じて運行実績の報告を行うなどして、地区単位や老人会等での利用呼びかけを依頼した。	A	C	・区長会等への利用実績報告を通じ、地区住民への周知を行い、利便性向上に係るPRを通じて積極利用を呼び掛けている。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年2月28日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(フィーター)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
佐賀市地域公共交通協議会	有限会社 松原タクシー	・大和町松梅地区デマンドタクシーの運行 ・富士町コミュニティバスの運行 ・三瀬地区コミュニティバスの運行	(松梅)利用者が頭打ちとなっており、更なる新規客の獲得を図っていく必要がある。[べんりカー松梅号だより]を全戸配布し、安心して乗車してもらえよう、利用者数の回復を図る。 (富士)引き続き「富士町公共交通検討会議」において、利用実績に基づいた改善案を協議する。協議の内容は、「検討会議だより」を全戸配布して周知し、利用を呼び掛ける。 (三瀬)新高校1年生向けに資料配布を行い、通学手段として村外系統の利用を呼びかけるとともに、三瀬地区コミュニティバスだより」を全戸配布し、利用者数の増加を図る。三瀬地区公共交通検討会議でニーズに対応したダイヤ変更を検討する。	A	B	(松梅)利用者が頭打ちとなっており、更なる新規客の獲得を図っていく必要がある。[べんりカー松梅号だより]を全戸配布し、広く周知することで、利用者数の回復を図る。松梅地区公共交通活性化協議会でニーズに応じたダイヤ変更を検討する。 (富士)引き続き「富士町公共交通検討会議」において、利用実績に基づいた改善案を協議する。協議の内容は、「検討会議だより」を全戸配布して周知し、利用を呼び掛ける。 (三瀬)新高校1年生向けに資料配布を行い、通学手段として村外系統の利用を呼びかけるとともに、三瀬地区コミュニティバスだより」を全戸配布し、利用者数の増加を図る。三瀬地区公共交通検討会議でニーズに対応したダイヤ変更を検討する。	評価の指標は、年間利用者数。 検討会議における改善案の検討や「検討会だより」の全戸配布による利用周知等、地域が主体となった取組の促進に努めたことを評価します。 自己評価については、利用者数の増加・減少を分析し、そこから対応策に繋げていくことをご検討願います。 引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
	株式会社佐賀タクシー	・富士町コミュニティバスの運行	引き続き「富士町公共交通検討会議」において、利用実績に基づいた改善案を協議する。協議の内容は、「検討会議だより」を全戸配布して周知し、利用を呼び掛ける。	A	B	引き続き「富士町公共交通検討会議」において、利用実績に基づいた改善案を協議する。協議の内容は、「検討会議だより」を全戸配布して周知し、利用を呼び掛ける。		
	中央タクシー株式会社	・富士町コミュニティバスの運行	継続利用者確保が目標達成の主な要因であり、引き続き「富士町公共交通検討会議」において、利用実績に基づいた改善案を協議する。協議の内容は、「検討会議だより」を全戸配布して周知し、利用を呼び掛ける。	A	B	引き続き「富士町公共交通検討会議」において、利用実績に基づいた改善案を協議する。協議の内容は、「検討会議だより」を全戸配布して周知し、利用を呼び掛ける。		
	ロイヤル観光株式会社	・富士町コミュニティバスの運行	引き続き「富士町公共交通検討会議」において、利用実績に基づいた改善案を協議する。協議の内容は、「検討会議だより」を全戸配布して周知し、利用を呼び掛ける。	A	B	引き続き「富士町公共交通検討会議」において、利用実績に基づいた改善案を協議する。協議の内容は、「検討会議だより」を全戸配布して周知し、利用を呼び掛ける。		
多久市地域公共交通会議	多久市	東多久立山線 「東多久～立山」間の運行	各行事による臨時バス停設置のお知らせを車内及びバス停に掲示したほか、台風・大雪等による運休については、市のHPや防災無線・メール等でお知らせし、利用者の利便性向上に努めた。	A	C	利用者の需要に合わせて、また新たな利用者を取り入れるため、運行形態を研究し最適な公共交通を目指すとともに、利用者の増加に努める。	評価の指標は、1日の平均利用者数。 目標を達成できなかった要因について、利用者の生活行動の分析やニーズの把握を行い、次期の取組に反映されることを期待します。 4月から本格運行予定のAIオンデマンド交通の利用状況、7月の公立佐賀中央病院の開業後の人の移動状況の把握に努め、引き続き持続可能な旅客運送サービスの確保に繋げることを期待します。	
	多久市	西多久納所線 「西多久～納所」間の運行	各行事による臨時バス停設置のお知らせを車内及びバス停に掲示したほか、台風・大雪等による運休については、市のHPや防災無線・メール等でお知らせし、利用者の利便性向上に努めた。	A	C	利用者の需要に合わせて、また新たな利用者を取り入れるため、運行形態を研究し最適な公共交通を目指すとともに、利用者の増加に努める。		
	多久市	南多久岸川線 「南多久～岸川」間の運行 車両減価償却費等国庫補助金	各行事による臨時バス停設置のお知らせを車内及びバス停に掲示したほか、台風・大雪等による運休については、市のHPや防災無線・メール等でお知らせし、利用者の利便性向上に努めた。	A	C	利用者の需要に合わせて、また新たな利用者を取り入れるため、運行形態を研究し最適な公共交通を目指すとともに、利用者の増加に努める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年2月28日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
	昭和自動車株式会社	(1)波戸岬 【呼び～名護屋浜・名護屋城～波戸岬国民宿舎】	本年度は運転士不足と改善基準告示改正に対応し、持続可能な公共交通構築のために唐津地域利便増進実施計画に基づき、4月に大規模な路線再編を実施した。また、R6.11に唐津地域のバスが乗り放題となるデジタルチケット「1dayフリーバス」と、都市間高速バスからつ号と間唐津地域のバスが2日間乗り放題となるデジタルチケット「から2dayフリーバス」を発売開始した。	A	B	R7.4に利便増進実施計画に基づく更なる路線再編を実施予定。今後も運転士不足への対応、運行効率化のための路線再編を関係各所と慎重に協議しながら推し進めていく。また、路線再編と併せてMaasを活用した様々な施策に取り組み、効率性と利便性を高める。		
	昭和自動車株式会社	(2)加部島 【呼び～加部島杉村】	本年度は運転士不足と改善基準告示改正に対応し、持続可能な公共交通構築のために唐津地域利便増進実施計画に基づき、4月に大規模な路線再編を実施した。また、R6.11に唐津地域のバスが乗り放題となるデジタルチケット「1dayフリーバス」と、都市間高速バスからつ号と間唐津地域のバスが2日間乗り放題となるデジタルチケット「から2dayフリーバス」を発売開始した。	A	A	R7.4に利便増進実施計画に基づく更なる路線再編を実施予定。今後も運転士不足への対応、運行効率化のための路線再編を関係各所と慎重に協議しながら推し進めていく。また、路線再編と併せてMaasを活用した様々な施策に取り組み、効率性と利便性を高める。		
	昭和自動車株式会社	(3)呼び台場 【呼び～呼び台場みなとプラザ】	本年度は運転士不足と改善基準告示改正に対応し、持続可能な公共交通構築のために唐津地域利便増進実施計画に基づき、4月に大規模な路線再編を実施した。また、R6.11に唐津地域のバスが乗り放題となるデジタルチケット「1dayフリーバス」と、都市間高速バスからつ号と間唐津地域のバスが2日間乗り放題となるデジタルチケット「から2dayフリーバス」を発売開始した。	A	B	R7.4に利便増進実施計画に基づく更なる路線再編を実施予定。今後も運転士不足への対応、運行効率化のための路線再編を関係各所と慎重に協議しながら推し進めていく。また、路線再編と併せてMaasを活用した様々な施策に取り組み、効率性と利便性を高める。		
	昭和自動車株式会社	(4)呼び・名護屋浜 (小支・名護屋浜) 【呼び～小支・名護屋浜～呼び】	本年度は運転士不足と改善基準告示改正に対応し、持続可能な公共交通構築のために唐津地域利便増進実施計画に基づき、4月に大規模な路線再編を実施した。また、R6.11に唐津地域のバスが乗り放題となるデジタルチケット「1dayフリーバス」と、都市間高速バスからつ号と間唐津地域のバスが2日間乗り放題となるデジタルチケット「から2dayフリーバス」を発売開始した。	A	A	R7.4に利便増進実施計画に基づく更なる路線再編を実施予定。今後も運転士不足への対応、運行効率化のための路線再編を関係各所と慎重に協議しながら推し進めていく。また、路線再編と併せてMaasを活用した様々な施策に取り組み、効率性と利便性を高める。		
	昭和自動車株式会社	(5)呼び・加部島 【呼び～加部島杉村～呼び】	本年度は運転士不足と改善基準告示改正に対応し、持続可能な公共交通構築のために唐津地域利便増進実施計画に基づき、4月に大規模な路線再編を実施した。また、R6.11に唐津地域のバスが乗り放題となるデジタルチケット「1dayフリーバス」と、都市間高速バスからつ号と間唐津地域のバスが2日間乗り放題となるデジタルチケット「から2dayフリーバス」を発売開始した。	A	A	R7.4に利便増進実施計画に基づく更なる路線再編を実施予定。今後も運転士不足への対応、運行効率化のための路線再編を関係各所と慎重に協議しながら推し進めていく。また、路線再編と併せてMaasを活用した様々な施策に取り組み、効率性と利便性を高める。		
	昭和自動車株式会社	(6)呼び・波戸岬 【呼び～名護屋城址～波戸岬国民宿舎】	本年度は運転士不足と改善基準告示改正に対応し、持続可能な公共交通構築のために唐津地域利便増進実施計画に基づき、4月に大規模な路線再編を実施した。また、R6.11に唐津地域のバスが乗り放題となるデジタルチケット「1dayフリーバス」と、都市間高速バスからつ号と間唐津地域のバスが2日間乗り放題となるデジタルチケット「から2dayフリーバス」を発売開始した。	A	A	R7.4に利便増進実施計画に基づく更なる路線再編を実施予定。今後も運転士不足への対応、運行効率化のための路線再編を関係各所と慎重に協議しながら推し進めていく。また、路線再編と併せてMaasを活用した様々な施策に取り組み、効率性と利便性を高める。		
	昭和自動車株式会社	(7)星賀 【入野～星賀】	本年度は運転士不足と改善基準告示改正に対応し、持続可能な公共交通構築のために唐津地域利便増進実施計画に基づき、4月に大規模な路線再編を実施した。また、R6.11に唐津地域のバスが乗り放題となるデジタルチケット「1dayフリーバス」と、都市間高速バスからつ号と間唐津地域のバスが2日間乗り放題となるデジタルチケット「から2dayフリーバス」を発売開始した。	A	C	R7.4に利便増進実施計画に基づく更なる路線再編を実施予定。今後も運転士不足への対応、運行効率化のための路線再編を関係各所と慎重に協議しながら推し進めていく。また、路線再編と併せてMaasを活用した様々な施策に取り組み、効率性と利便性を高める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年2月28日
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	(8)納所 【入野～納所】	本年度は運転士不足と改善基準告示改正に対応し、持続可能な公共交通構築のために唐津地域利便増進実施計画に基づき、4月に大規模な路線再編を実施した。 また、R6.1に唐津地域のバスが乗り放題となるデジタルチケット「1dayフリーパス」と、都市間高速バスからつ号と間唐津地域のバスが2日間乗り放題となるデジタルチケット「から2dayフリーパス」を発売開始した。	A	C	R7.4に利便増進実施計画に基づく更なる路線再編を実施予定。今後も運転士不足への対応、運行効率化のための路線再編を関係各所と慎重に協議しながら推し進めていく。また、路線再編と併せてMaasを活用した様々な施策に取り組み、効率性と利便性を高める。	評価の指標は、系統毎の収支率及び輸送人員。 令和6年1月に策定した利便増進実施計画に基づく路線再編により利用者利便の増進を図ったほか、デジタルチケットの達成等Maasの推進により利便増進に取り組んだことを評価します。 一方で、目標を達成できなかった系統に関しては、令和7年4月に予定されている路線再編後の利用状況を踏まえて、利用者の生活行動の分析やニーズの把握が行わ	
	昭和自動車株式会社	(9)高車 【入野～高車】	本年度は運転士不足と改善基準告示改正に対応し、持続可能な公共交通構築のために唐津地域利便増進実施計画に基づき、4月に大規模な路線再編を実施した。 また、R6.1に唐津地域のバスが乗り放題となるデジタルチケット「1dayフリーパス」と、都市間高速バスからつ号と間唐津地域のバスが2日間乗り放題となるデジタルチケット「から2dayフリーパス」を発売開始した。	A	C	R7.4に利便増進実施計画に基づく更なる路線再編を実施予定。今後も運転士不足への対応、運行効率化のための路線再編を関係各所と慎重に協議しながら推し進めていく。また、路線再編と併せてMaasを活用した様々な施策に取り組み、効率性と利便性を高める。		
	昭和自動車株式会社	(10)京泊・納所(ジャンボ)(火・木・土) 【京泊～納所・入野～高車福祉センター前】	本年度は運転士不足と改善基準告示改正に対応し、持続可能な公共交通構築のために唐津地域利便増進実施計画に基づき、4月に大規模な路線再編を実施した。 また、R6.1に唐津地域のバスが乗り放題となるデジタルチケット「1dayフリーパス」と、都市間高速バスからつ号と間唐津地域のバスが2日間乗り放題となるデジタルチケット「から2dayフリーパス」を発売開始した。	A	B	R7.4に利便増進実施計画に基づく更なる路線再編を実施予定。今後も運転士不足への対応、運行効率化のための路線再編を関係各所と慎重に協議しながら推し進めていく。また、路線再編と併せてMaasを活用した様々な施策に取り組み、効率性と利便性を高める。		
	昭和自動車株式会社	(11)瓜ヶ坂・高車(ジャンボ)(火・木・土) 【入野～高車福祉センター前～黒崎】	本年度は運転士不足と改善基準告示改正に対応し、持続可能な公共交通構築のために唐津地域利便増進実施計画に基づき、4月に大規模な路線再編を実施した。 また、R6.1に唐津地域のバスが乗り放題となるデジタルチケット「1dayフリーパス」と、都市間高速バスからつ号と間唐津地域のバスが2日間乗り放題となるデジタルチケット「から2dayフリーパス」を発売開始した。	A	C	R7.4に利便増進実施計画に基づく更なる路線再編を実施予定。今後も運転士不足への対応、運行効率化のための路線再編を関係各所と慎重に協議しながら推し進めていく。また、路線再編と併せてMaasを活用した様々な施策に取り組み、効率性と利便性を高める。		
	昭和自動車株式会社	(12)駄竹・星賀(ジャンボ)(月・水・金) 【駄竹～星賀～入野】	本年度は運転士不足と改善基準告示改正に対応し、持続可能な公共交通構築のために唐津地域利便増進実施計画に基づき、4月に大規模な路線再編を実施した。 また、R6.1に唐津地域のバスが乗り放題となるデジタルチケット「1dayフリーパス」と、都市間高速バスからつ号と間唐津地域のバスが2日間乗り放題となるデジタルチケット「から2dayフリーパス」を発売開始した。	A	B	R7.4に利便増進実施計画に基づく更なる路線再編を実施予定。今後も運転士不足への対応、運行効率化のための路線再編を関係各所と慎重に協議しながら推し進めていく。また、路線再編と併せてMaasを活用した様々な施策に取り組み、効率性と利便性を高める。		
	昭和自動車株式会社	(13)市内東 【唐津駅～シーサイド前～唐津駅】	本年度は運転士不足と改善基準告示改正に対応し、持続可能な公共交通構築のために唐津地域利便増進実施計画に基づき、4月に大規模な路線再編を実施した。 また、R6.1に唐津地域のバスが乗り放題となるデジタルチケット「1dayフリーパス」と、都市間高速バスからつ号と間唐津地域のバスが2日間乗り放題となるデジタルチケット「から2dayフリーパス」を発売開始した。	A	A	R7.4に利便増進実施計画に基づく更なる路線再編を実施予定。今後も運転士不足への対応、運行効率化のための路線再編を関係各所と慎重に協議しながら推し進めていく。また、路線再編と併せてMaasを活用した様々な施策に取り組み、効率性と利便性を高める。		
	昭和自動車株式会社	(14)市内西 【大手口～りふれ・済生会病院前～唐津駅】	本年度は運転士不足と改善基準告示改正に対応し、持続可能な公共交通構築のために唐津地域利便増進実施計画に基づき、4月に大規模な路線再編を実施した。 また、R6.1に唐津地域のバスが乗り放題となるデジタルチケット「1dayフリーパス」と、都市間高速バスからつ号と間唐津地域のバスが2日間乗り放題となるデジタルチケット「から2dayフリーパス」を発売開始した。	A	B	R7.4に利便増進実施計画に基づく更なる路線再編を実施予定。今後も運転士不足への対応、運行効率化のための路線再編を関係各所と慎重に協議しながら推し進めていく。また、路線再編と併せてMaasを活用した様々な施策に取り組み、効率性と利便性を高める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年2月28日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
昭和自動車株式会社	(15)市内南 【大手口～唐津赤十字病院前～唐津駅】	本年度は運転士不足と改善基準告示改正に対応し、持続可能な公共交通構築のために唐津地域利便増進実施計画に基づき、4月に大規模な路線再編を実施した。 また、R6.1に唐津地域のバスが乗り放題となるデジタルチケット「1dayフリーバス」と、都市間高速バスからつ号と間唐津地域のバスが2日間乗り放題となるデジタルチケット「から2dayフリーバス」を発売開始した。	A	A	R7.4に利便増進実施計画に基づく更なる路線再編を実施予定。今後も運転士不足への対応、運行効率化のための路線再編を関係各所と慎重に協議しながら推し進めていく。また、路線再編と併せてMaasを活用した様々な施策に取り組み、効率性と利便性を高める。	れることを期待します。 引き続き利便増進実施計画に基づく施策の実施により、更なる利用者利便の増進と持続可能な旅客運送サービスの提供を確保されることを期待します。		
昭和自動車株式会社	(16)市内南 (赤十字病院線) 【大手口～唐津駅・アルビノ～唐津赤十字病院】	本年度は運転士不足と改善基準告示改正に対応し、持続可能な公共交通構築のために唐津地域利便増進実施計画に基づき、4月に大規模な路線再編を実施した。 また、R6.1に唐津地域のバスが乗り放題となるデジタルチケット「1dayフリーバス」と、都市間高速バスからつ号と間唐津地域のバスが2日間乗り放題となるデジタルチケット「から2dayフリーバス」を発売開始した。	A	C	R7.4に利便増進実施計画に基づく更なる路線再編を実施予定。今後も運転士不足への対応、運行効率化のための路線再編を関係各所と慎重に協議しながら推し進めていく。また、路線再編と併せてMaasを活用した様々な施策に取り組み、効率性と利便性を高める。			
昭和自動車株式会社	(17)イオン 【大手口～用尺南～イオン前】	本年度は運転士不足と改善基準告示改正に対応し、持続可能な公共交通構築のために唐津地域利便増進実施計画に基づき、4月に大規模な路線再編を実施した。 また、R6.1に唐津地域のバスが乗り放題となるデジタルチケット「1dayフリーバス」と、都市間高速バスからつ号と間唐津地域のバスが2日間乗り放題となるデジタルチケット「から2dayフリーバス」を発売開始した。	A	A	R7.4に利便増進実施計画に基づく更なる路線再編を実施予定。今後も運転士不足への対応、運行効率化のための路線再編を関係各所と慎重に協議しながら推し進めていく。また、路線再編と併せてMaasを活用した様々な施策に取り組み、効率性と利便性を高める。			
昭和自動車株式会社	(18)市内 (大手口～大島液化ガス) 【大手口～まいつるCARROT店～大島液化ガス】	本年度は運転士不足と改善基準告示改正に対応し、持続可能な公共交通構築のために唐津地域利便増進実施計画に基づき、4月に大規模な路線再編を実施した。 また、R6.1に唐津地域のバスが乗り放題となるデジタルチケット「1dayフリーバス」と、都市間高速バスからつ号と間唐津地域のバスが2日間乗り放題となるデジタルチケット「から2dayフリーバス」を発売開始した。	A	B	R7.4に利便増進実施計画に基づく更なる路線再編を実施予定。今後も運転士不足への対応、運行効率化のための路線再編を関係各所と慎重に協議しながら推し進めていく。また、路線再編と併せてMaasを活用した様々な施策に取り組み、効率性と利便性を高める。			
昭和自動車株式会社	(19)市内(大島液化ガス～用尺南～市民グラウンド) 【大島液化ガス～用尺南～市民グラウンド】	本年度は運転士不足と改善基準告示改正に対応し、持続可能な公共交通構築のために唐津地域利便増進実施計画に基づき、4月に大規模な路線再編を実施した。 また、R6.1に唐津地域のバスが乗り放題となるデジタルチケット「1dayフリーバス」と、都市間高速バスからつ号と間唐津地域のバスが2日間乗り放題となるデジタルチケット「から2dayフリーバス」を発売開始した。	A	A	R7.4に利便増進実施計画に基づく更なる路線再編を実施予定。今後も運転士不足への対応、運行効率化のための路線再編を関係各所と慎重に協議しながら推し進めていく。また、路線再編と併せてMaasを活用した様々な施策に取り組み、効率性と利便性を高める。			
昭和自動車株式会社	(20)市内(大島液化ガス～百人町～市民グラウンド) 【市民グラウンド～百人町～大島液化ガス】	本年度は運転士不足と改善基準告示改正に対応し、持続可能な公共交通構築のために唐津地域利便増進実施計画に基づき、4月に大規模な路線再編を実施した。 また、R6.1に唐津地域のバスが乗り放題となるデジタルチケット「1dayフリーバス」と、都市間高速バスからつ号と間唐津地域のバスが2日間乗り放題となるデジタルチケット「から2dayフリーバス」を発売開始した。	A	B	R7.4に利便増進実施計画に基づく更なる路線再編を実施予定。今後も運転士不足への対応、運行効率化のための路線再編を関係各所と慎重に協議しながら推し進めていく。また、路線再編と併せてMaasを活用した様々な施策に取り組み、効率性と利便性を高める。			
昭和自動車株式会社	(21)市内(大島液化ガス～唐津東中高前) 【大島液化ガス～大手口～唐津東中高前】	本年度は運転士不足と改善基準告示改正に対応し、持続可能な公共交通構築のために唐津地域利便増進実施計画に基づき、4月に大規模な路線再編を実施した。 また、R6.1に唐津地域のバスが乗り放題となるデジタルチケット「1dayフリーバス」と、都市間高速バスからつ号と間唐津地域のバスが2日間乗り放題となるデジタルチケット「から2dayフリーバス」を発売開始した。	A	C	R7.4に利便増進実施計画に基づく更なる路線再編を実施予定。今後も運転士不足への対応、運行効率化のための路線再編を関係各所と慎重に協議しながら推し進めていく。また、路線再編と併せてMaasを活用した様々な施策に取り組み、効率性と利便性を高める。			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年2月28日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
昭和自動車株式会社		(22)市内(唐津フェリーターミナル～大手口) 【唐津フェリーターミナル～西唐津駅前～大手口】	本年度は運転士不足と改善基準告示改正に対応し、持続可能な公共交通構築のために唐津地域利便増進実施計画に基づき、4月に大規模な路線再編を実施した。 また、R6.11に唐津地域のバスが乗り放題となるデジタルチケット「から1dayフリーバス」と、都市間高速バスからつ号と間唐津地域のバスが2日間乗り放題となるデジタルチケット「から2dayフリーバス」を発売開始した。	A	A	R7.4に利便増進実施計画に基づく更なる路線再編を実施予定。今後も運転士不足への対応、運行効率化のための路線再編を関係各所と慎重に協議しながら推し進めていく。また、路線再編と併せてMaasを活用した様々な施策に取り組み、効率性と利便性を高める。		
昭和自動車株式会社		(23)志気(市民病院きたはた～志気) 【市民病院きたはた～志気】	本年度は運転士不足と改善基準告示改正に対応し、持続可能な公共交通構築のために唐津地域利便増進実施計画に基づき、4月に大規模な路線再編を実施した。 また、R6.11に唐津地域のバスが乗り放題となるデジタルチケット「から1dayフリーバス」と、都市間高速バスからつ号と間唐津地域のバスが2日間乗り放題となるデジタルチケット「から2dayフリーバス」を発売開始した。	A	C	R7.4に利便増進実施計画に基づく更なる路線再編を実施予定。今後も運転士不足への対応、運行効率化のための路線再編を関係各所と慎重に協議しながら推し進めていく。また、路線再編と併せてMaasを活用した様々な施策に取り組み、効率性と利便性を高める。		
昭和自動車株式会社		(24)成淵(市民病院きたはた～成淵) 【市民病院きたはた～成淵上】	本年度は運転士不足と改善基準告示改正に対応し、持続可能な公共交通構築のために唐津地域利便増進実施計画に基づき、4月に大規模な路線再編を実施した。 また、R6.11に唐津地域のバスが乗り放題となるデジタルチケット「から1dayフリーバス」と、都市間高速バスからつ号と間唐津地域のバスが2日間乗り放題となるデジタルチケット「から2dayフリーバス」を発売開始した。	A	A	R7.4に利便増進実施計画に基づく更なる路線再編を実施予定。今後も運転士不足への対応、運行効率化のための路線再編を関係各所と慎重に協議しながら推し進めていく。また、路線再編と併せてMaasを活用した様々な施策に取り組み、効率性と利便性を高める。		
昭和自動車株式会社		(25)肥前地区デマンドタクシー 【肥前地区内】	本年度は運転士不足と改善基準告示改正に対応し、持続可能な公共交通構築のために唐津地域利便増進実施計画に基づき、4月に大規模な路線再編を実施した。 また、R6.11に唐津地域のバスが乗り放題となるデジタルチケット「から1dayフリーバス」と、都市間高速バスからつ号と間唐津地域のバスが2日間乗り放題となるデジタルチケット「から2dayフリーバス」を発売開始した。	A	C	R7.4に利便増進実施計画に基づく更なる路線再編を実施予定。今後も運転士不足への対応、運行効率化のための路線再編を関係各所と慎重に協議しながら推し進めていく。また、路線再編と併せてMaasを活用した様々な施策に取り組み、効率性と利便性を高める。		
昭和自動車株式会社		(26)相知・厳木地区デマンドタクシー 【相知・厳木地区内】	本年度は運転士不足と改善基準告示改正に対応し、持続可能な公共交通構築のために唐津地域利便増進実施計画に基づき、4月に大規模な路線再編を実施した。 また、R6.11に唐津地域のバスが乗り放題となるデジタルチケット「から1dayフリーバス」と、都市間高速バスからつ号と間唐津地域のバスが2日間乗り放題となるデジタルチケット「から2dayフリーバス」を発売開始した。	A	A	R7.4に利便増進実施計画に基づく更なる路線再編を実施予定。今後も運転士不足への対応、運行効率化のための路線再編を関係各所と慎重に協議しながら推し進めていく。また、路線再編と併せてMaasを活用した様々な施策に取り組み、効率性と利便性を高める。		
昭和自動車株式会社		(27)浜玉地区デマンドタクシー 【浜玉地区内】	本年度は運転士不足と改善基準告示改正に対応し、持続可能な公共交通構築のために唐津地域利便増進実施計画に基づき、4月に大規模な路線再編を実施した。 また、R6.11に唐津地域のバスが乗り放題となるデジタルチケット「から1dayフリーバス」と、都市間高速バスからつ号と間唐津地域のバスが2日間乗り放題となるデジタルチケット「から2dayフリーバス」を発売開始した。	A	B	R7.4に利便増進実施計画に基づく更なる路線再編を実施予定。今後も運転士不足への対応、運行効率化のための路線再編を関係各所と慎重に協議しながら推し進めていく。また、路線再編と併せてMaasを活用した様々な施策に取り組み、効率性と利便性を高める。		
昭和自動車株式会社		(28)七山地区デマンドタクシー 【七山地区内】	本年度は運転士不足と改善基準告示改正に対応し、持続可能な公共交通構築のために唐津地域利便増進実施計画に基づき、4月に大規模な路線再編を実施した。 また、R6.11に唐津地域のバスが乗り放題となるデジタルチケット「から1dayフリーバス」と、都市間高速バスからつ号と間唐津地域のバスが2日間乗り放題となるデジタルチケット「から2dayフリーバス」を発売開始した。	A	A	R7.4に利便増進実施計画に基づく更なる路線再編を実施予定。今後も運転士不足への対応、運行効率化のための路線再編を関係各所と慎重に協議しながら推し進めていく。また、路線再編と併せてMaasを活用した様々な施策に取り組み、効率性と利便性を高める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年2月28日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
基山町地域公共交通活性化協議会	有限会社基山タクシー	【1号車】基山駅～けやき台～高島団地～憩の家～基山駅系統(4便)	・けやき台北・南・中央(3カ所)にバス停を新設、2号車の曜日別での運行を統一することで、利用者への利便性向上及びより安全な運行の実施に努めた ・コミュニティバス便帳を全戸配布することにより、免許証自主返納者に対する運賃無料化や回数券、フリーバスの販売について周知を行った。 ・町広報誌でお試し乗車券の配布を行い、利用促進を図った。 ・通学等で利用する小学生への利用促進に努めた。	A	A	・今年度実施した乗込調査を引き続き実施し、バス利用者から意見聴取を行うほか、運行ダイヤ、ルート等についても必要に応じて検討し、コミュニティバスの利便性向上に努める。 ・福祉課と連携し、コミバス乗車体験や参加者へのアンケートを行うことで、新規利用者をはじめとした利用者数の増加につなげる。 ・教育学習課と連携し、通学等利用の利便性向上に努める。	評価の指標は利用者数。利用者ニーズを踏まえたバス停留所の新設、コミュニティバス便帳の全戸配布のほか、お試し乗車券の配布による新規利用の開拓等様々な対策を通じて目標達成に繋がったことを評価します。今後も利用域の把握・分析に取り組んでいただくとともに、地域公共交通計画に基づき持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
	有限会社基山タクシー	【1号車】基山駅～けやき台～高島団地～基山駅系統(1、2便)						
	有限会社基山タクシー	【1号車】基山駅～けやき台～高島団地～やよいがおか～憩の家～基山駅系統(3便)						
	有限会社基山タクシー	【1号車】基山駅～けやき台～高島団地～やよいがおか～憩の家～基山駅系統(6、8、9便)						
	有限会社基山タクシー	【1号車】基山駅～けやき台～高島団地～憩の家～基山駅系統(7、10便)						
	有限会社基山タクシー	【1号車】基山駅～けやき台～高島団地～やよいがおか～憩の家～基山駅系統(5便)						
	有限会社基山タクシー	【2号車】園部・長野通学～宮浦～中心部～本桜～園部～中心部(1便)						
	有限会社基山タクシー	【2号車】宮浦～本桜～園部～本桜～長野～宮浦(2便)						
	有限会社基山タクシー	【2号車】本桜～長野～宮浦～園部～本桜(3便)						
有限会社基山タクシー	【2号車】中心部～園部～長野～本桜～宮浦(4便)							
有田町地域公共交通会議	(有)有田タクシー 西肥亀の井タクシー㈱	有田町曲川・大山地区における区域運行登録者住宅～有田町役場等間を1日6便運行	制度定着に向けて広報、周知に取り組み、免許返納支援事業等の利用促進を図った。	A	B	免許返納促進及び返納者の利用促進、高齢者サロン等での周知を引き続き実施していく。	評価の指標は、年間利用者数。各地の高齢者サロン等での広報・周知等の利用促進に取り組まれ、目標を達成されたことを評価します。引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年2月28日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(フェイダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
吉野ヶ里町地域公共交通活性化協議会	吉野ヶ里観光タクシー有限公司	系統名:循環線 運行区間:吉野ヶ里町全域、神埼市及び上峰町の一部	【反映】 町の広報誌、町のホームページ等での周知し、各地区公民館で利用方法等の説明会を実施し、利便性の向上に努めた。	A	A	免許返納者の増加、利用者登録の簡素化、町内での自由乗降になったことにより、利用者数は増加傾向にある。引き続き広報活動に取組み、利便性の向上に努め、利用者の増加につなげる。	評価の指標は、交通結節点での乗降客数。広報誌・ホームページや各地区公民館での説明会等により高齢者等にAIオンデマンド交通の利用方法の周知に積極的に取り組んだことで、目標を達成されたことを評価します。今後も利用状況の把握・分析に努めていただくとともに利用促進に取り組むことで、持続可能な旅客運送サービスの提供を目指されることを期待します。	
太良町地域公共交通活性化協議会	株式会社再耕庵タクシー	多良地区:伊福・片峰線	・令和7年10月の運行再編に向けた利用状況分析、意見交換会を実施(令和6年5~12月) ・運賃の値下げ(令和5年10月)	A	A	利用者のニーズ等を適切に把握し、路線・時刻の再編について必要に応じ実施し、さらなる利用者増加につなげる。	評価の指標は、1日あたり乗車人数、1回あたり輸送人数。 目標達成に至らなかった系統があったものの、今後の路線再編を視野に、利用実態の把握や地元関係者との意見交換等により利用ニーズの把握に努め、今後の施策に繋げられたことを評価します。 今後も令和6年4月に策定した地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
	株式会社再耕庵タクシー	多良地区:中山線	・令和7年10月の運行再編に向けた利用状況分析、意見交換会を実施(令和6年5~12月) ・運賃の値下げ(令和5年10月)	A	A	利用者のニーズ等を適切に把握し、路線・時刻の再編について必要に応じ実施し、さらなる利用者増加につなげる。		
	株式会社再耕庵タクシー	多良地区:端月・川北線	・令和7年10月の運行再編に向けた利用状況分析、意見交換会を実施(令和6年5~12月) ・運賃の値下げ(令和5年10月)	A	C	利用者のニーズ等を適切に把握し、路線・時刻の再編について必要に応じ実施し、目標を達成できるよう新たな利用者の発掘を行い、利用者増加につなげる。		
	株式会社再耕庵タクシー	多良地区:中尾線	・令和7年10月の運行再編に向けた利用状況分析、意見交換会を実施(令和6年5~12月) ・運賃の値下げ(令和5年10月)	A	C	利用者のニーズ等を適切に把握し、路線・時刻の再編について必要に応じ実施し、目標を達成できるよう新たな利用者の発掘を行い、利用者増加につなげる。		
	株式会社再耕庵タクシー	大浦地区:広谷・多良線	・令和7年10月の運行再編に向けた利用状況分析、意見交換会を実施(令和6年5~12月) ・運賃の値下げ(令和5年10月)	A	A	利用者のニーズ等を適切に把握し、路線・時刻の再編について必要に応じ実施し、運行便数の見直し等利用促進に係る取り組みを行う。		
	株式会社再耕庵タクシー	大浦地区:広谷線	・令和7年10月の運行再編に向けた利用状況分析、意見交換会を実施(令和6年5~12月) ・運賃の値下げ(令和5年10月)	A	C	利用者のニーズ等を適切に把握し、路線・時刻の再編について必要に応じ実施し、運行便数の見直し等利用促進に係る取り組みを行う。		
	株式会社再耕庵タクシー	大浦地区:道越・多良線	・令和7年10月の運行再編に向けた利用状況分析、意見交換会を実施(令和6年5~12月) ・運賃の値下げ(令和5年10月)	A	C	利用者のニーズ等を適切に把握し、路線・時刻の再編について必要に応じ実施し、目標を達成できるよう新たな利用者の発掘を行い、利用者増加につなげる。		
	株式会社再耕庵タクシー	大浦地区:道越巡回線	・令和7年10月の運行再編に向けた利用状況分析、意見交換会を実施(令和6年5~12月) ・運賃の値下げ(令和5年10月)	A	C	利用者のニーズ等を適切に把握し、路線・時刻の再編について必要に応じ実施し、運行便数の見直し等利用促進に係る取り組みを行う。		
	株式会社再耕庵タクシー	大浦地区:今里・多良線	・令和7年10月の運行再編に向けた利用状況分析、意見交換会を実施(令和6年5~12月) ・運賃の値下げ(令和5年10月) ・一部路線の変更、牛尾呂公民館前バス停の廃止、時刻の変更(令和5年10月)	A	A	利用者のニーズ等を適切に把握し、路線・時刻の再編について必要に応じ実施し、さらなる利用者増加につなげる。		
	株式会社再耕庵タクシー	大浦地区:今里線	・令和7年10月の運行再編に向けた利用状況分析、意見交換会を実施(令和6年5~12月) ・運賃の値下げ(令和5年10月) ・一部路線の変更、牛尾呂公民館前バス停の廃止、時刻の変更(令和5年10月)	A	C	利用者のニーズ等を適切に把握し、路線・時刻の再編について必要に応じ実施し、運行便数の見直し等利用促進に係る取り組みを行う。		
大町町地域公共交通会議	まちバス 南北ルート(不動寺~大町駅~トライアル) 運行事業者:南大町観光タクシー	前回の事業評価結果では、1日あたりの乗車人数、1回あたりの乗車人数は目標達成度約77%で目標を達成することができなかった。そこで、利用促進策として、利用者の少ない第5便、6便を対象とした運賃無料の施策や、下校時の高校生へコミュニティバス利用の呼び掛けを行った。	A	A	【今後の改善点】 東西ルートと比較すると乗車実績は低い状況にある。現在、利用者がほとんどないバス停があり周辺住民への利用を呼びかけるとともに、より多くの利用可能性が見込める場所へのバス停移設を検討する。トライアルへの出入りに時間を要するため、町道への乗り入れ口の開設について、より利便性が高くなるよう事業者も巻き込んで取り組んでいく。	評価指標は、ルート別1日あたり乗車人数と1回あたり乗車人数。 昨年度の課題を踏まえ、利用者の少ない第5便、6便を対象とした運賃無料の施策や、下校時の高校生へコミュニティバス利用の呼び掛け等の改善策に取り組まれたことで、本年度は目標を達成されたことを評価します。 引き続き利用者のニーズや利用実態の把握に努め、持続可能な旅客運送サービスの確保に向け継続的な協議、施策の推進に取り組まれることを期待します。		
大町町地域公共交通会議	まちバス 東西ルート(大町役場~大町駅~トライアル) 運行事業者:南大町観光タクシー	前回の事業評価結果では、1日あたりの乗車人数、1回あたりの乗車人数は目標達成度約109%で目標を達成することができた。今年度の目標達成のための利用促進策として、利用者の少なかった第5便、6便を対象とした運賃無料の施策や、下校時の高校生へコミュニティバス利用の呼び掛けを行った。	A	A	【今後の改善点】 現在、利用者がほとんどないバス停があり、周辺住民への利用の呼びかけ、利用の可能性のある場所へのバス停移設を検討する。トライアルの出入りに時間を要するため、町道への乗り入れ口の開設について、より利便性が高くなるよう事業者も巻き込んで取り組んでいく。			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年2月28日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎市公共交通活性化協議会	株式会社 琴海タクシー	西海町地内の運行	自治会回覧や、社会福祉協議会担当者を通じて、運行内容の周知を図った。	A	A	自治会回覧や社会福祉協議会を通じた周知や利用促進を継続する	評価指標は、1便当たりの利用者数。 乗合タクシーの利用について、今後も運行内容の周知徹底や実態に応じた運行内容の見直しを行うなど、利用者増に向けた利便性向上の取組を行うことを期待します。	
	株式会社 琴海タクシー	琴海村松町地内の運行	自治会回覧や、社会福祉協議会担当者を通じて、運行内容の周知を図った。	A	A	自治会回覧や社会福祉協議会を通じた周知や利用促進を継続する		
	株式会社 琴海タクシー	琴海戸根町・琴海戸根原町地内の運行	自治会回覧や、社会福祉協議会担当者を通じて、運行内容の周知を図った。	A	B	自治会回覧や社会福祉協議会を通じた周知や利用促進を継続する		
	株式会社 琴海タクシー	長浦町地内の運行	自治会回覧や、社会福祉協議会担当者を通じて、運行内容の周知を図った。	A	A	自治会回覧や社会福祉協議会を通じた周知や利用促進を継続する		
	株式会社 琴海タクシー	琴海形上町地内の運行	自治会回覧や、社会福祉協議会担当者を通じて、運行内容の周知を図った。	A	A	自治会回覧や社会福祉協議会を通じた周知や利用促進を継続する		
	株式会社 琴海タクシー	琴海尾戸町・琴海大平町地内の運行	自治会回覧や、社会福祉協議会担当者を通じて、運行内容の周知を図った。	A	A	自治会回覧や社会福祉協議会を通じた周知や利用促進を継続する		
	長崎県交通局	東部地区の運行	自治会回覧による運行内容を周知するとともに、連合自治会の会合の場で利用状況を共有することで、路線維持に対する意識を地域全体で持たせた。	A	A	自治会回覧や社会福祉協議会を通じた周知や利用促進を継続する	評価指標、1便当たりの利用者数。 目標達成に向け運行内容の周知等を行い目標達成されたこと拡大に評価します。 今後も利用者の状況を把握しながら持続可能な公共交通となることを期待します。	
佐世保市地域公共交通会議	西肥自動車株式会社	岩下洞穴・瀬戸越団地線	地元住民代表・行政・交通事業者による「交通対策協議会」において、サービス面の見直しなど利便性向上に向けた検討会議を行っている。 自治会の会議等で周知するなど、沿線町内会を通じたPR活動や専用回数券の継続利用などで、利用者の維持に努めた。	A	A	これまでに引き続き、利用者の利便性向上や利用促進のため、地元住民代表と交通事業者、行政による「交通対策協議会」を開催し、利用促進に向けた取り組みを行い、利用者の増加を図る。	評価指標は、1回当たりの平均乗客数。 地元住民代表等による交通対策協議会を定期的に開催し、バスの利用状況等の情報共有、改善案を協議されるなど利用促進に取り組まれていることを評価します。 引き続き、利用実態を把握し、利便性向上や利用促進に取り組んでいただき、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
大村市地域公共交通会議	長崎県交通局	地域内フィーダー系統 (乗合バス型運行) 富の原・協和町線 (野岳入口)	事業評価結果を反映することができた。	A	B	今後も利用動向を注視しつつ、適切なダイヤ設定を検討するなど、利便性の向上に努めたい。	評価の指標は、平均乗車密度。 適切なダイヤの見直しなど利用促進に向けた取組を行っていることについて評価します。 引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に実施されることにより、持続可能な公共交通が構築されることを期待します。	
	長崎県交通局	地域内フィーダー系統 (乗合バス型運行) 富の原・協和町線 (黒丸入口)	事業評価結果を反映することができた。	A	B	利用状況の分析を十分に行った上で、令和7年4月からのダイヤ改正において、ダイヤの見直しを行うこととしたい。		
	長崎県交通局	地域内フィーダー系統 (乗合バス型運行) 南部循環線	事業評価結果を反映することができた。	A	A	引き続き地域に最適で持続可能な移動手段の確保に努めたい。		
	長崎県交通局	地域内フィーダー系統 (乗合バス型運行) 小路口・環形線	事業評価結果を反映することができた。	A	A	引き続き地域に最適で持続可能な移動手段の確保に努めたい。		
	長崎県交通局	地域内フィーダー系統 (乗合バス型運行) 北部循環線	事業評価結果を反映することができた。	A	B	沿線の店舗や病院にチラシの配置をお願いなど、路線のPRをしたこともあり、前年度から利用者は増加していた。 今後も適宜路線のPRを行いつつ、利用者の動向に合わせたダイヤ設定を検討したい。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
平戸市愛のり交通活性化委員会	平戸市	市ふれあいバス (結差-宮の浦線)	・目標に対する評価 ⇒収支率を前年比1%増加 ※(前回)15年度収支率:0.6%	A	B	①引き続き交通事業者や高校、病院等と協議し、利便性の良いダイヤの検討、接続強化を図るとともに、利用者が極端に少ない昼間の時間帯での区域運行の導入など、効率性の高い運行ダイヤの検討に努める。 ②キャッシュレス決済の推進により、利用者確保を目指すとともに、行政や委託事業者の事務負担軽減に努める。 ③現在策定に向け準備をしている「平戸市地域公共交通計画」において、当該路線の位置付けや役割、必要性を明記し確保維持を図る。	評価の指標は、収支率を前年比1%増加。目標値である収支率については達成出来なかったものの、学生を中心に利用者が増加しており、富業収益が増加していることは評価します。引き続き、協議会が協定する今後の改善点が着実に解決されることにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
松浦市地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社 ↓ 鹿島タクシー (R8.10.1より)	路線バスの運行 (鹿島(阿部浦線))	協議会や分科会等を通じて運行事業者や地域住民と情報交換を行っている。 松浦市地域公共交通計画ではバス利用者数の令和8年度(計画最終年度)の目標値を11,601人に設定しており、利用促進策に係る個別のKPIについては、事業実施段階において協議会において検討する。	A	B	収支率低下の要因は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による公共交通利用者の減に加え、原油高に伴う燃料費の高騰が大きい。 今後は利用促進策の強化が必要。	評価の指標は、路線毎の収支率。協議会や分科会等を通じて運行事業者や地域住民と情報交換を行っていることについては評価します。 今後島内の人口減少が進む中、利用状況の把握や分析を行い、地域公共交通計画の施策が着実に実施され、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
	鹿島タクシー	乗合タクシーの運行 (阿部浦線)	松浦市地域公共交通計画では乗合タクシー利用者数の令和8年度(計画最終年度)の目標値を8,206人に設定しており、利用促進策に係る個別のKPIについては、事業実施段階に協議会において検討する。	A	B	収支率低下の要因は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による公共交通利用者の減に加え、原油高に伴う燃料費の高騰が大きい。 今後は利用促進策の強化が必要。		
	鹿島タクシー	乗合タクシーの運行 (殿の浦線)	松浦市地域公共交通計画では乗合タクシー利用者数の令和8年度(計画最終年度)の目標値を8,206人に設定しており、利用促進策に係る個別のKPIについては、事業実施段階に協議会において検討する。	A	B	収支率低下の要因は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による公共交通利用者の減に加え、原油高に伴う燃料費の高騰が大きい。 今後は利用促進策の強化が必要。		
	鹿島タクシー	乗合タクシーの運行 (船着津線)	松浦市地域公共交通計画では乗合タクシー利用者数の令和8年度(計画最終年度)の目標値を8,206人に設定しており、利用促進策に係る個別のKPIについては、事業実施段階に協議会において検討する。	A	B	収支率低下の要因は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による公共交通利用者の減に加え、原油高に伴う燃料費の高騰が大きい。 今後は利用促進策の強化が必要。		
対馬市地域公共交通活性化協議会	厳原タクシー(南 北厳原タクシー ホテル対馬線)	権根～厳原間予約制乗合タクシーの運行 権根・厳原線	75歳以上への公共交通利用券(500円×12枚)の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図り利用者の増加を目指す。	A	B	事業者や利用者にはヒアリングを行い、ルートの再編や運行時間帯の調整等ニーズに沿った運行へ転換を検討する。また、企画乗車券(回数券)の販売等、利用者数増加につながる取組を検討する。	評価の指標は、1便当たりの利用者数。定時路線から時間帯の運行へ変更するなど利用者の要望や実施に合わせた利便性向上の取組について評価します。 現在75才以上の方への公共交通利用券の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図っているが、他の利用者のニーズも把握した上で、協議会が協定する今後の改善点が着実に実施されることを期待します。	
	対馬市	田ノ浜～樫尾間コミュニティバスの運行 田ノ浜・樫尾線	75歳以上への公共交通利用券(500円×12枚)の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図り利用者の増加を目指す。	A	B	田ノ浜～樫尾間コミュニティバスの運行を田ノ浜・樫尾線へ統合し、利用者数の増加を図る。 また、事業者や地域の方にヒアリングを行いニーズを確認したうえで、車両のダウンサイジング、ドアツードア等、ニーズに合わせた運行形態の検討を行うことで継続的な利用、新規顧客の獲得を図る。		
	対馬市	田ノ浜～佐賀間コミュニティバスの運行 田ノ浜・佐賀線	75歳以上への公共交通利用券(500円×12枚)の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図り利用者の増加を目指す。	A	A	事業者や地域の方にヒアリングを行いニーズを確認したうえで、車両のダウンサイジング、ドアツードア等、ニーズに合わせた運行形態の検討を行うことで継続的な利用、新規顧客の獲得を図る。		
	柳津島タクシー	鐘知～綾方間予約制乗合タクシーの運行 鐘知・綾方線	75歳以上への公共交通利用券(500円×12枚)の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図り利用者の増加を目指す。	A	B	事業者や利用者にはヒアリングを行い、ルートの再編や運行時間帯の調整等ニーズに沿った運行へ転換を検討する。また、企画乗車券(回数券)の販売等、利用者数増加につながる取組を検討する。		
五島市公共交通活性化再生協議会	松本 勝久(久賀タクシー)	五島市久賀島内17系統運行	渡船待合所へ時刻表を掲示し、利用促進を図っている。	A		今後も引き続き利用者数拡大を目指し、運行事業者や地域町内会と連携し利用促進に取り組む。	評価指標は、年間利用者数。利用者のニーズに合わせた運行の見直しや時刻表の刑事、広報誌や戸別訪問等で利用促進を図っていることについて評価します。 引き続き利用状況の把握や分析を行い、持続可能な公共交通となることを期待します。	
	五島自動車株式会社	五島市福江島内1系統運行 (空港線)	五島つばき空港や福江港ターミナルに時刻表を掲示するとともに運行事業者のホームページで継続して周知を行っている。	A		引き続き五島つばき空港や福江港ターミナルに時刻表を掲示するとともに運行事業者のホームページで周知を図る。		
	五島自動車株式会社	五島市富江地区1系統運行 (区域運行)	利用者アンケートを行い、利用状況や改善点などに関する意見の調査を行っている。また、広報誌や戸別訪問等で周知、利用促進を図った。	A		広報誌や戸別訪問を行い周知を図るとともに、イベントなどで地域住民と接する機会を創出することで、移動に関するニーズや利用満足度等を把握し、よりよい運行形態となるよう努める。		
	有限会社ばらもんタクシー	五島市岐宿地区1系統運行 (区域運行)	利用者アンケートを行い、利用状況や改善点などに関する意見の調査を行っている。また、広報誌や戸別訪問等で周知、利用促進を図った。	A		広報誌や戸別訪問を行い周知を図るとともに、イベントなどで地域住民と接する機会を創出することで、移動に関するニーズや利用満足度等を把握し、よりよい運行形態となるよう努める。		
	有限会社ばらもんタクシー	五島市福江地区1系統運行 (区域運行)	利用者アンケートを行い、利用状況や改善点などに関する意見の調査を行っている。また、広報誌や戸別訪問等で周知、利用促進を図った。	A		広報誌や戸別訪問を行い周知を図るとともに、イベントなどで地域住民と接する機会を創出することで、移動に関するニーズや利用満足度等を把握し、よりよい運行形態となるよう努める。		
	株式会社大波止タクシー	五島市富江地区1系統運行 (大田～富江線)	支所へのチラシ掲示や広報誌で周知を行った。また、ダイヤ改正を行い、より利用者にとっての改善を行った。	A		引き続き利用促進活動に取り組み、路線の維持継続に努める。		
	丸清産業有限会社	五島市奈留地区1系統運行 (区域運行)	利用者アンケートを行い、利用状況や改善点などに関する意見の調査を行っている。また、広報誌や戸別訪問等で周知、利用促進を図った。	A		広報誌や戸別訪問を行い周知を図るとともに、利用者アンケートを行い、地域住民の移動に関するニーズや利用満足度等を把握し、よりよい運行形態となるよう努める。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
新上五島町交通ネットワーク促進協議会	西肥自動車株式会社	①浜串～有川線 有川港ターミナル～浜串間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	A	地域の実情把握により、利用促進に努める。	<p>評価の指標は、1往復当たりの利用者数。自己評価については、ニュースレターや電子書籍化によるインターネットでの周知など利用促進についての取組について評価します。</p> <p>今後は、利用実態の把握・分析を行うとともに、利便性向上や利用促進に取り組んでいただき、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。</p>	
	西肥自動車株式会社	②浜串～有川線 浜串入口～有川港ターミナル間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。		
	西肥自動車株式会社	③江の浜線1 有川港ターミナル～頭ヶ島協会間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	A	地域の実情把握により、利用促進に努める。		
	西肥自動車株式会社	④江の浜線2 有川港ターミナル～江の浜間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。		
	西肥自動車株式会社	⑤江の浜線3 頭ヶ島協会～青島間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。		
	西肥自動車株式会社	⑥江の浜線4 青方～江の浜間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。		
	西肥自動車株式会社	⑦瀬の浦線1 瀬ノ浦～有川港ターミナル間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。		
	西肥自動車株式会社	⑧神之浦線1 有川港ターミナル～干切間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	A	地域の実情把握により、利用促進に努める。		
	西肥自動車株式会社	⑨神之浦線2 有川港ターミナル～干切間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	A	地域の実情把握により、利用促進に努める。		
	西肥自動車株式会社	⑩神之浦線3 有川港ターミナル～浜串入口間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	A	地域の実情把握により、利用促進に努める。		
西肥自動車株式会社	⑪神之浦線4 浜串～有川港ターミナル間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年2月28日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
天草地域公共交通活性化協議会	産交バス(株)	本渡市街地循環線(のつみゆうかー)の運行	公共交通乗り方教室を開催し、市内小学校等6箇所では学年中心に167人参加。バスに関する学習や実車による乗車体験を実施した。また、県内の先行事例を参考にまちづくり団体との協働企画として路線バス試乗体験会を開催するなどにも、路線バス運行事業者とともに取り組んだ。	A	B	公共交通乗り方教室等の利用促進の取組みを継続的に実施する。また、高齢者福祉行政など他分野との連携の可能性を模索し、さらなるPR活動の充実を図っていく。	評価の指標は、年間利用者数及び1便当たり利用者数。まちづくり団体との協働企画として路線バス試乗体験会を実施するなど、公共交通の利用促進の取組みが積極的に行われていることを評価します。また、「目標・効果達成状況」欄に系統ごとの利用者の増加・減少の要因を分析し、記載が行われている点を評価します。	
	(有)パールタクシー 株TaKuRoo (有)大門港タクシー	栖本地域AIオンデマンド乗合タクシーの運行	-	A	A	高齢者福祉行政など他分野との連携の可能性を模索し、さらなるPR活動の充実を図っていく。	本渡市街地循環線の利用者がコロナ禍前の水準への回復傾向から減少に転じた点について、人口減少率よりも利用者減少率が大きい場合は特殊要因が考えられることから、当該要因の分析を行い、利用者回復への効果的な取組の実施を期待します。	
南阿蘇村公共交通連携協議会	産交バス(株)	ゆるっとバス白水ルート (白川水源入口・温泉センター・瑠璃経由) 高森駅前～立野駅 (R5.10.1～R6.9.30)	利用者からの要望、意見等を随時受け、ニーズの把握を行うとともに、平成28年熊本地震にかかるインフラ復旧など(南阿蘇鉄道全線運転再開)にあわせた運行ルートやダイヤの見直しを適宜行い、公共交通の確保に努めた。	A	B	南阿蘇鉄道全線運転再開により利用者の大幅な減少があった。今後については、運行事業者などと利用者の動向や現状把握に努め、利便性向上のためのダイヤ改正やルートの見直しを行い、他の交通モードとの接続強化に努め、より効果的で利便性の高い公共交通体系の構築に取り組む。	評価の指標は、年間利用者数。 「目標・効果達成状況」欄に系統ごとの利用者の増加・減少の要因を分析し、記載が行われている点を評価します。	
	産交バス(株)	ゆるっとバス白水ルート (白川水源入口経由) 高森駅前～立野駅 (R5.10.1～R6.9.30)						
	産交バス(株)	ゆるっとバス久木野ルート (あそ望の郷・長陽駅前経由) 高森駅前～南阿蘇村役場 (R5.10.1～R6.9.30)						
	(有)阿蘇観光タクシー (有)高森駅前タクシー (共同運行)	・地獄・垂玉線(阿蘇下田城駅～地獄・垂玉温泉間) ・予約制 ・熊本地震の影響により運行休止中(R5.10.1～R6.9.30)	平成28年熊本地震以降、運行休止となっている。	-	-	他の公共交通も含め、地域の実情に沿って運行の見直しを行う。	ゆるっとバスの利用者数が大幅に減少しており、その要因として南阿蘇鉄道全線運転再開が挙げられています。今後の改善点にも記載されているダイヤ改正やルートの見直しなどの施策を適切に実施し、鉄道との連携・役割分担を含めた地域の公共交通体系の再構築に期待します。	事業者との情報共有、そして住民理解のきっかけの場として、今後も協議会が積極的に活用されることを期待します。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
合志市地域公共交通協議会	熊本電気鉄道株式会社	レターバス (北ルート1便目、8便目)	乗降カウントシステムにより、利用状況の把握・分析を行った。また渋滞による遅延が常態化していたためダイヤの見直しを行った。 利用促進の取り組みとして、地域の高齢者団体へ公共交通の利用案内や、マイ時刻表による乗り換え案内を実施した。	A	C	目標値に対し、結果は下回っている。 運行路線について、次年度以降見直しを行い、より地域のニーズにあった路線の構築を目指し、利便性の向上を図る。 併せて、中高生の通学手段、高齢者の買い物・通院の移動手段確保のため、実態に則した適切な移動サービスを検討する。	評価の指標は、①市内外の移動での円滑な乗り継ぎに関する市民満足度、②年間利用者数、③公共交通機関利用者の割合、④市民一人当たりの運行委託料。 全ての指標において目標値を下回っており、令和6年3月策定の地域公共交通計画に定められた施策・事業の着実な実施が求められます。 「目標・効果達成状況」欄に利用者の増加・減少の要因を分析し、記載が行われている点を評価します。 現在策定中の利便増進実施計画に基づき、更なる利用者利便の増進と持続可能な旅客運送サービスの提供の確保がなされることを期待します。	
水俣市地域公共交通協議会	産交バス株式会社	水俣駅・葛彩館線 (水俣駅前～水俣市役所・渡野～葛彩館)	年間利用者数の減少率を抑制するため、昨年度に引き続き、「みなくるバス運賃無償化事業」を実施。	A	A	令和6年度に改定する地域公共交通計画に基づき、運行事業者をはじめとする関係者と連携しながら、利便性と効率性の最適化を図っていく。	評価の指標は、年間利用者数の減少率の抑制。 系統ごとに利用者の増加・減少の要因を詳しく分析し、事業の今後の改善点に繋げていくことが重要です。 「目標・効果達成状況」欄には実績値だけではなく、実績値に対する協議会としての分析結果を記載願います。 現在策定中の地域公共交通計画に基づき、今後も地域の関係者の連携と協働による「共創」の取り組みの一層の推進を期待します。	
	産交バス株式会社	水俣駅・大川線 (水俣駅前～深川・愛林館前～大川公民館前)		A	B			
	産交バス株式会社	流合橋経由招川内・茂道線 (招川内～流合橋・水俣駅前～茂道漁港)		A	A			
	産交バス株式会社	頭石経由招川内・茂道線 (招川内～頭石・水俣駅前～茂道漁港)		A	B			
	産交バス株式会社	木臼野経由水俣市役所・水俣駅線 (水俣市役所～梅戸・木臼野～水俣駅前)		A	A			
	産交バス株式会社	水俣市役所・木臼野線 (水俣市役所～梅戸・茂川～木臼野上)		A	B			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会	(有)ながすタクシー	長洲町予約型タクシー(きんぎょタクシー)の運行 (長洲町内全域及び荒尾市・玉名市の特定施設)	長洲・荒尾地域内フィーダー系統確保維持計画どおり長洲町予約型乗合タクシー(きんぎょタクシー)を運行した。また、令和3年4月から実施している玉名市への運行や、運転免許証返納をした高齢者への1年間の無料乗車券配布などを引き続き実施しており、日常生活に必要な不可欠な移動手段の確保を図った。	A	B	R6年3月に策定した「長洲町地域公共交通計画」に基づき、きんぎょタクシーの利便性を更に高め、利用者数の増加を図る。	評価の指標は、年間利用者数及び財政負担額。 公共交通の利用促進に取り組み、利用者数の目標を達成されたことを評価します。 目標を達成した項目についても、その要因を詳しく分析し、今後の取り組みに繋げていくことが重要です。「目標・効果達成状況」欄には全ての項目について実績値に対する協議会としての分析結果を記載願います。 協議会が設定した今後の改善点のとおり、令和6年3月に策定した地域公共交通計画の施策・事業を着実に実施することで、今後も持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
益城町地域公共交通会議	福田地区デマンド型乗合タクシー 熊交観光タクシー(株) (有)光洋タクシー	福田地区～指定停留所13箇所への予約型運行 (1日6便、日曜祝日年末年始は運休)	令和4年10月より、運行内容を変更(便数や指定停留所数の追加)し、利用者は増加傾向にある。前回の輸送実績と目標値の差が大きかったため、令和7年度より目標値を実績をふまえた算定方法に見直している。	A	B	利用状況を注視しながら、広報活動やさらに見直しが必要な部分等についても柔軟に検討していく。広報においては、主な利用者層である高齢者にわかりやすいものを意識する。	評価の指標は、年間利用者数。 運行内容の見直しや利用促進の取り組みにより、利用者が増加したことを評価します。 協議会が設定する今後の改善点が着実に実施されることにより、次年度は目標が達成されることを期待します。 次年度は地域交通計画の改定時期であることから、「地域公共交通計画の実質化に向けた検討会」の中間とりまとめ(R6.4)の提言も踏まえた、地域にとって実のある地域公共交通計画が策定されることを期待します。	
	(有)西田タクシー	ミニバス網津・緑川線の運行	老朽化したバス停や認識が困難になっているバス停の整備や、無料運行を実施し、乗車機会の創出と公共交通に対する意識啓発による利用促進に取り組んだ。また、公共交通マップの配布や広報紙、HP、各種SNSにより幅広い年齢層へ情報発信を行った。	A	A	事業は適切に実施されており、目標も達成できた。本系統は他系統と比較すると利用者が多いが、今後も利用者を増やすため、地域公共交通計画との整合性を図りながら、ルートの見直しや広報紙・SNS等を活用し、積極的な利用啓発に努めていく。	評価の指標は、年間利用者数、1便当たりの利用者数、収支率。 公共交通の利用促進に取り組み、目標値に届かない項目はあるものの、多くの指標において目標が達成されたことを評価します。 また、系統ごとに利用者の増加・減少の要因を分析し、記載が行われている点も評価です。 上記分析結果から協議会が設定する事業の今後の改善点を着実に実施することが重要です。 今後も地域の関係者の連携と協働による「共創」の取り組みの推進を期待します。	
	(有)西田タクシー	ミニバス宇土北部線の運行	老朽化したバス停や認識が困難になっているバス停の整備や、無料運行を実施し、乗車機会の創出と公共交通に対する意識啓発による利用促進に取り組んだ。また、公共交通マップの配布や広報紙、HP、各種SNSにより幅広い年齢層へ情報発信を行った。	A	A	事業は適切に実施されており、目標も達成できた。本系統は他系統と比較すると大幅に増加傾向にある。今後もより利用者を増やすため、地域公共交通計画との整合性を図りながら、ルートの見直しや広報紙・SNS等を活用し、積極的な利用啓発に努めていく。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
宇土市地域公共交通活性化協議会	宇城タクシー(有)	ミニバス轟線の運行	老朽化したバス停や認識が困難になっているバス停の整備や、無料運行を実施し、乗車機会の創出と公共交通に対する意識啓発による利用促進に取り組んだ。 また、公共交通マップの配布や広報紙、HP、各種SNSにより幅広い年齢層へ情報発信を行った。	A	B	事業は適切に実施されたが、1便当たりの利用者数の目標が未達成であった。本系統は運行エリアが市街地に近く、需要の掘り起こしが難しい系統である。そのため、地域公共交通計画との整合性を図りながら、様々な輸送資源を活用した交通体系を検討していく。		
	宇城タクシー(有)	ミニバス花園北部線の運行	老朽化したバス停や認識が困難になっているバス停の整備や、無料運行を実施し、乗車機会の創出と公共交通に対する意識啓発による利用促進に取り組んだ。 また、公共交通マップの配布や広報紙、HP、各種SNSにより幅広い年齢層へ情報発信を行った。	A	A	事業は適切に実施されており、目標も達成できた。 本系統は他系統と比較すると増加傾向にある。今後もより利用者を増やすため、地域公共交通計画との整合性を図りながら、ルートの見直しや広報紙・SNS等を活用し、積極的な利用啓発に努めていく。		
	宇城タクシー(有)	ミニバス花園南部線の運行	老朽化したバス停や認識が困難になっているバス停の整備や、無料運行を実施し、乗車機会の創出と公共交通に対する意識啓発による利用促進に取り組んだ。 また、公共交通マップの配布や広報紙、HP、各種SNSにより幅広い年齢層へ情報発信を行った。	A	B	事業は適切に実施されたが、1便当たりの利用者数の目標が未達成であった。本系統は他系統と比較すると減少傾向にあり、ニーズを把握し需要の掘り起こしが必要と思われる。また、より利用者を増やすため、地域公共交通計画との整合性を図りながら、ルートの見直しや広報紙・SNS等を活用し、積極的な利用啓発に努めていく。		
	産交バス(株)	コミュニティバス(循環線)の運行	無料運行や乗り方教室、イベントなどに合わせた周知啓発等、乗車機会の創出と公共交通に対する意識啓発による利用促進に取り組んだ。 また、公共交通マップの配布や広報紙、HP、各種SNSにより幅広い年齢層へ情報発信を行った。	A	B	事業は適切に実施されたが、収支率の目標が未達成であった。本系統は市街地を循環する系統であり、市街地の拠点間の移動を目的としており、利用者は増加傾向にある。今後もより利用者を増やすため、地域公共交通計画との整合性を図りながら、ルートの見直しや路線バスやJR、ミニバス等の他の交通機関との接続性の向上を検討していく。 また、広報紙やSNS等を活用し、積極的な利用啓発に努めていく。		
	宇城タクシー(有)	デマンドバス(網田地区)の運行	高齢者福祉部門と連携した各種説明会における周知活動や、愛称を「のりのり号」と決定する等、乗車機会の創出と公共交通に対する意識啓発による利用促進に取り組んだ。 さらに、公共交通マップの配布や広報紙、HP、各種SNSにより幅広い年齢層へ情報発信を行った。	A	B	年間利用者数は目標達成したが、収支率が未達成であった。運行開始当初から比較すると徐々に利用者が増加している。運行事業者の予約・配車業務の負担軽減、及び利用者の利便性向上のため、LINE予約・運行管理システムを導入し、併せてスマホ教室の実施等により利用啓発に努める。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
阿蘇市地域公共交通会議	(株)TaKuRoo (有)阿蘇エースタクシー	乗合タクシー内牧赤水線	地域住民の利便性向上及び制度周知のため利用ガイドを配布した。	A	C	事業は適切に実施されているが、目標・効果は達成できなかった。今後も地域住民のための移動手段として利便性の向上を図り、更なる利用者数の増を目指す。地域住民の意見を把握し、利用の仕方等をわかりやすく説明を行う。	評価の指標は、年間利用者数。 目標・効果達成状況については、利用者の増加・減少の要因を詳しく分析し、事業の今後の改善点に繋げていくことが重要です。 目指すべき地域の交通体系の実現に向け、地域の関係者の連携と協働による「共創」の取り組みの推進に期待します。 今後、地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿を明らかにしたマスタープランとして、地域公共交通計画が策定されることを期待します。	
	(株)TaKuRoo (有)阿蘇エースタクシー (資)大阿蘇タクシー	乗合タクシー原の口・鷲の石線	地域住民の利便性向上及び制度周知のため利用ガイドを配布した。	A	C	事業は適切に実施されているが、目標・効果は達成できなかった。地域住民のニーズを把握し、地域住民のための移動手段の確保を図る。地域住民の意見を把握し、利用の仕方等をわかりやすく説明を行う。		
荒尾市地域公共交通活性化協議会	(有)荒尾タクシー、平和タクシー (有)、(有)有明タクシー	荒尾市予約型乗合タクシー(平井地区)の運行	地域包括支援センターが主催する介護予防教室の参加者を対象に、参加者の行動パターンに合った公共交通利用プランの提案等を行う「モビリティ・マネジメント」を実施し、利用促進を図った。 また、広報紙や市のホームページ等により、情報発信を行った。	A	C	モビリティ・マネジメントの対象者や手法について検討し、効果的な利用促進策を実施する。また、おもやいタクシーとの相互利用を推進することで利用促進を図る。	評価の指標は、利便性に関する満足度及び年間利用者数。 全ての指標において目標値を下回っており、目標達成のため、地域の関係者の連携と協働による「共創」の取り組みの一層の推進に期待します。 系統ごとに利用者の増加・減少の要因を詳しく分析し、事業の今後の改善点に繋げていくことが重要です。 「目標・効果達成状況」欄には実績値だけではなく、実績値に対する協議会としての分析結果を記載願います。	
	(有)荒尾タクシー、平和タクシー (有)、(有)有明タクシー	荒尾市予約型乗合タクシー(府本地区)の運行	地域包括支援センターが主催する介護予防教室の参加者を対象に、参加者の行動パターンに合った公共交通利用プランの提案等を行う「モビリティ・マネジメント」を実施し、利用促進を図った。 また、広報紙や市のホームページ等により、情報発信を行った。	A	C	モビリティ・マネジメントの対象者や手法について検討し、効果的な利用促進策を実施する。また、おもやいタクシーとの相互利用を推進することで利用促進を図る。	地域公共交通計画及び利便増進実施計画に定められた施策・事業の着実な実施を期待します。	
	産交バス(株)	住吉線の運行	地域包括支援センターが主催する介護予防教室の参加者を対象に、参加者の行動パターンに合った公共交通利用プランの提案等を行う「モビリティ・マネジメント」を実施し、利用促進を図った。 また、市内の幼稚園・保育園において、バス乗り方教室を実施したほか、ゆめタウンシティモールにおいても、バス乗車体験会を実施した。いずれの施策においても、「無料お試し乗車券」を配付し、利用促進を図った。	A	C	令和6年12月に路線再編を実施し、有明医療センターへの乗入れを開始したほか、ニーズに応じた運行回数・ダイヤを設定し、利便性の向上を図った。 今後については、モビリティ・マネジメントの対象者や手法について検討し、効果的な利用促進策を実施する。具体的には、路線バス利用者の裾野を広げるため、高校生を対象とした学校向けのモビリティ・マネジメントの実施を検討する。また、おもやいタクシーとの相互利用を推進することで利用促進を図る。		
	産交バス(株)	倉掛線の運行	地域包括支援センターが主催する介護予防教室の参加者を対象に、参加者の行動パターンに合った公共交通利用プランの提案等を行う「モビリティ・マネジメント」を実施し、利用促進を図った。 また、市内の幼稚園・保育園において、バス乗り方教室を実施したほか、ゆめタウンシティモールにおいても、バス乗車体験会を実施した。いずれの施策においても、「無料お試し乗車券」を配付し、利用促進を図った。	A	C	令和6年12月に路線再編を実施し、有明医療センターへの乗入れを開始したほか、ニーズに応じた運行回数・ダイヤを設定し、利便性の向上を図った。 今後については、モビリティ・マネジメントの対象者や手法について検討し、効果的な利用促進策を実施する。具体的には、路線バス利用者の裾野を広げるため、高校生を対象とした学校向けのモビリティ・マネジメントの実施を検討する。また、おもやいタクシーとの相互利用を推進することで利用促進を図る。		
産交バス(株)	八幡台線の運行	地域包括支援センターが主催する介護予防教室の参加者を対象に、参加者の行動パターンに合った公共交通利用プランの提案等を行う「モビリティ・マネジメント」を実施し、利用促進を図った。 また、市内の幼稚園・保育園において、バス乗り方教室を実施したほか、ゆめタウンシティモールにおいても、バス乗車体験会を実施した。いずれの施策においても、「無料お試し乗車券」を配付し、利用促進を図った。	A	C	令和6年12月に路線再編を実施し、有明医療センターへの乗入れを開始したほか、ニーズに応じた運行回数・ダイヤを設定し、利便性の向上を図った。 今後については、モビリティ・マネジメントの対象者や手法について検討し、効果的な利用促進策を実施する。具体的には、路線バス利用者の裾野を広げるため、高校生を対象とした学校向けのモビリティ・マネジメントの実施を検討する。また、おもやいタクシーとの相互利用を推進することで利用促進を図る。			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
玉名市地域公共交通会議	玉名タクシー有限会社 有限会社岱洋タクシー 有限会社高瀬合同タクシー 有限会社アトム	(1)滑石・岱明地域 予約制乗合タクシー	公共交通マップや広報等で情報提供の充実を図った。 R6.4月から各エリアの運行時間・便数を統一し、利便性の向上を図った。 市HPや広報誌において乗合タクシーの周知を行った。	A	B	新しい生活様式によって公共交通の利用そのものが減っており、利用者のニーズや利用実態をもとに運行便等の変更を検討する。 また、「乗合タクシー」の認知度が低いという市民からの意見もあり、引き続き住民への周知活動を実施する。	評価の指標は、年間利用者数。 公共交通の利用促進に取り組み、一部系統については目標を達成されたことを評価します。 目標値を達成した系統含めて、利用者の増加・減少の要因を分析し、「目標・効果達成状況」欄に記載が行われている点も評価します。 引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に実施されることにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
		(2)大浜・横島地域 予約制乗合タクシー		A	A			
	産交バス株式会社	(3)九州看護福祉大学経由 玉名駅・新玉名駅線	公共交通マップや広報等で情報提供の充実を図った。 対象事業(3)の主な利用者である九州看護福祉大学および補助対象事業者と定期的に意見交換を実施し、必要な変更を行った。 また、対象事業(4)の利用促進を図るためにR6.5.25に「玉名市街地循環線バス無料の日」を実施した。	A	B	新しい生活様式により公共交通の利用そのものが減っており、公共交通を維持・確保していくために、利用者の増加に繋がるよう通勤・通学に利用しやすい運行時間帯への見直しや住民等への周知などを検討をする。 また、無料の日などのイベントを開催し、公共交通に乗るきっかけ作りを行う。		
		(4)玉名市街地循環線		A	A			
津奈木町地域公共交通会議	むつみ交通株式会社	予約型乗合タクシー「つなぎタクシー」 ・津奈木町内全域及び水俣市内の特定施設間を運行	(1)令和6年3月に津奈木町地域公共交通計画策定 (2)新たに乗降場所を町内三箇所に設置 (3)11枚綴り回数券(町内・町外)の販売を引き続き行い、利用促進及び利便性の向上を図った (4)免許証自主返納者への特典として回数券(町内便・町外便)を1セットずつ配布し、新規利用者の獲得と利用促進を図った (5)つなぎタクシーの利用方法等について、町広報誌に年1回掲載し、住民へのつなぎタクシー利用促進と制度周知を図った	A	C	より効率的な運行を目指すために、意見や要望の検証をしながら適宜見直しをかけていくとともに、つなぎタクシー自体の周知や現在公共交通を利用していない層にも視野を向け、利用しやすい、わかりやすい地域公共交通を目指した事業等を展開していく。 また、令和7年8月に津奈木町に宿泊施設が完成予定のため観光面との連携も見直す必要がある。	評価の指標は、1日当たり利用者数。 目標達成のため、地域の関係者の連携と協働による「共創」の取り組みの推進に期待します。 引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
八代市地域公共交通会議	八代市地域公共交通会議	東町線(区域)の運行	○利用方法、運転免許返納者割引事業等についての周知・情報提供に関する取組を実施した。	A	C	○各沿線ごとに個別に運行路線や乗り継ぎについての周知を実施する。 ○沿線地域や関係団体と連携し、利用実態に合わせた利用促進の取組を実施する。 ○利用方法、運転免許返納者割引事業等についての周知・情報提供に関する取組を引き続き実施し、利用者の増加へつなげていく。 ○利用者からの要望や利用状況を踏まえた運行内容の見直しを行う。 ○運行内容の見直しに合わせ、公共交通マップ及び総合時刻表の更新を行い、丁寧に情報提供を行う。	評価の指標は、年間利用者数及び稼働率。 公共交通の利用促進に取り組み、一部系統については目標を達成されたことを評価します。 目標が達成出来なかった系統については、地域の関係者の連携と協働による「共創」の取り組みの一層の推進を期待します。 系統ごとに利用者の増加・減少の要因を詳しく分析し、事業の今後の改善点に繋げていくことが重要ですが、「目標・効果達成状況」欄に系統ごとの利用者の増加・減少の要因を分析し、記載が行われている点を評価します。 次年度は地域交通計画の改定時期であることから、「地域公共交通計画の実質化に向けた検討会」の中間とりまとめ(R6.4)の提言も踏まえた、地域にとって実のある地域公共交通計画が策定されることを期待します。	
		産島線(区域)の運行	○利用促進策の一環として、社会福祉協議会と連携した試乗会を実施し、地域の方々と協働した周知カレンダーの作成・配布を行った。(鏡町線)		C			
		平和町線(右回り)(路線定期)の運行	○沿線地域(坂本地区)に個別に公共交通だよりを配布し、利用方法等の周知を図った。(日奈久～坂本線、百済来～坂本線)		A			
		平和町線(左回り)(路線定期)の運行	○利用者の利便性向上のため、乗降制限区間撤廃に係る協議を実施した。(平和町線)		A			
		日奈久～坂本線(区域)の運行	○沿線中学生の利用ができるよう乗降場所増設の検討を行った。(産島線) ○ホームページやコミュニティFMにおいて、利用方法、運転免許返納者割引事業等について広報を行った。 ○利用者の新規獲得に向け、R6.1.1に乗合タクシーの定期券料金を改定(値下げ)した。		A			
		鏡町線(区域)の運行			B			
		高田線(区域)の運行			C			
		ごかぐるま(区域)の運行			A			
		百済来～坂本線(区域)の運行			C			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
和水町地域公共交通会議	有限会社高瀬合同タクシー	菊水線	・区域乗継料金の割引を実施し、利用促進及び利便性の向上を図った。 ・町民生委員児童委員協議会の定例会開催時に、出前講座を実施し、周知を行った。	A	B	利用件数の増加と合わせて、運行の効率化(=相乗り率の向上)を図る施策の実施。また、交通事業者や地域との連携・協議を実施することで、持続可能な公共交通を目指す。	評価の指標は、登録者数と年間利用件数。 目標達成のため、地域の関係者の連携と協働による「共創」の取り組みの一層の推進を期待します。 目標・効果達成状況については、系統ごとに利用者の増加・減少の要因を詳しく分析し、事業の今後の改善点に繋げていくことが重要です。「目標・効果達成状況」欄には実績値だけではなく、実績値に対する協議会としての分析結果を記載願います。 上記分析結果から協議会が設定する事業の今後の改善点が着実に実施されることを期待します。	
	有限会社三加和タクシー	三加和線	・区域乗継料金の割引を実施し、利用促進及び利便性の向上を図った。 ・町民生委員児童委員協議会の定例会開催時に、出前講座を実施し、周知を行った。	A	C			
山江村地域公共交通会議	株式会社TaKuRoo	乗合バスまるおか号(山田線、万江線)	令和5年度に村民アンケートを実施し、ニーズ把握を行った。 ホームページにおいて、まるおか号の利用方法等の情報発信を行った。	A	C	・利用者数が目標に達していない要因を詳しく分析し、施策に反映していく。 ・アンケート調査結果をもとにまるおか号の見直しを行い、見直し後も利用者の満足度や課題を把握し、効率的で利便性が高い公共交通体系を構築していく。 ・利用方法、運転免許返納者割引事業等についての周知・情報提供に関する取り組みを引き続き実施し、利用者の増加につなげる。	評価の指標は、年間利用者数と利用者満足度。 目標達成のため、地域の関係者の連携と協働による「共創」の取り組みの一層の推進を期待します。 目標・効果達成状況の記載については、系統ごとに利用者の増加・減少の要因を詳しく分析し、記載を行うことが重要です。 「目標・効果達成状況」欄には実績値だけではなく、実績値に対する協議会としての分析結果を記載願います。 事業者との情報共有、そして住民理解のきっかけの場として、今後も協議会が積極的に活用されることを期待します。	
人吉・球磨地域公共交通活性化協議会	産交バス(株)、つばめ交通(株)、むつみ交通(株)	運行系統名:人吉・錦線 運行区間:JR人吉駅前ロータリー～柳瀬バス停～肥後西村駅 キロ程:往9.1Km、復9.1Km	通勤・通学定期、定期外の減少については人口動態の影響が大きく、通学定期については利用者は減少しているものの利用額は増加している。 サービスの持続とさらなる利用促進を図るため、湯前線100周年記念くまてつ祭りはじめ沿線自治体イベントに参加。また、人吉球磨10市町村においても広報誌で湯前線100周年記念記事を掲載しPRを行った。	A	B	令和8年度上半期中のくま川鉄道全線運転再開を目指し、引き続きくま川鉄道の代替輸送手段として、地域の日常生活に必要な本事業を継続していく。 また、現行の接続ダイヤ調整や乗換情報等の充実、利用者の分析による利便性向上に向けて多角的に進める必要がある。	評価の指標は、1日平均利用者数。 目標達成のため、地域の関係者の連携と協働による「共創」の取り組みの一層の推進を期待します。 目標・効果達成状況の記載については、系統ごとに利用者の増加・減少の要因を詳しく分析し、記載を行うことが重要です。 「目標・効果達成状況」欄には実績値だけではなく、実績値に対する協議会としての分析結果を記載願います。 引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年2月28日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 黒沢・岸河内線	・地域公共交通マップ総合時刻表の窓口配布 ・ホームページ等によるコミュニティバス情報の周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布 ・民生委員に対しマイ時刻表の作成について周知。 ・乗り方教室の開催について振興局担当から各団体へ周知してもらうよう依頼	A	A	地域公共交通網を維持するため、佐伯市地域公共交通計画及び、今後策定予定の利便増進実施計画に基づき、効率的な路線の見直しや運賃制度の見直しを進めていく。 また、市のホームページや市報を活用し、乗り方教室の開催等啓発活動を行い、利用促進に努める。 引き続きマイ時刻表を作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。	・評価の指標は、系統毎の輸送人員と1便当たりの輸送人員。 ・直川デマンドについては、乗り方教室の開催や動画の作成等に取り組み、認知度が向上していることに対して評価します。 ・目標値を下回った系統については目標値の水準が適切だったかどうか検証していただき、地域公共交通計画に基づいた取り組みが今度も着実に実施されることを期待します。 ・今後は交通だけでなく、交通以外の分野とも連携・協働し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
		佐伯市コミュニティバス 下堅田・青山線	・地域公共交通マップ総合時刻表の窓口配布 ・ホームページ等によるコミュニティバス情報の周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布 ・民生委員に対しマイ時刻表の作成について周知。 ・乗り方教室の開催について振興局担当から各団体へ周知してもらうよう依頼	A	B	地域公共交通網を維持するため、佐伯市地域公共交通計画及び、今後策定予定の利便増進実施計画に基づき、効率的な路線の見直しや運賃制度の見直しを進めていく。 また、市のホームページや市報を活用し、乗り方教室の開催等啓発活動を行い、利用促進に努める。 引き続きマイ時刻表を作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。		
		佐伯市コミュニティバス 大入島線	・地域公共交通マップ総合時刻表の窓口配布 ・ホームページ等によるコミュニティバス情報の周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布 ・民生委員に対しマイ時刻表の作成について周知。 ・乗り方教室の開催について振興局担当から各団体へ周知してもらうよう依頼	A	B	地域公共交通網を維持するため、佐伯市地域公共交通計画及び、今後策定予定の利便増進実施計画に基づき、効率的な路線の見直しや運賃制度の見直しを進めていく。 また、市のホームページや市報を活用し、乗り方教室の開催等啓発活動を行い、利用促進に努める。 引き続きマイ時刻表を作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。		
		佐伯市コミュニティバス 米水津・鶴見線	・地域公共交通マップ総合時刻表の窓口配布 ・ホームページ等によるコミュニティバス情報の周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布 ・民生委員に対しマイ時刻表の作成について周知。 ・乗り方教室の開催について振興局担当から各団体へ周知してもらうよう依頼	A	C	地域公共交通網を維持するため、佐伯市地域公共交通計画及び、今後策定予定の利便増進実施計画に基づき、効率的な路線の見直しや運賃制度の見直しを進めていく。 また、市のホームページや市報を活用し、乗り方教室の開催等啓発活動を行い、利用促進に努める。 引き続きマイ時刻表を作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。		
		佐伯市コミュニティバス 弥生デマンド線	・地域公共交通マップ総合時刻表の窓口配布 ・ホームページ等によるコミュニティバス情報の周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布 ・民生委員に対しマイ時刻表の作成について周知。 ・乗り方教室の開催について振興局担当から各団体へ周知してもらうよう依頼	A	B	地域公共交通網を維持するため、佐伯市地域公共交通計画及び、今後策定予定の利便増進実施計画に基づき、効率的な路線の見直しや運賃制度の見直しを進めていく。 また、市のホームページや市報を活用し、乗り方教室の開催等啓発活動を行い、利用促進に努める。 引き続きマイ時刻表を作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。		
		佐伯市コミュニティバス 本匠デマンド線	・地域公共交通マップ総合時刻表の窓口配布 ・ホームページ等によるコミュニティバス情報の周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布 ・民生委員に対しマイ時刻表の作成について周知。 ・乗り方教室の開催について振興局担当から各団体へ周知してもらうよう依頼	B	C	地域公共交通網を維持するため、佐伯市地域公共交通計画及び、今後策定予定の利便増進実施計画に基づき、効率的な路線の見直しや運賃制度の見直しを進めていく。 また、市のホームページや市報を活用し、乗り方教室の開催等啓発活動を行い、利用促進に努める。 引き続きマイ時刻表を作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。		
		佐伯市コミュニティバス 宇目デマンド線	・地域公共交通マップ総合時刻表の窓口配布 ・ホームページ等によるコミュニティバス情報の周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布 ・民生委員に対しマイ時刻表の作成について周知。 ・乗り方教室の開催について振興局担当から各団体へ周知してもらうよう依頼	A	C	地域公共交通網を維持するため、佐伯市地域公共交通計画及び、今後策定予定の利便増進実施計画に基づき、効率的な路線の見直しや運賃制度の見直しを進めていく。 また、市のホームページや市報を活用し、乗り方教室の開催等啓発活動を行い、利用促進に努める。 引き続きマイ時刻表を作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。		
		佐伯市コミュニティバス 直川デマンド線	・地域公共交通マップ総合時刻表の窓口配布 ・ホームページ等によるコミュニティバス情報の周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布 ・民生委員に対しマイ時刻表の作成について周知。 ・乗り方教室の開催について振興局担当から各団体へ周知してもらうよう依頼	B	A	地域公共交通網を維持するため、佐伯市地域公共交通計画及び、今後策定予定の利便増進実施計画に基づき、効率的な路線の見直しや運賃制度の見直しを進めていく。 また、市のホームページや市報を活用し、乗り方教室の開催等啓発活動を行い、利用促進に努める。 引き続きマイ時刻表を作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
九重町地域交通協議会	事業者名:九重町 運行系統名: (1)小平谷線	小平谷～ 豊後中村駅～ 九重町役場の運行	意見交換会等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けHP等でバスの運行情報及び利用方法の周知を進めている。	A	B	利用者が低調であることから、利用者のニーズに合わせ、デマンド型交通を導入し、柔軟な移動サービスへの転換を図る。 また、ケーブルテレビやSNS等様々な媒体を活用し、利用の周知に注力する。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、系統毎の乗客人数。 ・ケーブルテレビやSNS等様々な媒体を活用し、利用の周知をされていることについて評価します。 ・一部系統においては、R6.10～デマンド型交通に転換したことから、乗り方教室を開催するなど、地域住民の認知度を高め、新規利用者の掘り起こしに繋がるような取り組みが実施されることを期待します。 ・今後は交通だけでなく、交通以外の分野とも連携・協働し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。 	
	事業者名:九重町 運行系統名: (2)寺床線	寺床～ 豊後中村駅～ 九重町役場の運行	意見交換会等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けHP等でバスの運行情報及び利用方法の周知を進めている。	A	B	利用者が低調であることから、利用者のニーズに合わせ、デマンド型交通を導入し、柔軟な移動サービスへの転換を図る。 また、ケーブルテレビやSNS等様々な媒体を活用し、利用の周知に注力する。		
	事業者名:九重町 運行系統名: (3)うるが線	うるが～ 引治駅～ 川西の運行	意見交換会等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けHP等でバスの運行情報及び利用方法の周知を進めている。	A	C	利用者が低調であることから、利用者のニーズに合わせ、デマンド型交通を導入し、柔軟な移動サービスへの転換を図る。 また、ケーブルテレビやSNS等様々な媒体を活用し、利用の周知に注力する。		
	事業者名:九重町 (4)龍門線	野倉～ 恵良駅～ 九重町役場の運行	意見交換会等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けHP等でバスの運行情報及び利用方法の周知を進めている。	A	A	利用者のニーズに合わせ、デマンド型交通を導入し、柔軟な移動サービスへの転換を図る。 また、ケーブルテレビやSNS等様々な媒体を活用し、利用の周知に注力する。		
	事業者名:九重町 運行系統名: (5)龍門野倉線	野倉～ 恵良駅の運行	意見交換会等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けHP等でバスの運行情報及び利用方法の周知を進めている。	A	B	利用者が低調であることから、利用者のニーズに合わせ、デマンド型交通を導入し、柔軟な移動サービスへの転換を図る。 また、ケーブルテレビやSNS等様々な媒体を活用し、利用の周知に注力する。		
	事業者名:九重町 運行系統名: (6)鹿伏桐木線	豊後中村駅～ 鹿伏～ 豊後中村駅の運行	意見交換会等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けHP等でバスの運行情報及び利用方法の周知を進めている。	A	C	利用者が低調であることから、利用者のニーズに合わせ、デマンド型交通を導入し、柔軟な移動サービスへの転換を図る。 また、ケーブルテレビやSNS等様々な媒体を活用し、利用の周知に注力する。		
	事業者名:九重町 運行系統名: (7)栗原小園線	九重町役場、 文化センター、 JA九重支店、 引治駅、 矢原医院、 豊後中村駅、 友成医院	意見交換会等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けHP等でバスの運行情報及び利用方法の周知を進めている。	C	C	利用者が低調であることから、利用可能エリアを拡大し、柔軟な移動サービスへの転換を図る。 また、ケーブルテレビやSNS等様々な媒体を活用し、利用の周知に注力する。		
	事業者名:九重町 運行系統名: (8)九重縦断線	塚脇～ 豊後中村駅～ 恵良駅～ 飯田交流センターの運行	乗り方教室の実施により利用促進を図った。 また、より見やすい形のホームページへの改修、グーグルマイマップを活用したバス停位置図の作成など利用者目線の改善を進めた。	A	A	引き続き乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビ、SNS等を活用し、利用方法についての周知を進める。またJRや高速バス等他の交通機関との接続改善のためのダイヤ改正や、バスロケーションシステムの導入等についても適宜検討を行う。		
	事業者名:九重町 運行系統名: (9)九重縦断線	飯田交流センター～豊後中村駅 ～九重ICの運行	乗り方教室の実施により利用促進を図った。 また、より見やすい形のホームページへの改修、グーグルマイマップを活用したバス停位置図の作成など利用者目線の改善を進めた。	A	B	乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビ、SNS等を活用し、利用方法についての周知を進める。またJRや高速バス等他の交通機関との接続改善のためのダイヤ改正や、バスロケーションシステムの導入等についても適宜検討を行う。		
	事業者名:九重町 運行系統名: (10)九重縦断線	牧ノ戸峠～ 豊後中村駅～ 九重ICの運行	乗り方教室の実施により利用促進を図った。 また、より見やすい形のホームページへの改修、グーグルマイマップを活用したバス停位置図の作成など利用者目線の改善を進めた。	A	C	乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビ、SNS等を活用し、利用方法についての周知を進める。またJRや高速バス等他の交通機関との接続改善のためのダイヤ改正や、バスロケーションシステムの導入等についても適宜検討を行う。		
	事業者名:九重町 運行系統名: (11)九重縦断線	牧ノ戸峠～ 豊後中村駅～ 九重ICの運行	乗り方教室の実施により利用促進を図った。 また、より見やすい形のホームページへの改修、グーグルマイマップを活用したバス停位置図の作成など利用者目線の改善を進めた。	A	A	引き続き乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビ、SNS等を活用し、利用方法についての周知を進める。またJRや高速バス等他の交通機関との接続改善のためのダイヤ改正や、バスロケーションシステムの導入等についても適宜検討を行う。		
	事業者名:九重町 運行系統名: (12)九重縦断線	九重登山口花山峠～豊後中村駅 ～塚脇の運行	乗り方教室の実施により利用促進を図った。 また、より見やすい形のホームページへの改修、グーグルマイマップを活用したバス停位置図の作成など利用者目線の改善を進めた。	A	C	乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビ、SNS等を活用し、利用方法についての周知を進める。またJRや高速バス等他の交通機関との接続改善のためのダイヤ改正や、バスロケーションシステムの導入等についても適宜検討を行う。		
	事業者名:九重町 運行系統名: (13)九重縦断線	九重登山口みやま～豊後中村駅 ～塚脇の運行	乗り方教室の実施により利用促進を図った。 また、より見やすい形のホームページへの改修、グーグルマイマップを活用したバス停位置図の作成など利用者目線の改善を進めた。	A	C	乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビ、SNS等を活用し、利用方法についての周知を進める。またJRや高速バス等他の交通機関との接続改善のためのダイヤ改正や、バスロケーションシステムの導入等についても適宜検討を行う。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
津久見市地域公共交通活性化協議会	津久見タクシー(株) 光タクシー(株)	中央病院～津久見駅線	乗降調査を行い、利用者の状況や属性を把握した。高齢者向けの利用促進説明会を開催し、アンケート調査を行った。時刻表や年末年始のお知らせを配布し、ホームページに掲載して周知を行った。	A	B	利用促進につながる情報発信を行いながら、新たな利用者の発掘に向け、高齢者向けの利用促進説明会の開催や、認知度を高めるための方法を検討する。利便増進計画を策定予定であり、利用者数や乗降場所の検証を行うことで、今後の運行方法の検討につなげる。時刻表の配布などの広報活動も引き続き行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、乗客数と運行割合、年間利用者数。 ・高齢者向けの利用促進説明会を開催し、アンケート調査を行ったことについて評価します。 ・畑～津久見線は年度初めに年間の運行予定日を全戸配付し、前年度より運行割合が高くなったことを評価します。更なる利用者の発掘に向け、認知度を高める取り組みを継続されることを期待します。 ・今後は交通だけでなく、交通以外の分野とも連携・協働し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。 	
	津久見タクシー(株)	落の浦～大浜線	アンケート調査を行い、利用者の状況を把握した。利用者や区長から現状について意見をいただいた。調査結果や意見を参考に今後の路線の在り方を検討していく。時刻表や年末年始のお知らせを配布し、ホームページに掲載し周知を行った。	A	A	利便増進計画を策定予定であり、利用状況を検証し、利用者や地域の方のご意見をいただきながら、今後、利用しやすいダイヤや運行方法などを検討していく。高齢者向けの利用促進説明会の開催や、認知度を高めるための方法を検討する。また、時刻表の配布などの広報活動も引き続き行う。		
	津久見タクシー(株) 光タクシー(株)	畑～津久見駅線	年度初めには、1年間の運行予定日を畑地区に全戸配布し周知した。また、年末年始のお知らせの回覧を行った。	A	A	利便増進計画を策定予定であり、利用状況を把握するとともに、予約枠を増やしたり、利用しやすいダイヤへの変更を検討していく。高齢者向けの利用促進説明会の開催等地域住民への利用促進を行っていく。また、運行日の予定表配布なども引き続き行う。		
	臼津交通(株)	路線バス17系統	乗降調査をし、利用者の状況や属性を把握した。高齢者向けの利用促進説明会を開催し、アンケート調査を行った。中西循環線では利用者にアンケート調査を実施し、区長から意見をいただき、今後、乗合タクシーへの転換を検討していく。時刻表や年末年始のお知らせを配付することで、周知を行った。	A	B	利便増進計画を策定予定であり、事業者と協議しながら、運賃体系や運行方法・ダイヤについて検討を行っていく。高齢者向けの利用促進説明会の開催等、地域住民への利用促進を行っていく。また、時刻表を配布するなどの広報活動も引き続き行う。		
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) ひたはしり号 Aコース	日田～玉川町～日隈～石井～日田の循環コースを運行	<ul style="list-style-type: none"> ・大型商業施設のオープンに伴い、利便性の向上を図るため、「中ノ島町」バス停の移設を行った。 	A	A	令和5年3月に策定した「日田市地域公共交通計画」の進捗管理を適切に行うとともに、地域からの要望や利用者の需要を日田バスと連携して把握し、利用者の増及び利便性のさらなる向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、年間輸送人員。 ・「バスの日イベント」を交通事業者と共催し、公共交通の利用促進を図ったことに対して評価します。 ・「ひたはしり号」についてはR5.2に運行ルートを見直し、大幅な利用者増に繋がったことを評価します。引き続き、地域公共交通計画に基づいた取り組みが着実に実施されることを期待します。 ・今後は交通だけでなく、交通以外の分野とも連携・協働し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。 	
	日田バス(株) ひたはしり号 Bコース	日田～田島町～若宮～隈町旅館街～高瀬～日田の循環コースを運行	<ul style="list-style-type: none"> ・ひたはしり号に対する利用者や地域からの要望については、日田バスと情報を共有し把握に努めた。 ・9/22に「バスの日イベント」を日田バスと共催し、「ひたはしり号1日無料乗車体験」等のイベントを行い、公共交通の利用促進を図った。 					
	日田バス(株) ひたはしり号 Cコース	日田～豆田町～朝日町～清岸寺町～城町～日田の循環コースを運行	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度に送迎・輸送に関する地域座談会(勉強会)を五馬地区住民と市で開催して以降、住民間で当該地域における送迎・輸送を含む地域課題に関する協議が行われている。 ・9/22に「バスの日イベント」を日田バスと共催し、「ひたはしり号1日無料乗車体験」等のイベントを行い、公共交通の利用促進を図った。 					
	日田バス(株) 五馬線	日田～小淵～花香～近原～中村～五馬入口のコースを運行	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度に送迎・輸送に関する地域座談会(勉強会)を五馬地区住民と市で開催して以降、住民間で当該地域における送迎・輸送を含む地域課題に関する協議が行われている。 ・9/22に「バスの日イベント」を日田バスと共催し、「ひたはしり号1日無料乗車体験」等のイベントを行い、公共交通の利用促進を図った。 					A
臼杵市地域公共交通活性化協議会	臼津交通(株) 臼杵タクシー(株) 富士タクシー(株)	コミュニティバス利用者数 【城崎線、白岩線、パークゴルフ場線、佐志生線、南津留線、西神野線、市内循環線、南野津・東谷線】	効果的なコミュニティバスの運行のための路線見直しや利用促進を図るための協議を運行事業者及び地元住民と行った。また、市報やケーブルテレビを活用し公共交通情報を発信した。	B	A	引き続き公共交通に関する情報発信を行う。また、地域の拠点となる施設を中心としたコミュニティバス路線の見直しを、地域住民と一緒に検討する等、利用者増にむけた取り組みを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、利用者数。 ・運行事業者と利用促進について随時検討を行っていることについて評価します。 ・均一制運賃がR7.4～導入されることから、利用者のニーズ等の把握を行い、利用促進に向けた取り組みが着実に実施されることを期待します。 ・今後は交通だけでなく、交通以外の分野とも連携・協働し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。 	
	臼津交通(株)	民間路線バス利用者数 【中津浦線、泊ヶ内線、割後場線】	バス事業者と利用促進について随時検討を行った。また路線毎の路線図、時刻表を市のホームページに掲載し、市の窓口にて配布するなどの取り組みを行った。	B	B	引き続きバス事業者と利用促進について検討をしていくとともに地域説明会でも意見聴取を行い、路線の見直しやエリア運賃の導入等の検討を行う。また、公共交通の安全性を訴える等、利用者増にむけたモビリティマネジメントを行う。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
玖珠町地域公共交通活性化協議会	系統名:まちなか循環バス 事業者名:玖珠観光バス(株)	わらべの館を起点として、町中心部の主要施設(役場、商店、医療機関、金融機関等々)を循環 1日8便(西回り4便東回り4便)運行	高齢者の利用増と免許返納者対策として高齢者を対象とした、高齢者免許証返納に対するバス・タクシー券交付事業を引き続き実施している。また、玖珠町ポイントカード会と共同で、くすくすカードの満点カード(500円相当)と公共交通機関利用券(1,000円相当)を交換できる事業も併せて実施している。また、中学生に公共交通の役割や大切さを体験してもらうことで、高校生になった際に積極的に利用してもらうこと目的とした、町内バス乗車無料事業を令和5年6月より実施している。利用者の増加や利便性の向上を目指し、令和6年4月よりわかりやすい運賃体系(一律150円)に改定した。	A	A	料金改定に伴う利用者状況等の把握と分析を引き続き行い、利用者増と利便性が向上する取組を今後検討していく必要がある。新規利用者の動機づけやきっかりの検討も併せて行う必要がある。		
	系統名:小型乗合バス (岩室線) 事業者名:大交タクシー(有)	仲田から下長野間の運行 (毎週水曜日に運行)	高齢者の利用増と免許返納者対策として高齢者を対象とした、高齢者免許証返納に対するバス・タクシー券交付事業を引き続き実施している。また、玖珠町ポイントカード会と共同で、くすくすカードの満点カード(500円相当)と公共交通機関利用券(1,000円相当)を交換できる事業も併せて実施している。また、路線距離が長く、町内を運行する路線によって運賃格差が生じていたため、格差是正、利用者の増加、利便性の向上を目的とし、令和6年4月よりゾーン制運賃(最大300円)に改定した。	A	C	令和6年4月より、ゾーン制運賃制度を導入し、料金を大幅に改定する。料金改定に伴う利用者状況等の把握と分析を引き続き行い、利用者増と利便性が向上する取組を今後検討していく必要がある。今後も、高齢者が利用しやすい路線にするため、運行事業者と連携を密にして、路線の経路や運行時刻の見直しをしていきたい。		
	系統名:ふれあい福祉バス (伐株線) 事業者名:玖珠町	唐杉公民館から福祉センター間の運行(毎週火曜日の運行)	比較的町中心部に近いことから、自家用車の利用が多い地区を通る路線である。高齢者の利用増と免許返納者対策として高齢者を対象とした、高齢者免許証返納に対するバス・タクシー券交付事業を引き続き実施している。また、玖珠町ポイントカード会と共同で、くすくすカードの満点カード(500円相当)と公共交通機関利用券(1,000円相当)を交換できる事業も併せて実施している。また、利用者の増加や利便性の向上を目指し、令和6年4月よりゾーン制運賃の導入し、より利用しやすい運賃(一律150円)に改定した。	A	C	料金改定に伴う利用者状況等の把握と分析を引き続き行いが、近年、利用者は減少し続けているため、利用者がいないバス停の見直しや他の路線との統一など大幅な改善を行っていく必要がある。		
	系統名:ふれあい福祉バス (小田線) 事業者名:玖珠町	小田小学校入口から福祉センター間の運行 (毎週金曜日の運行)	比較的町中心部に近いことから、自家用車の利用が多い地区を通る路線である。高齢者の利用増と免許返納者対策として高齢者を対象とした、高齢者免許証返納に対するバス・タクシー券交付事業を引き続き実施している。また、玖珠町ポイントカード会と共同で、くすくすカードの満点カード(500円相当)と公共交通機関利用券(1,000円相当)を交換できる事業も併せて実施している。また、利用者の増加や利便性の向上を目指し、令和6年4月よりゾーン制運賃の導入し、一部区間においては運賃を減額した。	A	C	料金改定に伴う利用者状況等の把握と分析を引き続き行いが、近年、利用者は減少し続けているため、利用者がいないバス停の見直しや他の路線との統一など大幅な改善を行っていく必要がある。	・評価の指標は、輸送人員。 ・高齢者の利用促進のため、運転免許証返納者に対するバス・タクシー券交付事業と、中学生を対象とした町内バス乗車無料券交付事業を実施したことを評価します。 ・ゾーン制運賃がR6.4～導入されたことから、利用者のニーズ等の把握を行い、利用促進に向けた取り組みが着実に実施されることを期待します。 ・今後は交通だけでなく、交通以外の分野とも連携・協働し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
	系統名:ふれあい福祉バス (山浦線通学便) 事業者名:玖珠町	古園からJR豊後森駅間の運行 (平日運行)	運行距離が長い路線であり運賃格差が生じていた路線の一つであった。格差是正、利用者の増加、利便性の向上を目的とし、令和6年4月よりゾーン制運賃(最大300円)に改定した。	A	B	料金改定に伴う利用者状況等の把握と分析を引き続き行い、利用者増と利便性が向上する取組を今後検討していく必要がある。児童と混乗ができるため、北山田小学校以降の路線については一般の方の利用ができる旨の啓発を行う。		
	系統名:ふれあい福祉バス (山浦線) 事業者名:玖珠町	古園から福祉センター間の運行(毎週火・金曜日の運行)	高齢者の利用増と免許返納者対策として高齢者を対象とした、高齢者免許証返納に対するバス・タクシー券交付事業を引き続き実施している。また、玖珠町ポイントカード会と共同で、くすくすカードの満点カード(500円相当)と公共交通機関利用券(1,000円相当)を交換できる事業も併せて実施している。また、路線距離が長く、町内を運行する路線によって運賃格差が生じていたため、格差是正、利用者の増加、利便性の向上を目的とし、令和6年4月よりゾーン制運賃(最大300円)に改定した。	A	C	料金改定に伴う利用者状況等の把握と分析を引き続き行い、利用者増と利便性が向上する取組を今後検討していく必要がある。特に高齢者が多い地域であるため、高齢者の利用者増加につながる取組の充実の検討を行う必要がある。		
	系統名:ふれあい福祉バス (日出生線通学便) 事業者名:玖珠町	日出生北部コミセンから塚脇間の運行 (平日運行)	高齢者の利用増と免許返納者対策として高齢者を対象とした、高齢者免許証返納に対するバス・タクシー券交付事業を引き続き実施している。また、玖珠町ポイントカード会と共同で、くすくすカードの満点カード(500円相当)と公共交通機関利用券(1,000円相当)を交換できる事業も併せて実施している。また、路線距離が長く、町内を運行する路線によって運賃格差が生じていたため、格差是正、学生や一般利用者の増加、利便性の向上を目的とし、令和6年4月よりゾーン制運賃(最大300円)に改定した。	A	C	料金改定に伴う利用者状況等の把握と分析を引き続き行い、利用者増と利便性が向上する取組を今後検討していく必要がある。少子化に伴い、遠方に住む学生の利用が減少しており、起点、終点等の見直しの検討を行う必要がある。		
	系統名:ふれあい福祉バス (日出生線) 事業者名:玖珠町	小野原から福祉センター間の運行 (毎週月・木曜日の運行)	運行距離が長い路線であり運賃格差が生じていた路線の一つであった。格差是正、利用者の増加、利便性の向上を目的とし、令和6年4月よりゾーン制運賃(最大300円)に改定した。	A	B	令和6年4月より、ゾーン制運賃制度を導入し、料金を大幅に改定した。料金改定に伴う利用者状況等の把握と分析を行い、利用者増と利便性が向上する取組を今後検討していく必要がある。特に高齢者が多く、移転補償等による転居が多い地域であるため、高齢者の利用者増加につながる取組や充実の検討、人口減少の推計による路線や運行本数の見直し(毎週月・木→毎週木のみ)等の必要がある。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
杵築市地域公共交通活性化協議会	三光タクシー(有)	八坂線	市ホームページに掲載し市内外に周知を行った。 また、自治会の会議に出向き乗合タクシーの利用促進のお願いを行うと共に、高齢者の身近にいるケアマネージャーや地域のサロン責任者に、乗合タクシーへの登録の声掛けをお願いした。 免許返納者に対しても乗合タクシーへの登録をお願いした。	A	C	これまで乗車率が着実に増え、昨年は目標値に近い数値(2.72人)を達成していたが、利用者の減少がみられる。乗合タクシーであることから、現状の2.0人/便を維持できるよう、ホームページ、ケーブルテレビの活用やロコミなどにより利用促進の周知に努めたい。	・評価の指標は、1便あたりの利用者数。 ・北杵築線と東線は自家用車から公共交通への転換が進んでおり、市民への利用周知が浸透していることについて評価します。 ・目標値を達成できなかった系統については、「移動手段の変容」や「人口減少」以外に本質的な原因がないか、再度検証することをご検討願います。 ・今後は交通だけでなく、交通以外の分野とも連携・協働し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
	三光タクシー(有)	北杵築線		A	B	目標値を達成することはできなかったが、人口減少が進む地域であっても、着実に乗合タクシーが周知されつつあると思われる。さらなる利用者の増加を目指し、ホームページ、ケーブルテレビの活用やロコミなどにより利用促進の周知に努めたい。		
	杵築国東合同タクシー(株)	東線		A	A	着実に乗合タクシーが周知されつつあると思われるが、さらなる利用者の増加を目指し、ホームページ、ケーブルテレビの活用やロコミなどにより利用促進の周知に努めたい。		
	杵築国東合同タクシー(株)	大内線		A	C	目標値を達成することはできなかったが、人口減少が進む地域であっても、着実に乗合タクシーが周知されつつあると思われる。さらなる利用者の増加を目指し、ホームページ、ケーブルテレビの活用やロコミなどにより利用促進の周知に努めたい。		
	杵築市	大田線		A	C	昨年の実績(2.16人)と比べても利用者の減少が見られるため、利用者の増加を目指し、ホームページ、ケーブルテレビの活用やロコミなどにより利用促進の周知に努めたい。		
豊後大野市地域公共交通活性化協議会	豊後大野市	(コミュニティバスの運行) ＜三重町＞ 5路線 山田線、小坂線、菅尾線、川辺・向野線、内田線の運行 ＜清川町＞ 3路線 通学東小線(※)、通学西小線(※)、清川市民病院線の運行 ＜緒方町＞ 7路線 小富士線、上緒方・小富士線(※)、上緒方線、長谷川・南部線(※)、長谷川線、南部東線、南部西線の運行 ＜朝地町＞ 10路線 朝地・市民病院線、近地・普光寺線、北部幹線、鳥屋線、綿田線、臼木線、小川野・志屋線、梨原線、南部幹線、田夫時線の運行 ＜大野町＞ 7路線 岩杉線、古殿線、藤浪線、沢田線、牧原・広戸線、木浦畑線、田中・市民病院線の運行 ＜千歳町＞ 4路線 下山・前田線、高柴線、石田・大高線、船田線の運行 ＜犬飼町＞ 5路線 宇津尾木線、高津原線、西寒田線、田原・戸上線、通学通山線の運行 計41路線(※印の路線は、通学時間帯のみ運行) ※実証運行路線(4路線) 三重東線、安藤線、貴原・菅田線、矢田線(うち、三重東線と矢田線については、R6年4月～本格運行へ移行)	利用実態及び事業者の状況に合わせて、また、交通資源の整理及び社会実験の結果等も踏まえて、運行内容の見直しを朝地・大野・犬飼地区において実施するとともに、利用促進に努めた。	A	B	利用実態及び事業者の状況に合わせて、路線バス、コミバス、あいのりタクシー、スクールバス等の交通資源の整理と抜本的な再編を市全体で地域ごとに段階的に行う。路線バスの運賃をコミバスと同様に、ゾーン制に統一するなど、利用しやすい環境づくりを行う。デマンドと乗用タクシーの仕組みを連携するなど、利用者にとっても、事業者・自治体にとっても利便性の向上につながる取組みを行う。新しい運行形態やシステム導入に慣れていただくための、利用促進を積極的に行っていく。	・評価の指標は、利用者1人当たり運行コスト、利用者満足度、年間利用者数。 ・利用者満足度調査において、7項目全てで目標の80%を上回っていることに対して評価します。 ・R7.4～市内でゾーン制運賃が実施されることから、利用者のニーズ等の把握を行い、利用促進に向けた取り組みが着実に実施されることを期待します。 ・今後も引き続き多様な関係者と連携・協働し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考			
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果				
国東市地域公共交通会議	国東観光バス(株) 竹田津線 [申請番号1]	国東～竹田津港 (伊美経由)	地域協働推進事業(計画期間:平成25～27年度)の一環である利用助成券制度が好評であり、利用額も増加傾向にあるため、令和5年度からは対象事業者をさらに拡大し、令和6年度についても取り組みを引き続き実施した。 また、市内路線図と時刻表が一体となった総合時刻表についても令和6年度も作成・配布した。市の広報誌やホームページ、公式LINE上で市内の交通施策に関する広報活動を繰り返し行った。	A	B	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、年間輸送人員。 ・総合時刻表の作成・配布や広報活動を繰り返し実施されたことに対して評価します。 ・通学便については、中学生や高校生のニーズや利用実態を把握した上で、新規利用者の掘り起こしに繋がる取り組みが実施されることを期待します。 ・今後も引き続き、交通以外の分野とも連携・協働し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。 				
	国東観光バス(株) 竹田津線 [申請番号2]	国東～伊美 (国見中・伊美港経由)		A	C	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。					
	国東観光バス(株) 竹田津線 [申請番号3]	国東～伊美 (伊美港経由)		A	B	地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。					
	国東観光バス(株) 赤根線 [申請番号4]	伊美～赤根 (国見中町経由)		A	C	令和6年9月末にて路線廃止					
	国東観光バス(株) 豊崎線 [申請番号5]	国東～福川 (国中・小原経由)		A	B	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。					
	国東観光バス(株) 豊崎線 [申請番号6]	国東～福川 (小原経由)		A	A	R6.3.31にて系統減便実施。 地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。					
	国東観光バス(株) 文珠線 [申請番号7]	国東～文珠 (小原経由)		A	A	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。					
	国東観光バス(株) 文珠線 [申請番号8]	国東～文珠 (国中・小原経由)		A	C	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。					
	国東観光バス(株) 岩戸寺線 [申請番号9]	国東～岩戸寺上 (国中・小原経由)		A	C	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。					
	国東観光バス(株) 岩戸寺線 [申請番号10]	国東～岩戸寺上 (小原経由)		A	C	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。					
日出町生活交通確保維持協議会	速見はとタクシー株式会社	日出町デマンド交通 豊岡・南端地区	デマンド配車管理システムにより、毎月の利用実績を集計し、利用状況の把握・分析を行い、利用促進に努めた。	A	C	R5.10より町内全域でデマンド交通の運行をスタートしたが当初の見込みを大幅に下回る結果となった。 従前で行っていたコミュニティバスでは、バス停まで遠い、運行本数が少ない、運行ルートが冗長であるなどの理由から、コミュニティバス路線を一部残し、デマンド交通への政策転換を行ったが、地域によっては、利用時の事前予約の手間や予約しなくても取れないといった理由から定時定路線の方がよかったといった意見が寄せられており、交通体系の再度の見直しを検討している。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、年間利用者数、1日1台当たりの平均乗車人数。 ・デマンド配車管理システムにより、毎月の利用実績を集計し、利用状況の把握・分析を行い、利用促進に努めたことに対して評価します。 ・今後、交通体系の再度の見直しを検討されることから、町民の移動ニーズを把握し、交通事業者と緊密に連携を図ることを期待します。 ・今後は交通だけでなく、交通以外の分野とも連携・協働し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。 				
	有限会社岩尾商事 有限会社日出タクシー	日出町デマンド交通 藤原・赤松地区									
	日出町デマンド交通 川崎・大神地区	日出町デマンド交通 川崎・大神地区									

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
	大分タクシー株式会社 (1) 赤仁田ルート	赤仁田～判田局前の運行						
	オーケーはとタクシー株式会社 (2) 赤仁田ルート	赤仁田～判田局前の運行						
	オーケーはとタクシー株式会社 (3) 椋原ルート	椋原～判田局前の運行						
	大分タクシー株式会社 (4) 椋原ルート	椋原～判田局前の運行						
	大分はとタクシー株式会社 (5) 弓立ルート(通常便:戸次)	弓立～戸次の運行						
	大分シティタクシー株式会社 (6) 弓立ルート(通常便:戸次)	弓立～戸次の運行						
	大分はとタクシー株式会社 (7) 弓立ルート(通学便:戸次)	弓立～戸次の運行						
	大分シティタクシー株式会社 (8) 弓立ルート(通学便:戸次)	弓立～戸次の運行						
	大分はとタクシー株式会社 (9) 弓立ルート(通常便:判田)	弓立～判田局前の運行						
	大分シティタクシー株式会社 (10) 弓立ルート(通常便:判田)	弓立～判田局前の運行						
	大分はとタクシー株式会社 (11) 中野ルート	中野～戸次の運行						
	オーケーはとタクシー株式会社 (12) 中野ルート	中野～戸次の運行						
	有限会社野津原タクシー (13) 上石合ルート	屋形木～野津原支所の運行						
	有限会社野津原タクシー (14) 入蔵ルート	入蔵～野津原支所の運行						
	クリスタルシティタクシー株式会社 (15) 市尾ルート	木田南部～坂ノ市の運行						

●引き続き、ルートごとに毎年開催する「地域検討会」を継続する中で、地域の実情や利用者ニーズの変化に対応した見直しを行いながら、利用者・交通事業者・行政の協働で、以下の事項に取り組む。
 ・利用実績の評価及び検証
 ・地域住民の利用ニーズの把握
 ・次年度の運行計画の検討
 ・利用促進

●引き続き、停留所に標柱・ベンチの設置を進め、利用環境の向上を図る。

●引き続き、制度紹介チラシや利用状況報告のチラシを回覧するほか、自治会と連携し、地域への制度説明会を開催する等、広報活動を行うことで、地域全体への周知を図り、新規利用者の拡大に繋げる。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大分市地域公共交通協議会	大分シティタクシー株式会社 (16)延命寺ルート	延命寺～坂ノ市の運行	<p>・令和4年度事業では、沿線の多くの自治会が、当時新型コロナウイルスの感染が拡大していたことを理由に地域検討会の開催を控えたことが、③地域検討会の開催回数、④検討会等への参加者数の目標が未達となった要因であると分析しています。</p> <p>・本年度から、Withコロナを前提として、地域検討会に係る評価指標とは別に、「利用者の満足度70%以上」を新たに評価指標とし、全ルートでアンケート調査を実施しました。回答者の97%が「なくてはならない事業である」と答えており、目標を達成しています。なお、令和5年に5類移行となり、地域検討会は例年通りほぼ全ルートで開催されています。</p>	A	A		<p>・評価の指標は、①年間利用者数、②稼働率、③地域検討会開催回数、④地域検討会及び運行説明会の参加者数、⑤利用者の満足度、⑥潜在的な利用者発掘に向けた取り組み</p> <p>・利用者が参加して次年度の運行計画を検討する「地域検討会」を路線ごとに開催するなど、利用促進に取り組まれていることに対して評価します。</p> <p>・公共交通の利用促進に取り組まれ、目標を達成されたことを評価します。引き続き利用者のニーズや利用実態を把握した上で、関係者との協議が継続されることを期待します。</p> <p>・今後は交通だけでなく、交通以外の分野とも連携・協働し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。</p>	
	クリスタルシティタクシー株式会社 (17)一木ルート	一木～浜入口の運行						
	クリスタルシティタクシー株式会社 (18)屋山ルート	屋山～坂ノ市の運行						
	クリスタルシティタクシー株式会社 (19)折立ルート	折立～坂の市小学校前の運行						
	クリスタルシティタクシー株式会社 (20)道尻ルート	道尻～坂の市小学校前の運行						
	ワーカーズコープタクシー有限会社 (21)木佐上ルート(馬場・往路)	木佐上～馬場の運行						
	ワーカーズコープタクシー有限会社 (22)木佐上ルート(馬場・復路)	木佐上～馬場の運行						
	ワーカーズコープタクシー有限会社 (23)木佐上ルート(神崎中学校前・往路)	木佐上～神崎中学校前の運行						
	ワーカーズコープタクシー有限会社 (24)木佐上ルート(神崎中学校前・復路)	木佐上～神崎中学校前の運行						
	ワーカーズコープタクシー有限会社 (25)大志生木ルート	大志生木1～大志生木の運行						
	クリスタルシティタクシー株式会社 (26)大黒ルート	大黒～佐賀関の運行						
	臼津交通株式会社 (27)臼関線	佐賀関～臼杵 (補助対象:大分市内分のみ)						
	臼津交通株式会社 (28)臼関線	佐賀関～下浦						
	大分交通株式会社 (29)机張原線	5号地大交車庫前～田室町 ～机張原						
大分交通株式会社 (30)柞原線	5号地大交車庫前～田室町 ～柞原							
							<p>●引き続き、利用状況やバス時刻表を回覧配布し、路線維持のためのバス利用の意識づけを行う。</p> <p>●交通だけに限らず、商業施設や病院など、他分野と連携・協働し、持続可能な公共交通体系の構築の検討をする。</p>	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
	大分交通株式会社 (31)机張原線	5号地大交車庫前～西春日町 ～机張原				<ul style="list-style-type: none"> ●大分交通株式が運行する机張原線、柞原線、大分市内線(29～34)については、令和6年10月1日より休止 ●令和6年10月1日より、大分市路線バス代替交通運行事業にて路線を引き継ぎ「やはたコミュニティバス」を運行開始 		
	大分交通株式会社 (32)柞原線	5号地大交車庫前～西春日町 ～柞原						
	大分交通株式会社 (33)大分市内線	大分駅前～新川～中大山						
	大分交通株式会社 (34)大分市内線	大分駅前～西春日町～下坂本						

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
中津市公共交通会議	大交北部バス	申請番号1 路線バス事業 【永添線】 中津駅前～万田～大貞車庫前	市報やHP等を利用したPRやマイ時刻表の作成、バスマップの作成などを行い利用者へのバス利用環境の改善を図った。	A	A	目標人数を達成できており、今後も、令和5年3月に策定した「中津市地域公共交通計画」の推進管理を適切に行うとともに、バス利用者の増加のための各種利用拡大施策にバス事業者と連携して取り組み、バスの利用拡大を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、系統毎の輸送人員。 ・市報によるPR、マイ時刻表の作成、バスマップの整備等を行うなどして、バスの利用促進に取り組みましたこととして評価します。 ・目標値を下回った系統については目標値の水準が適切だったかどうか、再度検討していただき、地域公共交通計画に基づいた取り組みが今度も着実に実施されることを期待します。 ・今後は交通だけでなく、交通以外の分野とも連携・協働し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。 	
		申請番号2 路線バス事業 【耶馬溪線】 中津駅前～沖代町～野路	市報やHP等を利用したPRやマイ時刻表の作成、バスマップの作成などを行い利用者へのバス利用環境の改善を図った。	A	C	目標人数に大きく届いていないため、目標値の見直しも検討しつつ、今後も、令和5年3月に策定した「中津市地域公共交通計画」の推進管理を適切に行うとともに、バス利用者の増加のための各種利用拡大施策にバス事業者と連携して取り組み、バスの利用拡大を図る。		
		申請番号3 路線バス事業 【耶馬溪線】 中津駅前～沖代町～大貞車庫前	市報やHP等を利用したPRやマイ時刻表の作成、バスマップの作成などを行い利用者へのバス利用環境の改善を図った。	A	A	目標人数を達成できており、今後も、令和5年3月に策定した「中津市地域公共交通計画」の推進管理を適切に行うとともに、バス利用者の増加のための各種利用拡大施策にバス事業者と連携して取り組み、バスの利用拡大を図る。		
		申請番号4 路線バス事業 【耶馬溪線】 中津駅前～中津北高～大貞車庫前	市報やHP等を利用したPRやマイ時刻表の作成、バスマップの作成などを行い利用者へのバス利用環境の改善を図った。	A	C	目標人数を達成できていないため、今後も、令和5年3月に策定した「中津市地域公共交通計画」の推進管理を適切に行うとともに、バス利用者の増加のための各種利用拡大施策にバス事業者と連携して取り組み、バスの利用拡大を図る。		
		申請番号5 路線バス事業 【深秣線】 中津駅～アメニティタウンかみまくさ	市報やHP等を利用したPRやマイ時刻表の作成、バスマップの作成などを行い利用者へのバス利用環境の改善を図った。	A	A	目標人数も達成できており、今後も、令和5年3月に策定した「中津市地域公共交通計画」の推進管理を適切に行うとともに、バス利用者の増加のための各種利用拡大施策にバス事業者と連携して取り組み、バスの利用拡大を図る。		
		申請番号6 路線バス事業 【海岸中高線】 さ蔭前～鍋島～中津駅前	市報やHP等を利用したPRやマイ時刻表の作成、バスマップの作成などを行い利用者へのバス利用環境の改善を図った。	A	A	目標人数も達成できており、今後も、令和5年3月に策定した「中津市地域公共交通計画」の推進管理を適切に行うとともに、バス利用者の増加のための各種利用拡大施策にバス事業者と連携して取り組み、バスの利用拡大を図る。		
		申請番号7 路線バス事業 【田口線】 中津駅前～イオン～八面山荘前	市報やHP等を利用したPRやマイ時刻表の作成、バスマップの作成などを行い利用者へのバス利用環境の改善を図った。	A	A	目標人数も達成できており、今後も、令和5年3月に策定した「中津市地域公共交通計画」の推進管理を適切に行うとともに、バス利用者の増加のための各種利用拡大施策にバス事業者と連携して取り組み、バスの利用拡大を図る。		
		申請番号8 コミュニティバス 【城井線】 旬菜館～本中氏宅前～旬菜館	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。 また、バスマップの作成やGTFSデータの整備を行い利用促進を図った。	A	C	目標人数を達成できなかった。 今後はデマンド運行等を視野に入れ、運行の効率化及び利用者数の上昇に向けた取り組みを行う。		
		申請番号9 コミュニティバス 【城井線】 平田診療所～本中氏宅前～平田診療所	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。 また、バスマップの作成やGTFSデータの整備を行い利用促進を図った。	A	B	目標人数を達成できなかった。 今後はデマンド運行等を視野に入れ、運行の効率化及び利用者数の上昇に向けた取り組みを行う。		
		申請番号10 コミュニティバス 【川原口線】 旬菜館～津民診療所～旬菜館	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。 また、バスマップの作成やGTFSデータの整備を行い利用促進を図った。	A	B	目標人数を達成できなかった。 今後はデマンド運行等を視野に入れ、運行の効率化及び利用者数の上昇に向けた取り組みを行う。		
		申請番号11 コミュニティバス 【上ノ川内榎木線】 旬菜館～津民診療所～旬菜館	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。 また、バスマップの作成やGTFSデータの整備を行い利用促進を図った。	A	B	目標人数を達成することができなかった。 今後はデマンド運行等を視野に入れ、運行の効率化及び利用者数の上昇に向けた取り組みを行う。		
		申請番号12 コミュニティバス 【大島台金吉線】 耶馬溪支所～下郷診療所～耶馬溪支所	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。 また、バスマップの作成やGTFSデータの整備を行い利用促進を図った。	A	C	目標人数を達成することができなかった。 今後はデマンド運行等を視野に入れ、運行の効率化及び利用者数の上昇に向けた取り組みを行う。		
		申請番号13 コミュニティバス 【大島伊福線】 耶馬溪支所～下郷診療所～耶馬溪支所	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。 また、バスマップの作成やGTFSデータの整備を行い利用促進を図った。	A	C	目標人数を達成することができなかった。 今後はデマンド運行等を視野に入れ、運行の効率化及び利用者数の上昇に向けた取り組みを行う。		
	耶馬溪交通(有)	申請番号14 コミュニティバス 【樋山路鎌城線】 耶馬溪支所～下郷診療所～耶馬溪支所	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	B	目標人数を達成することはできなかったが、前年と比較すると利用人数は増加しており、目標人数までわずかに1人となっている。 今後はデマンド運行等を視野に入れ、更なる運行の効率化及び利用者数の上昇に向けた取り組みを行う。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大交北部バス(株)	路線バス (1)乙女	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう努めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	C	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通の発展に務めているところであるが、沿線人口の減少や、新規の利用者を獲得することができず、目標を達成することができなかった。 路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発などの利用促進に向けた取組を行っていききたい。			
	路線バス (2)豊州	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう努めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	A	路線図や時刻表の配布やHPでの啓発などの利用促進の効果により、新規の利用者を獲得することができ、目標を達成することができた。 今後も利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。			
	路線バス (3)津房	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう努めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	B	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通の発展に務めているところであるが、沿線人口の減少や、新規の利用者を獲得することができず、目標を達成することができなかった。 路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発などの利用促進に向けた取組を行っていききたい。			
	路線バス (4)明治	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう努めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	B	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通の発展に務めているところであるが、沿線人口の減少や、新規の利用者を獲得することができず、目標を達成することができなかった。 路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発などの利用促進に向けた取組を行っていききたい。			
	路線バス (5)宇佐参宮	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう努めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	C	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通の発展に務めているところであるが、沿線人口の減少や、新規の利用者を獲得することができず、目標を達成することができなかった。 路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発などの利用促進に向けた取組を行っていききたい。			
	コミュニティバス (6)中山・新貝	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう努めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	A	路線図や時刻表の配布やHPでの啓発などの利用促進の効果により、新規の利用者を獲得することができ、目標を達成することができた。 今後も利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。			
	コミュニティバス (7)大内・広谷	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう努めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	B	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通の発展に務めているところであるが、沿線人口の減少や、新規の利用者を獲得することができず、目標を達成することができなかった。 路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発などの利用促進に向けた取組を行っていききたい。			
	コミュニティバス (8)長洲・金屋	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう努めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	A	路線図や時刻表の配布やHPでの啓発などの利用促進の効果により、新規の利用者を獲得することができ、目標を達成することができた。 今後も利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
宇佐市地域公共交通会議	清瀬タクシー(有) 中津太陽交通(株)	コミュニティバス (9)(10)上麻生	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう努めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	A	路線図や時刻表の配布やHPでの啓発などの利用促進の効果により、新規の利用者を獲得することができ、目標を達成することができた。 今後も利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、輸送人員、運送収入。 ・路線図や時刻表の配布などにより、利用者の増加に向けた取組をされたことに対して評価します。 ・目標値を下回った要因として「沿線人口の減少」と「新規の利用者を獲得できなかった」が挙げられておりますが、この他にも要因がないか詳細な分析をご検討願います。 ・今後は交通だけでなく、交通以外の分野とも連携・協働し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。 	
		コミュニティバス (11)(12)麻生・横山	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう努めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	B	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通の発展に努めているところであるが、沿線人口の減少や、新規の利用者を獲得することができず、目標を達成することができなかった。 路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発などの利用促進に向けた取組を行っていききたい。		
		コミュニティバス (13)(14)高家・天津	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう努めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	B	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通の発展に努めているところであるが、沿線人口の減少や、新規の利用者を獲得することができず、目標を達成することができなかった。 路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発などの利用促進に向けた取組を行っていききたい。		
		コミュニティバス (15)(16)西馬城	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう努めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	B	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通の発展に努めているところであるが、沿線人口の減少や、新規の利用者を獲得することができず、目標を達成することができなかった。 路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発などの利用促進に向けた取組を行っていききたい。		
		コミュニティバス (17)(18)柳ヶ浦	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう努めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	B	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通の発展に努めているところであるが、沿線人口の減少や、新規の利用者を獲得することができず、目標を達成することができなかった。 路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発などの利用促進に向けた取組を行っていききたい。		
	院内タクシー(有)	コミュニティバス (19)南毛	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう努めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	A	路線図や時刻表の配布やHPでの啓発などの利用促進の効果により、新規の利用者を獲得することができ、目標を達成することができた。 今後も利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。		
		コミュニティバス (20)古川・平ヶ倉	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう努めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	B	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通の発展に努めているところであるが、沿線人口の減少や、新規の利用者を獲得することができず、目標を達成することができなかった。 路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発などの利用促進に向けた取組を行っていききたい。		
		コミュニティバス (21)大見尾・熊	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう努めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	A	路線図や時刻表の配布やHPでの啓発などの利用促進の効果により、新規の利用者を獲得することができ、目標を達成することができた。 今後も利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。		
		コミュニティバス (22)福貴野・上内河野	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう努めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	B	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通の発展に努めているところであるが、沿線人口の減少や、新規の利用者を獲得することができず、目標を達成することができなかった。 路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発などの利用促進に向けた取組を行っていききたい。		
		コミュニティバス (23)蓋籠・釜ノ口	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう努めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	A	路線図や時刻表の配布やHPでの啓発などの利用促進の効果により、新規の利用者を獲得することができ、目標を達成することができた。 今後も利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。		
		コミュニティバス (24)松本・上ノ原	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう努めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	C	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通の発展に努めているところであるが、沿線人口の減少や、新規の利用者を獲得することができず、目標を達成することができなかった。 路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発などの利用促進に向けた取組を行っていききたい。		
		コミュニティバス (25)高並	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう努めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	A	路線図や時刻表の配布やHPでの啓発などの利用促進の効果により、新規の利用者を獲得することができ、目標を達成することができた。 今後も利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。		
	コミュニティバス (26)田所	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう努めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	C	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通の発展に努めているところであるが、沿線人口の減少や、新規の利用者を獲得することができず、目標を達成することができなかった。 路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発などの利用促進に向けた取組を行っていききたい。			
	大交北部バス(株)	コミュニティバス (27)和氣・佐野	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るよう努めた。 また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	A	路線図や時刻表の配布やHPでの啓発などの利用促進の効果により、新規の利用者を獲得することができ、目標を達成することができた。 今後も利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
豊後高田市地域公共交通会議	宇佐参宮タクシー(有) (株)KCタクシー大分 中津太陽交通(株)	上野線 上野～健康交流センター花いろ～商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ・運行事業者と協力し、便別、停留所別の乗降調査を実施した。 ・市民乗合タクシー時刻表や乗り方の情報を市民向けに配信した。 ・個人向けの乗継ダイヤを掲載したマイ時刻表を作成し、利用率向上に努めた。 ・利用促進を図るために、市報、ホームページ、ケーブルテレビ等の市の広報媒体を活用した情報発信を行った。 	A	B	医療機関の送迎サービスが普及した地域であり、利用者数は減少傾向である。自治会や地域住民、運行事業者からの意見聴取を行いながら、運行時間やルートの変更を検討するなどし、効果的な運行を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、1便当たりの利用者数。 ・①運行事業者と協力し、便別、停留所別の乗降調査を実施、②市民乗合タクシー時刻表や乗り方の情報を市民向けに配信、③個人向けの乗継ダイヤを掲載したマイ時刻表を作成、④利用促進を図るために、市報、ホームページ、ケーブルテレビ等の市の広報媒体を活用した情報発信を行ったことを評価します。 ・医療機関の送迎サービス利用の増加により、利用者が減少したことについて、当該系統が住民の移動ニーズに合っているのが再度確認をご検討願います。 ・今後は交通だけでなく、交通以外の他の分野とも連携・協働し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。 	
		並石線 大日大橋～健康交流センター花いろ～商工会議所		A	B	利用者数が多い路線であるが、利用率は目標値を下回った。乗客の中には「利用方法が分からずこれまで利用していなかった。」という声があった。今後も地域住民の意見を反映しながら、初めての方も利用しやすい様に情報発信を行う。同時に運行時間やルートの変更を検討し、効果的な運行を図る。		
		長岩屋線 三畑公民館～健康交流センター花いろ～商工会議所		A	B	人口減が進んでいる地域であるが、運転免許を持たない高齢者の貴重な生活交通手段となっている。利用実態の把握に努めるとともに、利用者の意向調査等を行いニーズに沿った運行を検討していく。		
		草地線 長添～スーパーあさの～商工会議所		A	B	利用者数は減少傾向にあるが、運転免許を持たない高齢者の生活に欠かせない交通手段であるため、利用実態の把握に努めていく。また、路線バスと接続を考慮した運行となるよう調整していく。		
		黒土線 小河内～スパランド真玉～スーパーまたま		A	B	人口減が進んでいる地域であるが、運転免許を持たない高齢者の貴重な生活交通手段となっている。利用実態の把握に努めるとともに、利用者の意向調査等を行いニーズに沿った運行を検討していく。		
		臼野線 山畑～臼野公民館～スーパーまたま		A	C	利用者数は減少傾向にあるが、運転免許を持たない高齢者の生活に欠かせない交通手段であるため、利用実態の把握に努めていく。また、路線バスと接続を考慮した運行となるよう調整していく。		
香国タクシー		熊野線 田染平野～健康交流センター花いろ～商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ・運行事業者と協力し、便別、停留所別の乗降調査を実施した。 ・市民乗合タクシー時刻表や乗り方の情報を市民向けに配信した。 ・個人向けの乗継ダイヤを掲載したマイ時刻表を作成し、利用率向上に努めた。 ・利用促進を図るために、市報、ホームページ、ケーブルテレビ等の市の広報媒体を活用した情報発信を行った。 	A	B	利用者数が多い路線であるが、利用率は目標値を下回った。人口減少に伴う目標値の再精査を行う。引き続き地域住民の意見を反映しながら、さらなる利用拡大を目的に運行時間やルートの変更を検討していく。		
		夷線 夷谷温泉～西夷公民館～10-1構造改善センター		A	A	温泉施設の利用者減の影響もあり、利用者数が減少した。人口の少ない地域であるが、市中心部へ移動する路線バスへの乗り継ぎや温泉施設への利用等に必要な系統であるため、今後も市の広報媒体を活用して利用促進に努める。		
		小畑線 夷谷温泉～三浦郵便局～サンククリニック		A	B	温泉施設の利用者減の影響もあり、利用者数が減少した。人口の少ない地域であるが、市中心部へ移動する路線バスへの乗り継ぎや温泉施設への利用等に必要な系統であるため、今後も市の広報媒体を活用して利用促進に努める。		
		羽根線 夷谷温泉～羽根上公民館～サンククリニック		A	C	利用者の大幅な減少に伴い目標値を下回った。温泉施設の利用者減・医療施設の送迎サービスに係る利用者が増加したことが原因である。人口の少ない地域であるが、市中心部へ移動する路線バスへの乗り継ぎや温泉施設への利用等に必要な系統であるため、今後も市の広報媒体を活用して利用促進に努める。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
由布市地域公共交通活性化協議会	大分バス株式会社	阿蘇野コース	本系統の利用地域は地元商店も無く、高齢化率が約60%と高齢化が進行している地域である。地域の足を確保・維持するために、利用促進のための周知や利便性向上のための検討を行った。	A	A	利用促進に向け、赤字路線である本路線を利用してもらうために、広報活動のさらなる強化を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、年間輸送人員。 ・水中運動利用者に対する無料乗車券の交付など、利用促進について取り組まれていることに対して評価します。 ・目標値について、通学利用者の把握を事前に行い、適正な数値を設定されることをご検討願います。 ・今後は交通だけでなく、交通以外の分野とも連携・協働し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。 	
	大分バス株式会社	スクールバス阿蘇野コース	スクールバスについては、入学予定の児童へ利用に関するお知らせを各小学校で行うことで利用の呼びかけを行った。	A	C	利用促進に向け、赤字路線である本路線を利用してもらうために、広報活動のさらなる強化を行う。 また、新入生を中心に利用を呼びかけるチラシを配布するなど、利用客獲得に取り組む。		
	大分バス株式会社	スクールバス大津留コース	スクールバスについては、入学予定の児童へ利用に関するお知らせを各小学校で行うことで利用の呼びかけを行った。	A	C	路線周辺にスクールバスを利用する子どもがおらず、今後も見通しがたないため、系統そのものの見直しが必要。		
	大分バス株式会社	シャトル (大学病院⇄庄内庁舎)	シャトルについては、毎週水曜日の水中運動利用者へ無料乗車券の交付を行うことで利用促進を行った。	A	B	利用促進に向け、赤字路線である本路線を利用してもらうために、広報活動のさらなる強化を行う。		
竹田市地域公共交通活性化協議会	大野竹田バス株式会社	高伏・上町線	アフターコロナの取組みとして、竹田市プレミアム付き交通チケットの販売を行いバス利用促進を図った。	A	B	今後も当該地域におけるデマンド交通導入の検討をする。地域拠点と市街中心部を地域間交通及び観光の主要路線として検討を進めていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、年間輸送人員。 ・甘椽線について、乗降調査等を実施し最適なダイヤの構築を再検証されたことに対して評価します。 ・R7年度からゾーン制運賃の導入と、ジモテキのエリア拡大が予定されていることから、利用者のニーズを把握するとともに、新規利用者の掘り起こしに繋がるような取り組みが実施されることを期待します。 ・今後は交通だけでなく、交通以外の分野とも連携・協働し、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。 	
	大野竹田バス株式会社	甘椽線	アフターコロナの取組みとして、竹田市プレミアム付き交通チケットの販売を行いバス利用促進を図った。	A	B	令和7年度に小学校の統廃合が行われることから、今後は利用者ニーズを把握するために乗降調査等を実施し、最適な路線の構築を再検証していきたい。		
	中央タクシー株式会社 竹田合同タクシー株式会社	姫岳コース・宮砥コース	該当地域で開催されている高齢者サロン代表者の会合において、各サロンでの利用推進及び個別説明会の要望の聞き取りを行い推進を図った。	B	B	運行開始から6年が経過しその間に利用者は10%ほど減少しているものの、人口の自然減を加味すると緩やかな利用者の減少だと考える。今後も利用推進及び新規利用者の掘り出しを行い、利用者の減少の幅を少しでも小さくしていくよう取り組みを行いたい。		
別府市公共交通活性化協議会	大分交通株式会社	関の江団地線 亀川駅～亀川新川～関の江車庫前	利用者のニーズ把握のため沿線地域住民を対象としたアンケート調査や意見交換会を実施し、運行ルートやダイヤの見直し、便数の増減に向けて検討した。また、分科会を設置し、観光・産業や福祉分野の団体と利便性のある持続可能な公共交通について協議した。	A	A	令和6年9月末に路線休止となったことから、代替路線として、同年10月から定時定路線でコミュニティバス(自家用有償旅客運送)の実証運行を開始した。運行ルートやダイヤについてはアンケート調査や意見交換会での実情や意見を反映し、見直しを図った。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、年間輸送人員。 ・観光産業や福祉分野の団体と利便性のある持続可能な公共交通について協議されていることを評価します。 ・今後も地域公共交通計画に定められた基本的な方針に基づき、交通以外の多様な関係者との連携が促進されることを期待します。 	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年2月28日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
都市地域公共交通会議	有限会社 銀星タクシー	○運行区間: 都城市山之口町 北東部⇄中心部 ○運行日: 火・金曜日 ○運行回数: 1日往復3.5回※デマンド運行	○地区内のスーパー閉店や温泉施設の臨時休業のため、利用者が減少した。 ○地区内の郵便局、コンビニ、温泉施設、年金朝市、タクシー内などでPRを行い、新規利用者の開拓を進めた。 ○民生委員や高齢者クラブ、山之口高城地域包括支援センターに協力を求めながら新規利用者の開拓を進めた。	A	B	○地域内のニーズ等を調査・分析し、利用者増に繋がる対策を検討する。 ○地域内のスーパー閉店後の対応として、各部の3便目に買い物便となる高城総合支所便を導入する。 ○AIを活用した予約・集計運行システムを採用し、事務の効率化を図る。	評価指標は、系統毎の1日当たりの平均利用者数(路線定期運行)、又は1便当たりの平均利用者数(区域運行)。 地域の関係者と連携し、買物体験ツアーの開催や移動困難者を訪問するなど、積極的に利用促進策に取り組みたいことを評価します。 引き続き、地域の関係者との連携による「共創」の取組の推進を期待します。	
		○運行区間: 都城市山之口町 南部⇄中心部 ○運行日: 月・水・木曜日 ○運行回数: 1日往復3回※デマンド運行	○地区内のスーパー閉店や温泉施設の臨時休業のため、利用者が減少した。 ○地区内の郵便局、コンビニ、温泉施設、年金朝市、タクシー内などでPRを行い、新規利用者の開拓を進めた。 ○民生委員や高齢者クラブ、山之口高城地域包括支援センターに協力を求めながら新規利用者の開拓を進めた。	A	A	○地域内のニーズ等を調査・分析し、利用者増に繋がる対策を検討する。 ○地域内のスーパー閉店後の対応として、各部の3便目に買い物便となる高城総合支所便を導入する。 ○AIを活用した予約・集計運行システムを採用し、事務の効率化を図る。	目標・効果の達成状況の評価については、目標の達成・未達成に関わらず、その要因を、より詳細に分析し、個々の系統に応じた改善の取組につなげてください。	
	都城市	○運行区間: 都城市庄内地区 東西町平田乙房線 ○運行日: 月・火・木・金曜日 ○運行回数: 1日往復2回 ※路線定期	○新規利用者開拓のため、市と社会福祉協議会等と連携し、買い物体験ツアーを実施した。 ○移動支援が必要な人や地区内の施設等でPRを実施し、新規利用者の開拓を進めた。	A	B	○新規利用者開拓のため、社会福祉協議会等と連携し、目的に応じた企画便を検討する。引き続き、移動支援が必要な人や地区内の施設等でPRを実施することにより、更なる新規利用者の開拓を進める。	引き続き、交通会議が設定した事業の今後の改善点が着実に解決され、また、地域公共交通計画に定めた事業の確実な実施により、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
	都城市	○運行区間: 都城市庄内地区 関之尾川崎菓子野線 ○運行日: 月・火・木・金曜日 ○運行回数: 1日往復2回 ※路線定期	○新規利用者開拓のため、市と社会福祉協議会等と連携し、買い物体験ツアーを実施した。 ○移動支援が必要な人や地区内の施設等でPRを実施し、新規利用者の開拓を進めた。	A	B	○新規利用者開拓のため、社会福祉協議会等と連携し、目的に応じた企画便を検討する。引き続き、移動支援が必要な人や地区内の施設等でPRを実施することにより、更なる新規利用者の開拓を進める。		
	都城市	○運行区間: 都城市夏尾町及び山田町 Aコース ○運行日: 月・水・金曜日 ○運行回数: 1日往復2.5回※デマンド運行	○社会福祉協議会が実施した移動支援に関するアンケート調査や利用促進策の意見交換の場で、情報提供のあった移動困難者を訪問し、乗合タクシーの利用方法の説明を行った。 ○定期券購入者の予約について、予約一覧表を配布することで、継続利用を促した。	A	B	○高齢者の運転免許証の自主返納希望者が見られることから、交通安全協会等と情報交換し、乗合タクシー利用の説明会や個別案内に取り組む。 ○乗降車位置(停留所)の増設や運行時刻表の見直しを行う。		
	都城市	○運行区間: 都城市山田町 Bコース ○運行日: 火・木・土曜日 ○運行回数: 1日往復2.5回※デマンド運行	○社会福祉協議会が実施した移動支援に関するアンケート調査や利用促進策の意見交換の場で、情報提供のあった移動困難者を訪問し、乗合タクシーの利用方法の説明を行った。 ○定期券購入者の予約について、予約一覧表を配布することで、継続利用を促した。	A	A	○高齢者の運転免許証の自主返納希望者が見られることから、交通安全協会等と情報交換し、乗合タクシー利用の説明会や個別案内に取り組む。 ○乗降車位置(停留所)の増設や運行時刻表の見直しを行う。		
	都城市	○運行区間: 都城市山田町 Cコース ○運行日: 水・金曜日 ○運行回数: 1日往復2.5回※デマンド運行	○社会福祉協議会が実施した移動支援に関するアンケート調査や利用促進策の意見交換の場で、情報提供のあった移動困難者を訪問し、乗合タクシーの利用方法の説明を行った。 ○定期券購入者の予約について、予約一覧表を配布することで、継続利用を促した。	A	C	○高齢者の運転免許証の自主返納希望者が見られることから、交通安全協会等と情報交換し、乗合タクシー利用の説明会や個別案内に取り組む。 ○乗降車位置(停留所)の増設や運行時刻表の見直しを行う。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
延岡市地域公共交通活性化協議会	(株)あさひ観光バス ○北方線9系統	①美々地線	○協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおりに乗合タクシーの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。	A	A	○市の福祉部門が実施する、公共交通を活用した介護予防事業(高齢者が路線バス、コミュニティバス等を利用して通うことができる場所で介護予防に関するプログラムを実施することで、運転免許証を返納した方も参加することができる。また、路線バス、コミュニティバス等の待ち時間を活用して買い物等の生活機能全般の維持向上を目指す。)により利用を促す。 ○免許返納者が期間限定でコミュニティバス・乗合タクシーを半額で利用できる制度を引き続き運用していく。 ○延岡市地域公共交通計画に基づき、市民の意見を取り入れながら最適な路線の構築を検討していく。特に、利用が目標乗車人数を下回る路線については、利用者へのアンケートや意見交換会等を実施し、より使い勝手の良い経路・時刻表に見直しを行っていく。	評価の指標は、系統毎の1回あたりの平均乗車率。 地域住民の要望に応じた運行ルートの変更や補助システムを活用した各種イベントの開催など利用促進に取り組まれ、多くの系統で目標を達成されたことを評価します。 目標を下回った系統については、その要因をより詳細に分析し、各系統に応じた改善の取組につなげてください。 引き続き、交通会議が設定した事業の今後の改善点が着実に解決され、また、地域公共交通計画に定めた事業の確かな実施により、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
		②鹿川線						
		③二股線						
		④猿渡線						
		⑤三ヶ村線						
		⑥大保下線						
		⑦下崎・笠下黒原線						
		⑧片内・菅原線						
		⑨上中尾線						
	(共同運行) 宮崎第一交通(株) 延岡グリーンタクシー(株) 宮交タクシー(株) (株)扇興タクシー ○北浦線3系統 ○旧延岡線4系統	⑩下塚線	○協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおりに乗合タクシーの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。 ○⑬においては、利便性の向上を図るため、令和6年2月から経路変更を行った。	A	B			
		⑪市尾内線			A			
		⑫三川内線			A			
		⑬上三輪・貝の畑～紙園線			A			
		⑭安井・神戸～レーヨン線			A			
		⑮須佐～大武線			A			
		⑯小川、平田～紙園線			A			
延岡市 ※自家用有償旅客運送 ○北川線4系統	⑰上赤線	○協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおりにコミュニティバスの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。	A	A				
	⑱下塚線			A				
	⑲瀬川線			A				
	⑳家田線			C				
宮崎交通(株) ○1系統	㉑㉒まちなか循環バス	○協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおりにまちなか循環バスの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。 ○バス利用促進の一環として、8月に小学生運賃無料期間キャンペーンを実施した。 ○令和6年10月から11月までの期間で当市の特産品の1つである「魚」のイラストを募集し、応募のあったイラストをまちなか循環バス車内に掲示することで、乗客に対する水産物のPRを行うとともに、まちなか循環バスの利用促進に取り組んだ。	A	A	○小学生の運賃無料期間キャンペーンを引き続き実施しつつ、その他の利用促進に資する取組を検討する。 ○自治会、高齢者クラブ等を対象としたバスでの「お出かけ企画」にてまちなか循環バスを活用する。 ○市の福祉部門が実施する、公共交通を活用した介護予防事業(高齢者が路線バス、コミュニティバス等を利用して通うことができる場所で介護予防に関するプログラムを実施することで、運転免許証を返納した方も参加することができる。また、路線バス、コミュニティバス等の待ち時間を活用して買い物等の生活機能全般の維持向上を目指す。)により利用を促す。 ○延岡市地域公共交通計画に基づき、市民の意見を取り入れながら最適な路線の構築を検討していく。特に、利用が目標乗車人数を下回る路線については、利用者へのアンケートや意見交換会等を実施し、より使い勝手の良い経路・時刻表に見直しを行っていく。 ○令和7年1月6日から実証運行を予定している「北部・南部まちなか循環バス」が接続することになるため、新たな利用者の獲得に努めていく。			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果		
小林市地域公共交通活性化協議会	小林市	小林-上九瀬線	○様々な機会において、利用促進を図った。	A	B	須木区域唯一の路線であり、通学で利用している利用者がいるため、維持・存続が不可欠である。しかし、少子化により通学利用者が減少したことにより目標を達成することができなかった。新規利用者の開拓など利用促進を図る。	評価の指標は、系統毎の年間利用者数。 広報紙やイベントでの情報発信や乗り方教室の開催など利用促進に取り組まれたことを評価します。		
		小林-上九瀬線 【上原地区経由】		A	A	様々な機会において、利用促進を図ったことにより目標値を達成した。引き続き、地域のニーズ把握に努め、利用促進を図る。			目標・効果の達成状況の評価については、目標達成・未達成に関わらず、その要因を詳細に分析し、個々の系統に応じた改善の取組につなげてください。また、分析結果を評価書に記載することもご検討ください。
		小林-鶴野循環線		A	C	時刻表の配布やイベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図りつつ、必要に応じて路線の見直しを検討する。			引き続き、交通会議が設定した事業の今後の改善点が着実に解決され、また、地域公共交通計画に定めた事業の確実な実施により、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。
		小林-岡原循環線		A	C	時刻表の配布やイベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図りつつ、必要に応じて路線の見直しを検討する。			
		小林-種畜牧場線		A	B	時刻表の配布やイベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図りつつ、必要に応じて路線の見直しを検討する。			
		小林-南ヶ丘線		A	B	時刻表の配布やイベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図る。			
		小林-環野-千歳線		A	B	時刻表の配布やイベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図る。			
		小林-運動公園循環線		A	B	時刻表の配布やイベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図る。			
		小林-深草循環線		A	A	様々な機会において、利用促進を図ったことにより目標値を達成した。引き続き、地域のニーズ把握に努め、利用促進を図る。			
		小林-大出水循環線		A	B	時刻表の配布やイベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図る。			
		小林-三松循環線 【岩瀬地区経由無】		A	A	複数の病院や商業施設を経由する路線であり、主要施設を循環するバスとして維持・存続が不可欠である。引き続き、イベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図る。			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日向市地域公共交通会議	日向市	東1コース		A	A	<p>○利用促進を図るために、需要に応じた運行が可能となるAIを活用したオンデマンドバスの導入を検討する。</p> <p>○高齢者向けスマホ教室等に出向き、市民バスの周知や無料乗車券の配布により体験乗車をさせていただくことで、新規利用者の獲得を図る。</p> <p>○運転免許証の自主返納者に対して市民バス利用を促す。</p>	<p>評価の指標は、系統毎の年間利用者数。</p> <p>広報紙や市HPへの路線図・バス停の掲載等による情報発信やあらゆる機会を活用した利用促進策の実施。更に、持続可能な旅客運送サービスの提供に向け職員自ら研修会等へ参加するなど、積極的な取組を評価します。</p> <p>目標・効果の達成状況の評価については、目標の達成・未達成に関わらず、その要因をより詳細に分析し、個々の系統に応じた改善の取組につなげてください。</p> <p>引き続き、交通会議が設定した事業の今後の改善点が着実に解決され、また、地域公共交通計画に定めた事業の確実な実施により、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。</p>	
		東2コース1	○高齢者向けスマホ教室に出向き、市民バス紹介チラシや、体験乗車ができるよう無料乗車券を配布し新規利用者の獲得を図った。	A	B			
		東2コース2	○運転免許の自主返納の間合せがあった際には、時刻表の配布や市民バスの半額割引券交付の案内や、路線バスやタクシー等のサービス等について案内を行い、公共交通機関の利用を促した。	A	A			
		西1コース1		A	B			
		西1コース2		A	B			
		西2コース		A	B			
		南1コース	○新しい交通システムについて研究するため、講座やセミナー等に積極的に参加した。	A	B			
		南2コース	○後期高齢者医療保険証送付時に市民バスの紹介チラシを同封し周知を図った(月1回)。	A	B			
		北1コース	○市広報紙で市民バスの紹介記事を掲載し、広く市民に周知した。	A	B			
		北2コース	○市内の公共施設や観光協会、警察署、病院等に時刻表を配布し、市民のバス利用促進を図った。	A	B			
		美々津日向市駅線コース1	○ふらっとバス路線図データをGoogle My Mapsに読み込ませ、市HPにアップすることで、市民が経路図やバス停をマップ上で確認することができるようにした。	A	A			
		美々津日向市駅線コース2		A	B			
		美々津日向市駅線コース3		A	B			
		美々津日向市駅線コース4		A	B			
		田野羽板線	○高齢者向けスマホ教室に出向き、市民バス紹介チラシや、体験乗車ができるよう無料乗車券を配布し新規利用者の獲得を図った。	A	B			
		仲深坪谷越表線	○運転免許の自主返納の間合せがあった際には、時刻表の配布や市民バスの半額割引券交付の案内や、路線バスやタクシー等のサービス等について案内を行い、公共交通機関の利用を促した。	A	B			
		福瀬小野田線	○後期高齢者医療保険証送付時に市民バスの紹介チラシを同封し周知を図った(月1回)。	A	B			
		仲深坪谷線	○市広報紙で市民バスの紹介記事を掲載し、広く市民に周知した。	A	B			
		鶴野内迫野内八重原線		A	B			
		寺迫庭田線	○高齢者向けスマホ教室に出向き、市民バス紹介チラシや、体験乗車ができるよう無料乗車券を配布し新規利用者の獲得を図った。	A	B			
飯谷田の原線	○運転免許の自主返納の間合せがあった際には、時刻表の配布や市民バスの半額割引券交付の案内や、路線バスやタクシー等のサービス等について案内を行い、公共交通機関の利用を促した。	A	A					
輪毛剗本線	○後期高齢者医療保険証送付時に市民バスの紹介チラシを同封し周知を図った(月1回)。	A	B					

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
西都市地域公共交通会議	三和交通株式会社	(1)平野・石尾線 西都ショッピングセンター～石尾	地元住民の意見を聴取し、経路・ダイヤの見直しを検討したが、変更までには至らなかった。	A	A	定期的に見直しを行いながら、継続的に見直しを検討する。	評価の指標は、系統毎の年間利用者数。 地域住民の要望等を踏まえ、地域に応じた旅客運送サービスの提供に向け検討が行われたことを評価します。 目標・効果の達成状況の評価については、目標達成・未達成に関わらず、その要因を詳細に分析し、個々の系統に応じた改善の取組につなげてください。また、分析結果を評価書に記載することをご検討ください。 引き続き、交通会議が設定した事業の今後の改善点が着実に解決され、また、地域公共交通計画に定めた事業の確実な実施により、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
		(2)長谷線 西都ショッピングセンター～上長谷	地元住民の意見を聴取し、経路・ダイヤの見直しを検討したが、変更までには至らなかった。	A	A	定期的に見直しを行いながら、継続的に見直しを検討する。		
		(3)山田・上沖線 西都ショッピングセンター～中山	地元住民の意見を聴取し、経路・ダイヤの見直しを検討したが、変更までには至らなかった。	A	C	定期的に見直しを行いながら、継続的に見直しを検討する。		
		(4)岩爪線 西都ショッピングセンター～岩爪	地元住民の意見を聴取し、経路・ダイヤの見直しを検討したが、変更までには至らなかった。	A	B	定期的に見直しを行いながら、継続的に見直しを検討する。		
		(5)長園線 西都ショッピングセンター～長園	地元住民の意見を聴取し、経路・ダイヤの見直しを検討したが、変更までには至らなかった。	A	B	定期的に見直しを行いながら、継続的に見直しを検討する。		
		(6)岩井谷・並木線 並木～西都ショッピングセンター	地元住民の意見を聴取し、経路・ダイヤの見直しを検討したが、変更までには至らなかった。	A	B	定期的に見直しを行いながら、継続的に見直しを検討する。		
		(7)穂北線 西都ショッピングセンター～尾吐	地元住民の意見を聴取し、経路・ダイヤの見直しを検討したが、変更までには至らなかった。	A	B	一部デマンド運行を導入している。令和7年度は一部路線の変更と運賃の見直しを行っている。		
	(10)茶臼原線 茶臼原周辺～穂北支所周辺・妻地区	従来の路線を廃止し、代替移動手段として、区域運行デマンド型乗合タクシーの対象区域の拡大を行った。	A	A	令和7年度から対象区域を拡大している。今後もコミュニティバスとの関係性を考慮しつつ、対象区域の拡大を検討する。			
	宮崎タクシー株式会社	(9)加勢・小豆野線 小豆野～西都バスセンター	地元住民の意見を聴取し、経路・ダイヤの見直しを検討したが、変更までには至らなかった。	A	C	定期的に見直しを行いながら、継続的に見直しを検討する。		
	高原町地域公共交通会議	宮交タクシー株式会社	不定期路線運行：久保線 [月・木・金] 8:44から11:36まで	利用者・事業者への意見聴取内容を踏まえ変更した一部エリアの区域運行を継続し、利用者の利便性の向上、定着に努めた。住民に対し、運行状況等の説明、利用の呼びかけを行った。	A	A		
定期路線運行：後川内線 [火・金・土] 8:15から12:28まで			利用者・事業者への意見聴取内容を踏まえたダイヤ・ルートによる運行を継続し、利用者の利便性の向上、定着に努めた。住民に対し、運行状況等の説明、利用の呼びかけを行った。	A	C	各路線の達成状況や分析を通して今後の改善を図る必要がある。本町のこれからの高齢化率上昇の観点から現状はあまりニーズのない常盤台線や広原線でもニーズが高まることは十分に考えられるため、これらの地域の方も利用出来る仕組みは継続する必要がある。 また、定期運行路線(後河内線、湯之元蒲牟田線)については、利用者が乗車してない状態でも運行されその分の経費も発生していることから、予約時に運行される方式に改善する必要がある。 今後は町内全域において乗合タクシーの利便性を高めつつ、予約時に運行される区域運行型へと転換し改善する。		
定期路線運行：湯之元蒲牟田線 [水・土] 8:20から12:00まで			利用者・事業者への意見聴取内容を踏まえたダイヤ・ルートによる運行を継続し、利用者の利便性の向上、定着に努めた。住民に対し、運行状況等の説明、利用の呼びかけを行った。	A	B	さらには、公共交通に対する町民の関心を高めるための広報紙への情報掲載や乗り方教室の開催、他部署や関係団体と連携して各会議での情報共有の場を創出し趣意を図る。 乗合タクシーの利用方法などを含めた情報周知については、社会福祉協議会とも連携を図り各地区の行事への参加や自宅訪問などを実施する。		
不定期路線運行：常盤台線 [月・木] 8:29から11:45まで			常盤台線の更なる利用を促進するために、地域において乗り方教室等を開催し、住民に対しての情報周知を図った。	A	C			
不定期路線運行：広原線 [月・水] 8:30から12:12まで			広原線の更なる利用を促進するために、地域において乗り方教室等を開催し、住民に対しての情報周知を図った。	A	C			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
門川町地域公共交通会議	宮崎県タクシー協会日向支部	①牧山線	○新規利用者を増やすために利用者拡大キャンペーンを実施することで、利用促進を図った。 ○三ヶ瀬線の料金改定を実施することで、利便性の向上を図った。 ○定期的に停留所の時刻表の張替えを行い、利用環境の改善を図った。また、利便性向上のため時刻表に二次元コードを加え、スマートフォンによる公共交通情報の確認が行えるようにした。	A	B	他の路線に比べて利用者が多い路線ではあるが、新規利用者を増やすため、広報誌等を活用して利用促進を行っていく。また、利用者の状況を整理し、利便性向上を図っていく。	評価の指標は、系統毎の年間利用者数。 利用者の獲得に向けたイベントや乗り方教室の開催に取り組みられたことを評価します。 目標・効果の達成状況の評価については、目標の達成・未達成に関わらず、その要因をより詳細に分析し、個々の系統に応じた改善の取組につなげてください。また、分析結果を評価書に記載することもご検討ください。 引き続き、交通会議が設定した事業の今後の改善点が着実に解決され、また、地域公共交通計画に定めた事業の確実な実施により、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
		②大迫・庵川線		A	A	目標を達成することができた。今後も継続して利用者の状況を整理し、利便性向上を図っていく。		
		③竹名・中村線		A	A	目標を達成することができた。今後も継続して利用者の状況を整理し、利便性向上を図っていく。		
		④中山・五十鈴線		A	B	一定の利用者は定着しているが、複数停留所での利用減少がみられる。広報誌等を活用して利用促進を行っていく。また、乗降調査により利用者からの意見を聴きとり、利便性向上を図っていく。		
		⑤大池・中山線		A	B	一定の利用者は定着しているが、複数停留所での利用減少がみられる。広報誌等を活用して利用促進を行っていく。また、乗降調査により利用者からの意見を聴きとり、利便性向上を図っていく。		
		⑥本町巡回線		A	B	一定の利用者は定着しているが、新規利用者を増やすため、広報誌等を活用して利用促進を行っていく。また、利用者の状況を整理し、利便性向上を図っていく。		
		⑦三ヶ瀬線(町内行きコース)		A	C	今年度1件利用があった。また、料金改定を実施し利便性向上を図った。新規利用者獲得のため三ヶ瀬線の乗り方教室を実施し、広報誌等を活用して周知を図っていく。		
木城町地域公共交通会議	三和交通株式会社	○デマンド型乗合タクシー「あおぼと号」 ○系統名 ・オンデマンド運行(平坦部) ※月・水・金運行(年始運休) ・オンデマンド運行(大字中之又地区) ※隔週水曜日運行(年始運休)	○登録者を増やすための施策としては、広報誌等でのPRを継続。また、福祉・交通安全担当部署と連携することで交通弱者に対する積極的なアプローチを図った。 ○公共交通計画策定に伴い、乗合タクシー利用登録者全員を対象に、利用実態や利用ニーズの把握のための調査を行った。 ○継続して利用促進に係る取組を実施しながら、利用者の利便性と運行の効率性の両立を図り、持続可能な公共交通網の構築を図っていくために、木城町地域公共交通計画(R6.3策定)に乗合タクシーに関する施策を明記した。	A	A	広報誌やSNS、新聞媒体を活用した広報活動、福祉・交通安全担当部署との連携強化については引き続き実施しながら、高齢者集会等での利用登録推進のための取組を更に強化する。	評価の指標は、利用登録者数・実利用者数・月平均利用者数。 広報誌を活用した情報発信や福祉部署等と連携したPR、また、利用者アンケート調査による移動ニーズの把握に取り組みられたことを評価します。 目標を達成できなかった項目については、その要因をより詳細に分析し、個々の系統に応じた改善の取組につなげてください。 引き続き、交通会議が設定した事業の今後の改善点が着実に解決され、また、地域公共交通計画に定めた事業の確実な実施により、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
		A		A	○利用登録者全員を対象に行った、利用実態及びニーズ調査の結果をしっかりと検証・分析を行い、更なる利便性の向上を図ることで、新たな利用者層の掘り起こしを行う。 ○利用登録を行っているものの、一度も利用していない未利用者層の利用促進を図ることで、乗合タクシー利用のためのきっかけを創出する。 ○中之又地区については、引き続き利用がない状況が続いている。他の交通支援についても検討を進める必要があると考えるが、方向性が定まるまでの期間については、地域交通を確保する必要があることから、系統としては継続することとする。			
		A		B				

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
串間市地域公共交通会議	串間市	①道の駅くしま～北方～ニシムタ～市役所～道の駅くしま ②道の駅くしま～ニシムタ～串間保育園～道の駅くしま ③道の駅くしま～マリンタウン1～マリンタウン2～市役所～道の駅くしま ④道の駅くしま～マリンタウン1～マリンタウン2～イルカランド～道の駅くしま ⑤道の駅くしま～マリンタウン1～マリンタウン2～市役所～串間保育園～道の駅くしま ⑥道の駅くしま～イルカランド ⑦市民病院～道の駅くしま～有明～イルカランド ⑧道の駅くしま～上田口～古竹 ⑨道の駅くしま～上田口～奴久見～古竹 ⑩市民病院～市役所～下平～都井岬 ⑪市民病院～道の駅くしま～黒井～名谷 ⑫道の駅くしま～名谷 ⑬市民病院～道の駅くしま～谷ノ口～鯛取 ⑭道の駅くしま～鯛取 ⑮市民病院～道の駅くしま～射場地野 ⑯市民病院～道の駅くしま～徳間～仲別府～奈留 ⑰市民病院～道の駅くしま～三幸ヶ野～上犬矢取 ⑱市民病院～道の駅くしま～胡桃ヶ野～大平～風野 ⑲市民病院～道の駅くしま～串間温泉～永田 ⑳串間駅～永田 ㉑市民病院～道の駅くしま～吾社～串間温泉～上遍保ヶ野 ㉒串間駅～上遍保ヶ野 ㉓道の駅くしま～幸島～夫婦浦 ㉔串間駅～郡司部～幸島 ㉕道の駅くしま～串間温泉～郡司部～幸島 ㉖道の駅くしま～串間温泉～石原～幸島	令和6年3月に「串間市地域公共交通計画」を策定した。計画を策定する際に、乗り込み調査、移動に関する座談会、中学生、高校生へのアンケート、事業者へのアンケートを実施し、市民の移動ニーズや課題、交通事業者の現状等の把握に努めた。 この間においても利用者増を図るために乗り方教室や、公共交通に関する市民講座を開催し、串間市地域公共交通計画の目標達成するための実施施策を推進した。	A	C	利用者が令和5年度実績より下回り、計画値の75.4%となっている。 持続可能な公共交通を構築するために、よかバスの運行内容の見直しや地域との共創による交通結節点等におけるにぎわいの創出、移動目的地先と連携した利用促進策に取り組む。 また、そもそもの公共交通の維持のために公共交通の人材確保に向けた支援策の検討も実施していく。	評価の指標は、系統毎の年間利用者数。 乗り込み調査や座談会における利用者ニーズの把握、乗り方教室・免許返納者への「よかバス」回数券の配布などの利用促進の取組を評価します。 目標を達成できなかった要因をより詳細に分析し、個々の系統に応じた改善の取組につなげてください。また、分析結果を評価書に記載することもご検討ください。 引き続き、交通会議が設定した事業の今後の改善点が着実に解決され、また、地域公共交通計画に定めた事業の確実な実施により、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

令和7年2月28日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
薩摩川内市地域公共交通活性化協議会	南国交通(株) 鹿児島交通(株)	祐答院～川内駅(東郷・祐答院コース) (市内横断シャトルバス)	・市HP等で高齢者の運転免許証自主返納者への割引制度や、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の提示者及び同行する介護人証の提示者への割引制度、バス乗車ICカードの案内を行い、利用促進を図った。 ・各地区コミュニティ協議会や公共施設へバスの時刻表等を定期的に配布し、積極的なコミュニティ交通の利用を促した。	A	A	今後も利用人数の増加に向け、引き続き市HPや公式LINE等を活用して、高齢者の運転免許証自主返納者、身体障害者手帳・療育手帳等の提示者に対する運賃割引制度や、沿線案内をからめた路線紹介等を行い、利用啓発・利用促進により一層努めていく。 また、各地区コミュニティ協議会や公共施設へのバス時刻表の定期的な配布を継続するとともに、高齢者の運転経歴証明書受領者に対し、運賃割引制度案内チラシや薩摩川内市バスマップを配布するほか、出前講座や市内小学校でのバス教室の開催を通じて、地域公共交通やモビリティマネジメント(自家用車に頼り過ぎない交通環境の推進)への関心を高め、コミュニティ交通の積極的な利用を促す。 量的目標の設定については、地域公共交通計画の目標と合わせ、適切な目標の設定に努める。	・評価の指標は、路線ごとの1便当たりの乗車人数。 ・市HPや公式LINEを活用した高齢者の運転経歴証明書受領者等に対する運賃割引制度の周知や各地区コミュニティや公共施設への時刻表の配布、出前講座や市内小学校でのバス教室の開催など、利用啓発・利用促進の取組を評価します。 ・引き続き、利用状況を丁寧に分析し、利便性の向上が図られることを期待します。 ・薩摩川内市地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。 ・協議会が、日々の公共交通の利用状況や関係する取組の進捗状況を関係者間で共有し、正しく認識してもらうための場として活用されることを期待します。	
	鹿児島交通(株)	外輪山北口～川内駅(樋盛・入来コース) (市内横断シャトルバス)		A	A			
	南国交通(株)	湯田・西方循環線(西回り) (北部循環バス)	A	B	今後も利用人数の増加に向け、引き続き市HPや公式LINE等を活用して、高齢者の運転免許証自主返納者、身体障害者手帳・療育手帳等の提示者に対する運賃割引制度や、沿線案内をからめた路線紹介等を行い、利用啓発・利用促進により一層努めていく。 また、各地区コミュニティ協議会や公共施設へのバス時刻表の定期的な配布を継続するとともに、高齢者の運転経歴証明書受領者に対し、運賃割引制度案内チラシや薩摩川内市バスマップを配布するほか、出前講座や市内小学校でのバス教室の開催を通じて、地域公共交通やモビリティマネジメント(自家用車に頼り過ぎない交通環境の推進)への関心を高め、コミュニティ交通の積極的な利用を促す。 量的目標の設定については、地域公共交通計画の目標と合わせ、適切な目標の設定に努める。			
	南国交通(株)	湯田・西方循環線(東回り) (北部循環バス)	A	B				
	南国交通(株)	城上・吉川循環線(西回り) (北部循環バス)	A	B				
	南国交通(株)	城上・吉川循環線(東回り) (北部循環バス)	A	B				
	南国交通(株)	川内駅～川内港ターミナル(国道回り) (川内港シャトルバス)	A	A	今後も利用人数の増加に向け、引き続き市HPや公式LINE等を活用して、高齢者の運転免許証自主返納者、身体障害者手帳・療育手帳等の提示者に対する運賃割引制度や、沿線案内をからめた路線紹介等を行い、利用啓発・利用促進により一層努めていく。 また、他の交通機関との接続を考慮し、経路検索事業者へのデータ提供を行うとともに、新たな利用者(観光客等)増と地域住民の利用者増に向け、更なる利用啓発・利用促進に努める。 量的目標の設定については、地域公共交通計画の目標と合わせ、適切な目標の設定に努める。			
	南国交通(株)	川内駅～川内港ターミナル(県道回り) (川内港シャトルバス)	A	A				

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考	
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果		
霧島市地域公共交通会議	南国交通(株)	清辺地区におけるふれあいバスの運行 (1)麓線 (2)空港崎森線	①ふれあいバス見直しに係る住民座談会を開催し、地域特性に合わせた公共交通について意見交換会を行った。 ②地域のふれあいバス利用状況を含め、デマンド交通への転換、便数の削減を行った。	A	C	■数値目標の達成に向けて、霧島市地域公共交通計画に掲げる事業を着実に実施する。 ＜主な事業＞ ・ふれあいバスの運行の見直し ・交通モード間の乗継の推進 ・地域座談会の開催を通じた運行ニーズの把握及びデマンド交通の利用方法の説明 ・バスマップの更新や「私の時刻表」の作成支援	*評価指標は、路線毎の一本あたりの乗車人数。 *利用実態を分析され、運行形態を変更するなど見直しに取り組みられていることを評価します。引き続き、利用者の増加及び減少の要因を丁寧に分析し、利便性の向上が図られることを期待します。 *霧島市地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。 *協議会が、日々の公共交通の利用状況や関係する取組の進捗状況を関係者間で共有し、正しく認識してもらうための場として活用されることを期待します。		
				A	A				
	鹿児島交通(株)	福山地区におけるふれあいの運行 (1)福地・池之谷 (2)比曽木野線 (3)福地線(スクール対応)登校便 (4)福地線(スクール対応)下校便 (5)福沢線(スクール対応)登校便 (6)福沢線(スクール対応)下校便		A	C				
				A	A				
				A	C				
				A	A				
				A	A				
				A	A				
	(株)有村観光	霧島地区永水・向田地域におけるデマンド交通の運行 (1)永水・向田線		デマンド交通の利用方法についてお知らせを作成し、運行地域住民への周知を行った。	A			C	
		隼人地区におけるはやと循環ワゴンの運行 (1)はやと循環ワゴン		地域イベント開催時にチラシ配布及びデモ運行を行い、利用促進を行った。	A			A	
	(有)中村タクシー	福山地区佳例川地域・福山地域におけるデマンド交通の運行 (1)佳例川線 (2)福山線		デマンド交通の利用方法についてお知らせを作成し、運行地域住民への周知を行った。	A			C	
					A			C	
隼人地区におけるはやと循環ワゴンの運行 (1)はやと循環ワゴン		地域イベント開催時にチラシ配布及びデモ運行を行い、利用促進を行った。	A	A					
第一交通(株)	霧島地区狭名田・野上地域におけるデマンド交通の運行 (1)狭名田・野上線	デマンド交通の利用方法についてお知らせを作成し、運行地域住民への周知を行った。	A	A					
旭交通(株)	福山地区福沢地域におけるデマンド交通の運行 (1)福沢線		A	C					
(株)タクシー国際	横川地区山ノ口・今村植村地域及び牧園万譜・川影地域におけるデマンド交通の運行 (1)山ノ口・小路・今村植村線 (2)万譜・川影線		A	C					
			A	C					

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鹿児島市地域公共交通協議会	鹿児島交通(株)	谷山地域あいばすの運行	・市ホームページ等により、引き続き、運行ルートやダイヤ等についての周知広報を行っている。 ・路線沿線の町内会に対し、誰でも利用できることなどを記載した利用案内チラシの回覧を実施した。 ・X(旧ツイッター)やフェイスブックを利用し、利用促進のための広報を行った。 ・バスロケーションシステムを引き続き活用し、利用者の利便性向上と利用促進を図った。 ・あいばすの認知度向上と利用促進を図るため、ポイントラリーを開催し、新規利用者の獲得及び既存利用者の利用回数増加を図った。	A	B	・引き続き地域の利用者の意見や要望を聞きながら、需要に応じた運行計画づくり に努める。 ・潜在的な利用者の掘り起こしのための分かりやすい情報提供に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、路線毎の一日あたりの利用者数。 ・利用促進のため、市ホームページ、町内会の利用案内チラシ、SNS、ポイントラリー開催による周知活動やバスロケーションシステムによる利便性向上の取組について評価します。 ・引き続き、利用状況を丁寧に分析し、利便性の向上が図られることを期待します。 ・今後も、第二次鹿児島市公共交通ビジョンに基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。 ・協議会が、日々の公共交通の利用状況や関係する取組の進捗状況を関係者間で共有し、正しく認識してもらうための場として活用されることを期待します。 	
		喜入地域あいばすの運行		A	B			
南種子町地域公共交通活性化再生協議会	種子島・屋久島交通(株)	平山線 浜田入口～河内温泉間の運行	町広報紙を活用し、時刻表を全戸配布するなど、利用に対する啓発活動を行った。 また、町ホームページ、公共施設等での利用促進に係る周知や情報提供を行った。 役場企画課で無料券の発行業務を行ったほか、各地区の地域支え合い推進委員へ無料券申請書の受付業務の協力を依頼した。	A	C	誰もが利用しやすい公共交通の整備に向け、縮小化・個別化する移動ニーズへの対応と公共交通サービス全体の効率化を図ることを目的に、現在運行している南種子町コミュニティバスを路線定期運行から、AI(人工知能)を活用した新たなモビリティサービス「AIオンデマンド交通」(区域運行)に移行し、令和7年4月1日より実証運行を開始する。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、路線毎の利用者数。 ・利用形態を分析され、運行形態を変更するなど見直しに取り組みられていることを評価します。 ・引き続き、利用者の増加及び減少の要因を丁寧に分析し、利便性の向上が図られることを期待します。 ・協議会が、日々の公共交通の利用状況や関係する取組の進捗状況を関係者間で共有し、正しく認識してもらうための場として活用されることを期待します。 	
		釜永線 Aコープ前～河内温泉間の運行		A	A			
		西之線 役場～河内温泉間の運行		A	C			
		島間線 牛野～河内温泉間の運行		A	C			
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通(株)	拠点間バス 額娃・川辺線(額娃～露出～川辺)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	A	今後も持続可能な運行を行うべく、便ごとの利用状況を精査し、運行事業者の変更も含め運行計画の見直しを検討する。		
		拠点間バス 番所鼻公園・知覧線(番所鼻公園～露出～知覧)		A	B	今後も持続可能な運行を行うべく、便ごとの利用状況を精査し、運行事業者の変更も含め運行計画の見直しを検討する。		
		川辺系統①瀬戸山・下里線(瀬戸山～下里～文化会館)		A	B	地域特性及び深刻な運転手不足問題に対応するため、ドアtoドア型の予約型乗合タクシーへの移行を検討する。		
		川辺系統⑥東木場・大久保線(屋敷平～本別府大久保～文化会館)		A	B	利便性向上を図るため、令和5年12月からドアtoドア型の予約型乗合タクシーの実証運行を開始、令和6年10月から本格運行となった。(それに伴い、当該系統は廃止。)		
		川辺系統⑦田の頭・勝目西線(田の頭～勝目西～文化会館)		A	B	地域特性及び深刻な運転手不足問題に対応するため、ドアtoドア型の予約型乗合タクシーへの移行を検討する。		
		川辺系統⑧君野・下山田東線(君野西～大出入口～文化会館)		A	B	地域特性及び深刻な運転手不足問題に対応するため、ドアtoドア型の予約型乗合タクシーへの移行を検討する。		
		川辺系統⑨打木谷・大谷線(打木谷～上之口～文化会館)		A	B	地域特性及び深刻な運転手不足問題に対応するため、ドアtoドア型の予約型乗合タクシーへの移行を検討する。		
		川辺系統⑩市街地周回線(文化会館～病院前～文化会館)		A	B	地域特性及び深刻な運転手不足問題に対応するため、ドアtoドア型の予約型乗合タクシーへの移行を検討する。		
		知覧系統②後岳・手裏線(伊川三叉路～市役所～保健センター)		A	B	地域特性及び深刻な運転手不足問題に対応するため、ドアtoドア型の予約型乗合タクシーへの移行を検討する。		
		知覧系統③加治佐・松村線(加治佐～保健センター～知覧)		A	B	地域特性及び深刻な運転手不足問題に対応するため、ドアtoドア型の予約型乗合タクシーへの移行を検討する。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
	(株)宇都自動車商会	川辺系統②市崎野・野間大久保線(市崎野～横手町～文化会館)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	A	利便性向上による新規利用者の獲得を目指すため、ドアtoドア型の予約乗合型タクシーへの変更を検討する。		
川辺系統③八瀬尾・野崎線(滝の前～野崎公民館～文化会館)		A		B	地域特性にあった運行形態とすべく、ドアtoドア型の予約乗合型タクシーへの移行を検討する。			
川辺系統④山添・六丁線(山添～平山六丁～文化会館)		A		B	地域特性にあった運行形態とすべく、ドアtoドア型の予約乗合型タクシーへの移行を検討する。			
川辺系統⑤西の原・高田線(西の原～高田下～文化会館)		A		B	利便性向上を図るため、令和5年12月からドアtoドア型の予約乗合型タクシーの実証運行を開始、令和6年10月から本格運行となった。(それに伴い、当該系統は廃止。)			
川辺系統⑩馬立・神殿線(火之河原～中服良～文化会館)		A		B	地域特性にあった運行形態とすべく、ドアtoドア型の予約乗合型タクシーへの移行を検討する。			
川辺系統⑪松尾城・野間里線(松尾城橋～野間里～文化会館)		A		A	地域特性にあった運行形態とすべく、ドアtoドア型の予約乗合型タクシーへの移行を検討する。			
川辺系統⑫荒多・越原線(荒田～越原～文化会館)		A		B	地域特性にあった運行形態とすべく、ドアtoドア型の予約乗合型タクシーへの移行を検討する。			
川辺系統⑬本別府・宮線(川原～宮～文化会館)		A		B	利便性向上を図るため、令和5年12月からドアtoドア型の予約乗合型タクシーの実証運行を開始、令和6年10月から本格運行となった。(それに伴い、当該系統は廃止。)			
知覧系統①木床・上郡上線(木床～上郡上～保健センター)		A		B	地域特性にあった運行形態とすべく、ドアtoドア型の予約乗合型タクシーへの移行を検討する。			
知覧系統③厚地・河上線(寺園～河上～保健センター)		A		B	持続可能な運行を行うべく、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。			
知覧系統④下郡・打出口線(小金園～打越～保健センター)	A	B	地域特性にあった運行形態とすべく、ドアtoドア型の予約乗合型タクシーへの移行を検討する。					

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果		
		知覧系統⑤峯苔・平久保線(峯苔～平久保～知覧)		A	B	持続可能な運行を行うべく、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。	<p>・評価の指標は、路線毎の平均乗車人数。</p> <p>・利用実態を分析され、運行形態を変更するなど見直しに取り組まれていることを評価します。</p> <p>・引き続き、利用者の増加及び減少の要因を丁寧に分析し、利便性の向上が図られることを期待します。</p> <p>・今後も、南九州市地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。</p> <p>・協議会が、日々の公共交通の利用状況や関係する取組の進捗状況を関係者間で共有し、正しく認識してもらうための場として活用されることを期待します。</p>		
		知覧系統⑥ニツ谷・堤之原線(ニツ谷～堤之原～知覧)		A	C	利便性向上による新規利用者の獲得を目指すため、ドアtoドア型の予約乗合型タクシーへの変更を検討する。			
		知覧系統⑦高星・林川線(高星～林川～知覧)		A	B	地域特性にあった運行形態とすべく、ドアtoドア型の予約乗合型タクシーへの移行を検討する。			
		知覧系統⑨飯野・横峯線(高吉～中福良～知覧)		A	A	利便性向上による新規利用者の更なる獲得を目指すため、ドアtoドア型の予約乗合型タクシーへの変更を検討する。			
		知覧系統⑪竹迫・立山線(竹迫北～立山～霧上げんき館)		A	B	利便性向上を図るため、令和5年12月からドアtoドア型の予約乗合型タクシーの実証運行を開始、令和6年10月から本格運行となった。(それに伴い、当該系統は廃止。)			
		知覧系統⑫中渡瀬・木原線(中渡瀬～上木原～松山)		A	C	利便性向上を図るため、令和5年12月からドアtoドア型の予約乗合型タクシーの実証運行を開始、令和6年10月から本格運行となった。(それに伴い、当該系統は廃止。)			
			額娃系統②浦芝原・麓線(浦芝原～麓南～額娃図書館)		A	B		持続可能な運行を行うべく、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。	
			額娃系統④佃・奥園線(佃～奥園～額娃図書館)		A	B		利便性向上を図るため、令和5年12月からドアtoドア型の予約乗合型タクシーの実証運行を開始、令和6年10月から本格運行となった。(それに伴い、当該系統は廃止。)	
			額娃系統⑥矢越・山下線(矢越～御領山下～額娃図書館)		A	B		利便性向上を図るため、令和5年12月からドアtoドア型の予約乗合型タクシーの実証運行を開始、令和6年10月から本格運行となった。(それに伴い、当該系統は廃止。)	
			額娃系統⑦蓮子・水成川線(蓮子～水成川～額娃図書館)		A	B		地域特性にあった運行形態とすべく、ドアtoドア型の予約乗合型タクシーへの移行を検討する。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
	(株)南九州あづま交通	顔娃娃系統④青戸・福留線(青戸農村公園～福留～顔娃娃図書館)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	C	地域特性にあった運行形態とすべく、ドアtoドア型の予約型乗合タクシーへの移行を検討する。		
		顔娃娃系統④源川・小原線(加治佐～小原～顔娃娃図書館)		A	B	地域特性にあった運行形態とすべく、ドアtoドア型の予約型乗合タクシーへの移行を検討する。		
		顔娃娃系統④曲谷・赤崎線(曲谷～赤崎～顔娃娃図書館)		A	B	地域特性にあった運行形態とすべく、ドアtoドア型の予約型乗合タクシーへの移行を検討する。		
		顔娃娃系統④種子尾・一氏線(種子尾～一氏～顔娃娃図書館)		A	B	地域特性にあった運行形態とすべく、ドアtoドア型の予約型乗合タクシーへの移行を検討する。		
		顔娃娃系統④源川・耳原線(加治佐～耳原～別府温泉)		A	B	地域特性にあった運行形態とすべく、ドアtoドア型の予約型乗合タクシーへの移行を検討する。		
		顔娃娃系統④青戸・石垣線(青戸農村公園～石垣～別府温泉)		A	B	地域特性にあった運行形態とすべく、ドアtoドア型の予約型乗合タクシーへの移行を検討する。		
	(有)池田観光	顔娃娃系統①長崎・前原線(長崎～前原～顔娃娃図書館)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	持続可能な運行を行うべく、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
		顔娃娃系統③永谷・春向線(永谷～春向～顔娃娃図書館)		A	B	持続可能な運行を行うべく、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
		顔娃娃系統⑤下出・木之元線(下出～木之元～顔娃娃図書館)		A	B	利便性向上を図るため、令和5年12月からドアtoドア型の予約型乗合タクシーの実証運行を開始、令和6年10月から本格運行となった。(それに伴い、当該系統は廃止。)		
		顔娃娃系統③熊ヶ谷・栲山線(熊ヶ谷～栲山～顔娃娃図書館)		A	B	持続可能な運行を行うべく、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通(株)	かのやくりんバス(市街地巡回バス) (鹿屋～西原寿中央～鹿屋) ・西まわり ・東まわり	・運転免許返納者に限り運賃無料としている。(R2.4～R8.3) ・市ホームページやスマートフォンアプリに、運行ルートやダイヤ等を掲載し情報発信に努めた。 ・バス待合所利用状況調査やバス乗込調査を行い、利用者の声や要望等の把握に努めた。	A	A	・更なる利便性向上のため、利用者や地域のニーズを踏まえ、運行ルートや時刻表の見直し、新規ルートについて検討する。	・評価の指標は、路線毎の1便当たりの平均利用者数、利用実態を分析され、運行形態を変更するなど見直しに取り組まれていることを評価します。 ・引き続き、利用者の増加及び減少の要因を丁寧に分析し、利便性の向上を図られることを期待します。 ・今後も、鹿屋市地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。 ・協議会が、日々の公共交通の利用状況や関係する取組の進捗状況を関係者間で共有し、正しく認識してもらうための場として活用されることを期待します。	
		串良地区くるりんバス 馬掛ルート (馬掛公民館～永和～串良さくら温泉)		A	C	・利用者が固定客となっており、依然厳しい利用状況である。 ・デマンド交通への移行を行うことで、利用者ニーズに対応し、持続可能な運行を行う。 ※R6年度は便人数要件を満たさず補助対象外		
		串良地区くるりんバス 新堀ルート (新堀公民館～永和～串良さくら温泉)	・運転免許返納者に限り運賃無料としている。(R2.4～R8.3) ・市ホームページやスマートフォンアプリに、運行ルートやダイヤ等を掲載し情報発信に努めた。 ・利用者ニーズに対応するため、デマンド交通への移行検討を行った。	A	C	・利用者が固定客となっており、依然厳しい利用状況である。 ・デマンド交通への移行を行うことで、利用者ニーズに対応し、持続可能な運行を行う。		
		串良地区くるりんバス 市街地・堅田ルート (串良さくら温泉～堅田永和～串良さくら温泉) ・上り ・下り		A	C	・利用者が固定客となっており、依然厳しい利用状況である。 ・デマンド交通への移行を行うことで、利用者ニーズに対応し、持続可能な運行を行う。 ※R6年度は便人数要件を満たさず補助対象外		
		串良地区くるりんバス 市街地ルート (串良さくら温泉～永和～串良さくら温泉)		A	C	・利用者が固定客となっており、依然厳しい利用状況である。 ・デマンド交通への移行を行うことで、利用者ニーズに対応し、持続可能な運行を行う。 ※R6年度は便人数要件を満たさず補助対象外		
		かのやくりんバス(市街地巡回バス・北ルート) (鹿屋～茅場旭原～鹿屋) ・右まわり ・左まわり	・運転免許返納者に限り運賃無料としている。(R2.4～R8.3) ・市ホームページやスマートフォンアプリに、運行ルートやダイヤ等を掲載し情報発信に努めた。 ・バス待合所利用状況調査やバス乗込調査を行い、利用者の声や要望等の把握に努めた。	A	A	・更なる利便性向上のため、利用者や地域のニーズを踏まえ、運行ルートや時刻表の見直し、新規ルートについて検討する。		
	大始良地区くるりんバス (鹿屋～川西南～鹿屋) ・右まわり ・左まわり	・運転免許返納者に限り運賃無料としている。(R2.4～R8.3) ・市ホームページやスマートフォンアプリに、運行ルートやダイヤ等を掲載し情報発信に努めた。 ・バス待合所利用状況調査やバス乗込調査を行い、利用者の声や要望等の把握に努めた。	A	A	・更なる利便性向上のため、利用者や地域のニーズを踏まえ、運行ルートや時刻表の見直し、新規ルートについて検討する。			
鹿児島第一交通(株) 鹿屋営業所	かのや市乗合ワゴン(花岡・上野線) (区域運行) 花岡～上野～西原～鹿屋	・利便性向上と利用促進を図るため、運行区域・運行日数・便数を拡充し、R5.10からデマンド交通としR6.4から本格運行を開始した。	A	A	・乗降エリア内町内会に対し、利用者の掘り起こしを行う。 ・更なる利便性向上のため、利用者や地域のニーズを踏まえ、乗降エリアや乗降ポイントの見直しを検討する。			
垂水市地域公共交通活性化協議会	小森 勇(協和タクシー)	事前予約型乗合タクシー運行(市木地区～中央地区) 【市木ルート】		A	A	令和2年10月からの増便及び時間変更が目標達成につながったと考える。 また、令和6年6月に策定した「垂水市地域公共交通計画」に基づき、今後も継続して利便性の向上に努め、持続可能な運行を目指す。		
	(有)オダ	事前予約型乗合タクシー運行(大野地区～中央地区) 【大野ルート】	・利用者数の更なる増加を図るため、広報誌による乗合タクシー制度等を周知。 ・乗合タクシー制度に対する意見や要望等を収集するため、利用者を対象としたアンケート調査(聞き取り)を実施。 ・乗合タクシーの利用者数増加を図るため、振興会長及び高校生を対象としたアンケート調査を実施。	A	A	通学による安定的な利用者の確保に加え、令和2年10月からの増便及び時間変更が目標達成につながったと考える。 また、令和6年6月に策定した「垂水市地域公共交通計画」に基づき、今後も継続して利便性の向上に努め、持続可能な運行を目指す。		
	南海交通(株)	事前予約型乗合タクシー運行(水之上地区～中央地区) 【内ノ野ルート】		A	C	目標未達の要因として、免許証返納割引利用者が令和4年度より336人減少していることから、自然減や施設入所等が考えられる。 また、令和6年6月に策定した「垂水市地域公共交通計画」に基づき、今後も継続して利便性の向上に努め、地域の実情に応じた運行を検討したい。		
		事前予約型乗合タクシー運行(水之上地区～中央地区) 【小谷ルート】		A	C	目標未達の要因として、免許証返納割引利用者が令和4年度より159人減少していることから、自然減や施設入所等が考えられる。 また、令和6年6月に策定した「垂水市地域公共交通計画」に基づき、今後も継続して利便性の向上に努め、地域の実情に応じた運行を検討したい。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
沖永良部地域公共交通活性化協議会	沖永良部バス企業団	知名～沖永良部空港間の路線バスの運行	路線バス利用者が全体的に減少し、自治体負担が増加していることから、より効率的な路線の検討及び利用者増に取り組むため、町民アンケート及び高校生アンケートを実施した。	A	A	空港や官公庁所在地を通過する沖永良部島内の基幹路線として、航空ダイヤへの接続を考慮した運行を継続するとともに、効率的な路線再編においても基幹路線として確保維持を図るため、他の路線への接続などの利便性向上や中高生の利用増に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、路線毎の利用者数。 ・利用状況の要因を丁寧に分析し、利用実態を踏まえた地域にとって利便性の高い公共交通となるよう、見直しの検討が図られることを期待します。 ・今後も、沖永良部地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。 ・協議会が、日々の公共交通の利用状況や関係する取組の進捗状況を関係者間で共有し、正しく認識してもらうための場として活用されることを期待します。 	
		知名～国頭間の路線定期バスの運行	路線バス利用者が全体的に減少し、自治体負担が増加していることから、より効率的な路線の検討及び利用者増に取り組むため、町民アンケート及び高校生アンケートを実施した。	A	B	目標を下回ったことから、運行ルートの重複する新空港線との統廃合など含めた、効率的な路線の再編及び実証運行について検討する。		
		知名～永嶺～和泊間の路線定期バスの運行	路線バス利用者が全体的に減少し、自治体負担が増加していることから、より効率的な路線の検討及び利用者増に取り組むため、町民アンケート及び高校生アンケートを実施した。	A	C	目標を大きく下回り、根本的な見直しが必要である。今年度実施したアンケート調査等をもとに、より効率的な路線の検討及び利用者増に向けた実証運行について検討する。		
		知名～後間～和泊間の路線定期バスの運行	路線バス利用者が全体的に減少し、自治体負担が増加していることから、より効率的な路線の検討及び利用者増に取り組むため、町民アンケート及び高校生アンケートを実施した。	A	C	目標を大きく下回り、根本的な見直しが必要である。今年度実施したアンケート調査等をもとに、より効率的な移動実態や利用目的に即した効率的な路線再編に向けた実証運行について検討する。		
		知名～下平川～和泊間の路線定期バスの運行	路線バス利用者が全体的に減少し、自治体負担が増加していることから、より効率的な路線の検討及び利用者増に取り組むため、町民アンケート及び高校生アンケートを実施した。	A	C	目標を大きく下回り、根本的な見直しが必要である。今年度実施したアンケート調査等をもとに、より効率的な移動実態や利用目的に即した効率的な路線再編に向けた実証運行について検討する。		
		和泊～伊延港間、和泊～和泊港・伊延港間、知名～知名港間の路線不定期バスの運行	定期航路線を利用する観光客や港までの移動手段の無い高齢者等にとって必要な路線であることから、引き続き広報等を行い利用促進を図る。	A	A	天候等による寄港地変更にも対応できるデマンド運行により目標を達成できた。利用者の利便性向上に寄与していることから、引き続き路線の確保維持を図る。		
伊佐交通観光(株)	伊佐交通観光(株)	曾木バス停～川西地区の運行		A	C	路線エリアの人口減少等を分析しつつ、運行エリアの見直しを行い、公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、利用者発掘に努める。		
		針持バス停～西山地区の運行		A	C			
		針持バス停～田原地区の運行		A	C			
		針持バス停～高塚地区の運行		A	C			
		菱刈中心地～市山花北地区の運行		A	B	路線エリアの人口減少等を分析しつつ、公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。		
		菱刈中心地～田中重留地区の運行		A	C	路線エリアの人口減少等を分析しつつ、運行エリアの見直しを行い、公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、利用者発掘に努める。		
		菱刈中心地～永池楠原地区の運行		A	B			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考		
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果			
伊佐市地域公共交通活性化協議会		菱刈中心地～野池小川添地区の運行	市広報紙への記事掲載、警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布、福祉関係者等への周知等で、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	B	路線エリアの人口減少等を分析しつつ、公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。	<p>・評価の指標は、路線毎の乗車人数。 ・利用実態を分析され、利便性の高い公共交通となるよう、運行エリア等見直しに取り組まれていることを評価します。</p> <p>・引き続き、利用者の増加及び減少の要因を丁寧に分析し、利便性の向上が図られることを期待します。</p> <p>・伊佐市地域公共交通計画並びに今年度に策定された利便増進実施計画に基づき、更なる利用者利便の増進と持続可能な旅客運送サービスの提供の確保がなされることを期待します。</p> <p>・協議会が、日々の公共交通の利用状況や関係する取組の進捗状況を関係者間で共有し、正しく認識してもらうための場として活用されることを期待します。</p>			
		菱刈中心地～荒田地区の運行		A	B					
	(有)下小園タクシー	山野中心地～布計地区の運行		A	B	路線エリアの人口減少等を分析しつつ、公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。				
		山野中心地～小川内地区の運行		A	C	路線エリアの人口減少等を分析しつつ、運行エリアの見直しを行い、公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、利用者発掘に努める。				
		山野中心地～平出水地区の運行		A	B	路線エリアの人口減少等を分析しつつ、公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。				
		菱刈中心地～五色徳辺下地区の運行		A	B	路線エリアの人口減少等を分析しつつ、公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。				
		菱刈中心地～山田徳辺地区の運行		A	A	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。				
		菱刈中心地～下手地区の運行		A	A	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。				
		菱刈中心地～湯之尾地区の運行		A	B	路線エリアの人口減少等を分析しつつ、公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。				
		南国交通(株)		大口中心地～青木篠原地区循環運行	A	C			路線エリアの人口減少等を分析しつつ、運行方法の見直しを視野に入れながら、公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、利用者発掘に努める。	
	(有)鶴田タクシー			神子線(乗合タクシー) 大野～旧宮之城駅の運行	利用者の増減の要因を分析し、出前講座を活用した利用啓発に取り組んだ。地域を発着地とした利用例や地域間幹線系統への乗り継ぎ例等も示し、乗合タクシーだけでなく交通政策全体の利用啓発に努めた。	A			C	高齢者担当部署及び福祉部署との連携を図り引き続き、地域サロンなどの個別団体への啓発活動を継続していく。住民同士で買い物グループを作るなどの例を示しながら、1便あたりの乗車人数及び利用者数の増を図る。
鶴田線(乗合タクシー) 上場～旧宮之城駅の運行			A	B						
上狩宿・熊田線(乗合タクシー) 上狩宿～旧宮之城駅の運行			A	B						
段・葉師線(乗合タクシー) 段～旧宮之城駅の運行			A	B						
(株)宮都タクシー			金山線(乗合タクシー) 金山～旧宮之城駅の運行	A		B	高齢者担当部署及び福祉部署との連携を図り引き続き、地域サロンなどの個別団体への啓発活動を継続していく。住民同士で買い物グループを作るなどの例を示しながら、1便あたりの乗車人数及び利用者数の増を図る。			
			中津川・白猿線(乗合タクシー) 中津川～旧宮之城駅の運行	A		B				
			湯田・佐志線(乗合タクシー) 湯田～旧宮之城駅の運行	A		B				

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
さつま町地域公共交通活性化協議会		泊野・白男川線(乗合タクシー) 泊野～旧宮之城駅の運行		A	A		<p>・評価の指標は、各路線毎の利用者数。</p> <p>・利用促進のため、町内の関係部局と連携した啓発活動や出前講座の取組について評価します。</p> <p>・引き続き、利用者の増加及び減少の要因を丁寧に分析し、利便性の向上が図られることを期待します。</p> <p>・今後も、さつま町地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。</p> <p>・協議会が、日々の公共交通の利用状況や関係する取組の進捗状況を関係者間で共有し、正しく認識してもらうための場として活用されることを期待します。</p>	
	(株)神園サービス	山崎線(乗合タクシー) 山崎～旧宮之城駅の運行		A	A			
		登尾線(乗合タクシー) 登尾～旧宮之城駅の運行	利用者の増減の要因を分析し、出前講座を活用した利用啓発に取り組んだ。地域を発着地とした利用例や地域間幹線系統への乗り継ぎ例等も示し、乗合タクシーだけでなく交通政策全体の利用啓発に努めた。	A	B	高齢者担当部署及び福祉部署との連携を図り引き続き、地域サロンなどの個別団体への啓発活動を継続していく。住民同士で買い物グループを作るなどの例を示しながら、1便あたりの乗合人数及び利用者数の増を図る。		
		椋野・紫尾線(乗合タクシー) 椋野～旧宮之城駅の運行		A	B			
	(株)宮都タクシー	中津川線(コミュニティバス) 北方町自治公民館前～屋地本町の運行	一般利用者(大人)が少ない要因を分析し、出前講座を活用した利用啓発に取り組んだ。	A	A	一般利用者(大人)が少ない。引き続き、地域サロンなどの個別団体へコミュニティバスの運行時間帯での活用例を示し、一般(大人)利用の普及に努めていく。		
	(株)神園サービス	登尾線(コミュニティバス) 登尾～屋地本町の運行	一般利用者(大人)が少ない要因を分析し、出前講座を活用した利用啓発に取り組んだ。	A	A	一般利用者(大人)が少ない。引き続き、地域サロンなどの個別団体へコミュニティバスの運行時間帯での活用例を示し、一般(大人)利用の普及に努めていく。		
	(株)神園サービス	椋野・紫尾線(コミュニティバス) 市野～屋地本町の運行	一般利用者(大人)が少ない要因を分析し、出前講座を活用した利用啓発に取り組んだ。	A	A	一般利用者(大人)が少ない。引き続き、地域サロンなどの個別団体へコミュニティバスの運行時間帯での活用例を示し、一般(大人)利用の普及に努めていく。		
	(株)神園サービス	北原線(コミュニティバス) 牧之峰～屋地本町の運行	一般利用者(大人)が少ない要因を分析し、出前講座を活用した利用啓発に取り組んだ。	A	B	一般利用者(大人)が少ない。引き続き、地域サロンなどの個別団体へコミュニティバスの運行時間帯での活用例を示し、一般(大人)利用の普及に努めていく。		
(有)鶴田タクシー	栗野線(コミュニティバス) あじさい団地入口～屋地本町の運行	一般利用者(大人)が少ない要因を分析し、出前講座を活用した利用啓発に取り組んだ。	A	C	一般利用者(大人)が少ない。引き続き、地域サロンなどの個別団体へコミュニティバスの運行時間帯での活用例を示し、一般(大人)利用の普及に努めていく。			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
阿久根市地域公共交通活性化協議会	(資)阿久根タクシー	臨本北部系統 八郷～臨本地区公民館間の区域内運行	制度の周知を図るため、市ホームページ及び広報誌への掲載を行った。また、買物弱者支援という観点からも協議会等に参加し、意見交換を行った。 今後は、各区へ出向き、出前講座等の実施を検討している。	A	C	年間利用者数における目標達成状況が18.27%と利用者数が減少している。利用者数の固定化、リピーターの高齢化による減少が原因であると考えられる。令和7年度から運行時間の変更を行い、利便性向上と新たな利用者確保に向け、周知活動に努めたい。	評価の指標は、1便当たりの平均乗車人数。 ・利用状況の要因を丁寧に分析し、利用実態を踏まえた地域にとって利便性の高い公共交通となるよう、見直しの検討が図られることを期待します。 ・今後も、阿久根市地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。 ・協議会が、日々の公共交通の利用状況や関係する取組の進捗状況を関係者間で共有し、正しく認識してもらうための場として活用されることを期待します。	
		臨本西部系統 深田～臨本地区公民館間の区域内運行		A	C	年間利用者数における目標達成状況が0%と利用者数がない。令和7年度から新たに本系統に黒之浜区、大谷区を追加と、運行時間の変更を行い、利便性向上と利用者確保に向け、周知・広報活動に努めたい。		
		臨本東部(瀬之浦)系統 大淵川～臨本地区公民館間の区域内運行		A	C	年間利用者数における目標達成状況が7.69%と利用者数が減少している。実利用人数及び利用頻度の減少がみられることから、利用者ニーズを把握しながら周知活動に努めたい。また、リピーター以外の利用者確保にも努めたい。		
		臨本東部(桐野)系統 桐野上～臨本地区公民館間の区域内運行		A	C	年間利用者数における目標達成状況が0%と利用者数がない。令和7年度から運行時間の変更を行い、利便性向上と、利用者確保に向け、周知活動に努めたい。		
		西目・遠見ヶ岡・倉津系統 落～市民病院間の区域内運行		A	B	年間利用者数における目標達成状況が39.5%と、利用者数は増加しているが目標には届いていない。令和7年度から運行時間の変更を行い、利便性向上と新たな利用者確保に向け、周知活動に努めたい。		
		多田・桑原城系統 丸内～市役所間の区域内運行		A	C	年間利用者数における目標達成状況が36.19%と利用者数が減少している。実利用人数及び利用頻度の減少がみられることから、利用者ニーズを把握しながら周知活動に努めたい。また、リピーター以外の利用者確保にも努めたい。		
		山下系統 尾崎～市役所間の区域内運行		A	B	年間利用者数における目標達成状況が92.81%と、利用者数は増加しているが目標には届いていない。実利用人数及び利用頻度の減少がみられることから、利用者ニーズを把握しながら周知活動に努めたい。また、リピーター以外の利用者確保にも努めたい。		
	第一交通(株)	田代系統 米次～市役所間の区域内運行		A	C	年間利用者数における目標達成状況が59.05%と利用者数が減少している。実利用人数及び利用頻度の減少がみられることから、利用者ニーズを把握しながら周知活動に努めたい。また、リピーター以外の利用者確保にも努めたい。		
		鶴川内系統 木佐木野～市役所間の区域内運行		A	C	年間利用者数における目標達成状況が35.18%と利用者数が減少している。実利用人数及び利用頻度の減少がみられることから、利用者ニーズを把握しながら周知活動に努めたい。また、リピーター以外の利用者確保にも努めたい。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
いちき串木野市地域公共交通会議	第一交通(株)	いきいきタクシー 川上線の運行	前年の実績見込みを1.3人(1便当りの利用者数)とし、人口減少はあるが、目標値2.0人(前年比154%)以上とする。	A	C	令和6年度においては、各路線において目標は達成できなかったが、4路線のうち3路線において昨年度より利用者数が増加した。 令和7年度以降においても、実績を基に評価を行うが、引き続き地域公共交通計画に基づいて、路線のPRや利便性の向上を図り、事業の目標の設定及び達成に努める。	*評価の指標は、各路線毎の1便当りの利用者数。 *各路線においての目標は達成できなかったとありますが、一部路線については昨年度よりも利用者数が増加していることですので、引き続き周知活動に取り組み、利用促進を図られることを期待します。 *今後も、いちき串木野市地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。 *協議会が、日々の公共交通の利用状況や関係する取組の進捗状況を関係者間で共有し、正しく認識してもらうための場として活用されることを期待します。	
		いきいきタクシー 大里線の運行	前年の実績見込みを1.1人(1便当りの利用者数)とし、人口減少はあるが、目標値2.0人(前年比181%)以上とする。	A	C			
		いきいきタクシー 冠岳・生福・上名線の運行	前年の実績見込みを1.4人(1便当りの利用者数)とし、人口減少はあるが、目標値2.0人(前年比143%)以上とする。	A	B			
		いきいきタクシー 旭線の運行	前年の実績見込みを1.3人(1便当りの利用者数)とし、人口減少はあるが、目標値2.0人(前年比166%)以上とする。	A	B			
肝付町地域公共交通会議	(株)銀河タクシー	事前予約型乗合タクシー事業 辺塚～岸良～内之浦	【辺塚～岸良～内之浦】 利用者の要望や乗務員の意見収集を実施し、対応マニュアルを作成しサービスの向上を図った。	A	B	広報誌やホームページ等での情報発信や利用方法の説明会などを行い利用促進を図る。また、交通事業者の人手不足も課題となっているため策定した地域公共交通計画に基づき事業を実施し、持続可能な公共交通サービスの提供を目指す。	*評価の指標は、各路線毎の利用者数。 *利用者からの意見のとりまとめや対応マニュアルの作成など利用促進の取組について評価します。 *引き続き、利用状況を丁寧に分析し、利便性の向上が図られることを期待します。 *今後も、肝付町地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。 *協議会が、日々の公共交通の利用状況や関係する取組の進捗状況を関係者間で共有し、正しく認識してもらうための場として活用されることを期待します。	
		おでかけタクシー事業 内之浦市街地	【内之浦市街地】 *前広報誌に掲載し周知を図った。 *利用者の要望や乗務員の意見収集を実施し、対応マニュアルを作成しサービスの向上を図った。	A	A			
	(有)立石タクシー	事前予約型乗合タクシー事業 岸良～高山	【岸良～高山】 利用者の要望や乗務員の意見収集を実施し、対応マニュアルを作成しサービスの向上を図った。	A	A			
		おでかけタクシー事業 高山市街地 有明エリア 川上エリア	【高山市街地、有明・川上エリア】 *前広報誌に掲載し周知を図った。 *利用者の要望や乗務員の意見収集を実施し、対応マニュアルを作成しサービスの向上を図った。	A	A			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー ひまわり交通(株) (有)伊集院タクシー	上神殿線	・公共交通マップ ・総合時刻表の作成・配布2,500部 ・市広報誌での利用促進 ・自治会や地区公民館へ向けて出前講座を実施。	A	B	乗合タクシー制度の見直しを行い、令和6年12月から実証運行を行っているところであり、2月からの本格運行に向け、新規利用者の獲得に努める。		
		中川・郡線		A	A			
		竹之山・土橋線		A	B			
		上・下方限線		A	B			
		坊野・扇尾・古城線		A	B			
		美山・大田・久木野々線		A	B			
	(有)内田タクシー (有)湯の浦タクシー	平鹿倉・湯之元線	・公共交通マップ ・総合時刻表の作成・配布2,500部 ・市広報誌での利用促進 ・自治会や地区公民館へ向けて出前講座を実施。	A	B	乗合タクシー制度の見直しを行い、令和6年12月から実証運行を行っているところであり、2月からの本格運行に向け、新規利用者の獲得に努める。		
		日添・田之尻線		A	B			
		和田線		A	A			
		藤元・野首線		A	A			
		坊野・田尻線		A	B			
	(有)吉村タクシー	日新線	・公共交通マップ ・総合時刻表の作成・配布2,500部 ・市広報誌での利用促進 ・自治会や地区公民館へ向けて出前講座を実施。	A	B	乗合タクシー制度の見直しを行い、令和6年12月から実証運行を行っているところであり、2月からの本格運行に向け、新規利用者の獲得に努める。		
		日置線		A	A			
		吉利線		A	A			
		扇尾線		A	B			
		住吉線		A	A			
	第一交通(株)	上野・皆田線	・公共交通マップ ・総合時刻表の作成・配布2,500部 ・市広報誌での利用促進 ・自治会や地区公民館へ向けて出前講座を実施。	A	B	乗合タクシー制度の見直しを行い、令和6年12月から実証運行を行っているところであり、2月からの本格運行に向け、新規利用者の獲得に努める。		
		高山・上市来(東市来)線		A	A			
		高山・上市来(伊集院)線		A	B			
	ひまわり交通㈱ (有)伊集院タクシー (有)吉村タクシー	飯牟礼・住吉線	・公共交通マップ ・総合時刻表の作成・配布2,500部 ・市広報誌での利用促進 ・自治会や地区公民館へ向けて出前講座を実施。	A	A	乗合タクシー制度の見直しを行い、令和6年12月から実証運行を行っているところであり、2月からの本格運行に向け、新規利用者の獲得に努める。		
	第一交通㈱	鶴丸線	・公共交通マップ ・総合時刻表の作成・配布2,500部 ・市広報誌での利用促進 ・自治会や地区公民館へ向けて出前講座を実施。	A	B	乗合タクシー制度の見直しを行い、令和6年12月から実証運行を行っているところであり、2月からの本格運行に向け、新規利用者の獲得に努める。		
		江口・湯田線		A	A			
		南神之川・永山線		A	B			
		美山線		A	B			
(有)内田タクシー (有)湯の浦タクシー	吹上・伊作線	・公共交通マップ ・総合時刻表の作成・配布2,500部 ・市広報誌での利用促進 ・自治会や地区公民館へ向けて出前講座を実施。	A	B	乗合タクシー制度の見直しを行い、令和6年12月から実証運行を行っているところであり、2月からの本格運行に向け、新規利用者の獲得に努める。			
	永吉・花田線		A	A				

・評価指標は、各路線毎の運行回数。全地区における利用者数。
 ・利用実態を分析され、利用方法や予約方法の見直しに取り組みられていることを評価します。
 ・引き続き、利用者の増加及び減少の要因を丁寧に分析し、利便性の向上が図られることを期待します。
 ・今後も、日置市地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。
 ・協議会が、日々の公共交通の利用状況や関係する取組の進捗状況を関係者間で共有し、正しく認識してもらうための場として活用されることを期待します。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
南さつま市地域公共交通協議会	鹿兒島交通(株)	坊津から加世田市街地の運行 (中山線) R5.10.1～R6.9.30	市内路線を含むバス時刻表を作成配布、バス時刻表の Googlemaps上検索データの更新、市HP等を活用した広報 活動等を通じて、コミュニティバスの現状や利便性を伝えるな ど、利用の普及を図った。	A	B	今後も利用者の利便性向上を図り利用者数増を目指す。 乗込み調査等を実施し、利用者のニーズを適切に把握し、運行内容の見直しにつ いても必要に応じ対応していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価指標は、各路線毎の利用者数。 ・利用実態を分析され、運行形態の見直しに取り組み られていることを評価します。 ・引き続き、利用者の増加及び減少の要因を丁寧 に分析し、利便性の向上が図られることを期待 します。 ・今後も、南さつま市地域公共交通計画に基づ き、持続可能な旅客運送サービスが提供される ことを期待します。 ・協議会が、日々の公共交通の利用状況や関係 する取組の進捗状況を関係者間で共有し、正 しく認識してもらうための場として活用され ることを期待します。 	
		池辺から加世田市街地の運行 (高橋線) R5.10.1～R6.3.31		A	B	バス運転手の不足の観点から予約型乗合タクシーへ移行を行っていく。半年間実証 を行った後、実装を行っていく。		
		大木場から加世田市街地の運行(大木場線) R5.10.1～R6.3.31		A	B	バス運転手の不足の観点から予約型乗合タクシーへ移行を行っていく。大浦～加世 田間は路線バスの野間池線に集約を行う。		
		池辺門前からゆうらくの運行 (池辺線) R5.10.1～R6.3.31		A	B	バス運転手の不足の観点から予約型乗合タクシーへ移行を行っていく。		
	(株)森田タクシー	内山田から加世田市街地の運行(鉄山線) R5.10.1～R6.9.30	市内路線を含むバス時刻表を作成配布、市HP等を活用した 広報活動等を通じて、乗合タクシーの現状や利便性を伝える など、利用の普及を図った。	A	B	乗込み調査等を実施し、利用者のニーズを適切に把握し、運行内容の見直しにつ いて必要に応じ実施していく。		
	南海交通(株)	白川・大田・阿多・大坂から加世田市街地等の運行(白川 線) R5.10.1～R6.9.30	市内路線を含むバス時刻表を作成配布、市HP等を活用した 広報活動等を通じて、乗合タクシーの現状や利便性を伝える など、利用の普及を図った。	A	B	車両乗込み調査等を実施し、利用者のニーズを適切に把握し、運行内容の見直し について必要に応じ実施していく。		
		池辺地区から加世田市街地等の運行(池辺線) R6.4.1～R6.9.30	市内路線を含むバス時刻表を作成配布、市HP等を活用した 広報活動等を通じて、乗合タクシーの現状や利便性を伝える など、利用の普及を図った。	A	B	車両乗込み調査等を実施し、利用者のニーズを適切に把握し、運行内容の見直し について必要に応じ実施していく。		
		秋目・大木場地区から加世田市街地の運行 (秋目・大木場線) R6.4.1～R6.9.30	市内路線を含むバス時刻表を作成配布、市HP等を活用した 広報活動等を通じて、乗合タクシーの現状や利便性を伝える など、利用の普及を図った。	A	B	車両乗込み調査等を実施し、利用者のニーズを適切に把握し、運行内容の見直し について必要に応じ実施していく。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
始良市地域公共交通会議	(有)あいら交通	ふるさとバス蒲生・春花線(西回り)	前年も目標を達成したため、昨年度に引き続きコミュニティバス無料月間を実施するとともに、ラジオや広報誌、始良市公式LINEによる周知を行った。	A	A	今年度は目標達成できたが、引き続き利用促進のために、広報・周知を図り、更なる乗車人数の増加策に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、各路線毎の1便当たりの乗車人数(バス)、運行収支率(乗合タクシー)。 ・利用促進のため、コミュニティバス無料月間の実施やラジオ、広報誌、公式LINEによる啓発活動の取組について評価します。 ・引き続き、利用者の増加及び減少の要因を丁寧に分析し、利便性の向上が図られることを期待します。 ・今後も、始良市地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。 ・協議会が、日々の公共交通の利用状況や関係する取組の進捗状況を関係者間で共有し、正しく認識してもらうための場として活用されることを期待します。 	
		ふるさとバス蒲生・春花線(東回り)	前年も目標を達成したため、昨年度に引き続きコミュニティバス無料月間を実施するとともに、ラジオや広報誌、始良市公式LINEによる周知を行った。	A	A	今年度は目標達成できたが、引き続き利用促進のために、広報・周知を図り、更なる乗車人数の増加策に取り組む。		
		上名地区予約型乗合タクシー	前回は目標未達成だったが、利用促進のためのラジオを活用した周知を行い、目標を達成できた。	A	A	今年度は目標達成できたが、引き続き利用促進のために、広報・周知を図り、更なる乗車人数の増加及び相乗り率の向上に取り組む。		
		永原校区地区予約型乗合タクシー(辺川方面)	前年も目標を達成。今年度も継続して利用促進のためにラジオを活用した周知を行い、目標を達成できた。	A	A	今年度は目標達成できたが、引き続き利用促進のために、広報・周知を図り、更なる乗車人数の増加及び相乗り率の向上に取り組む。		
		北山校区(木津志方面)予約型乗合タクシー	前回は目標未達成だったため、今年度も継続して利用促進のためにラジオを活用した周知を行ったが、今回も目標未達成だった。	A	B	運行距離と比例して運行経費が増加していることが目標未達成の原因であると考えられる。広報・周知による利用促進を図り、相乗り率の向上に取り組む。		
		北山校区(木場方面)予約型乗合タクシー	前回は目標未達成だったため、今年度も継続して利用促進のためにラジオを活用した周知を行ったが、今回も目標未達成だった。	A	B	運行距離と比例して運行経費が増加していることが目標未達成の原因であると考えられる。広報・周知による利用促進を図り、相乗り率の向上に取り組む。		
	南国交通㈱	蒲生地区巡回バス(蒲生・山田・帖佐線)	前年も目標を達成したため、昨年度に引き続きコミュニティバス無料月間を実施するとともに、ラジオや広報誌、始良市公式LINEによる周知を行った。	A	A	今年度は目標達成できたが、引き続き利用促進のために、広報・周知を図り、更なる乗車人数の増加及び相乗り率の向上に取り組む。		
	鹿児島交通㈱	加治木地区循環バス	前年も目標を達成したため、昨年度に引き続きコミュニティバス無料月間を実施するとともに、ラジオや広報誌、始良市公式LINEによる周知を行った。	A	A	今年度は目標達成できたが、引き続き利用促進のために、広報・周知を図り、更なる乗車人数の増加策に取り組む。		
		重富地区循環バス	令和4年11月から運行を開始したが、利用者が定着しつつある。コミュニティバス無料月間を実施するとともに、ラジオ、広報誌、始良市公式LINEでの周知を行った。	A	A	利用者の定着がみられる。引き続き利用促進のために、広報・周知を図り、更なる乗車人数の増加策に取り組む。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
	第一交通圏	新留地区予約型乗合タクシー	前回は目標未達成だったため、今年度も継続して利用促進のためにラジオを活用した周知を行ったが、今回も目標未達成だった。	A	C	運行距離と比例して運行経費が増加していることが目標未達成の原因であると考えられる。広報・周知による利用促進を図り、相乗り率の向上に取り組む。		
		大山地区予約型乗合タクシー	前回は目標未達成だったため、今年度も継続して利用促進のためにラジオを活用した周知を行ったが、今回も目標未達成だった。	A	B	運行距離と比例して運行経費が増加していることが目標未達成の原因であると考えられる。広報・周知による利用促進を図り、相乗り率の向上に取り組む。		
		久末地区高牧集落予約型乗合タクシー	前回は目標未達成だったため、今年度も継続して利用促進のためにラジオを活用した周知を行ったが、今回も目標未達成だった。	A	C	この地域において利用者が1年を通して0人であった。免許返納等の際に、乗合タクシーの利用を選択肢に加えていただけるよう、利用方法等についての広報・周知を行う。		
		永原校区地区予約型乗合タクシー(菖蒲谷・嶽方面)	前回は目標未達成だったため、今年度も継続して利用促進のためにラジオを活用した周知を行ったが、今回も目標未達成だった。	A	B	運行距離と比例して運行経費が増加していることが目標未達成の原因であると考えられる。広報・周知による利用促進を図り、相乗り率の向上に取り組む。		
		竜門校区予約型乗合タクシー(市来原・迫・西浦方面)	前回は目標を達成。今年度も継続して利用促進のためにラジオを活用した周知を行い、目標を達成できた。	A	A	今年度は目標達成できたが、引き続き利用促進のために、広報・周知を図り、更なる乗車人数の増加及び相乗り率の向上に取り組む。		
		中野地区予約型乗合タクシー	前回は目標未達成だったため、今年度も継続して利用促進のためにラジオを活用した周知を行い、目標を達成できた。	A	A	今年度は目標達成できたが、引き続き利用促進のために、広報・周知を図り、更なる乗車人数の増加及び相乗り率の向上に取り組む。		
指宿市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通圏	コミュニティバス(イッシーバス)の運行 (1)小牧～ニシムタ指宿店線		A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年3月に策定した指宿市地域公共交通計画に基づき、目標達成に向けたマネジメントの強化を図る。 ・地域公共交通の利用促進対策を講じる。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 指宿市のりものガイドの発行 (2) 出前講座や住民との意見交換会の実施 (3) 地域の方の要望に応じ、随時運行ルートの変更等を行う。 (4) 利便性の向上を図るため、他の交通モードへの転換を検討する。 (5) 来庁できない利用希望者に対する、現地説明及び申込受付 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は1便当たりの乗車人員。 ・指宿市のりものガイドを医療機関を中心に配布するなど効果的な周知活動に努められていることを評価します。 ・他方で、利用者の増加及び減少の要因を丁寧に分析し、利便性の向上が図られることを期待します。 ・引き続き、指宿市地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。 ・協議会が、日々の公共交通の利用状況や関係する取組の進捗状況を関係者間で共有し、正しく認識してもらうための場として活用されることを期待します。 	
	鹿児島交通圏	コミュニティバス(イッシーバス)の運行 (2)川尻～なのはな館線		A	A			
	指宿観光交通圏	予約型乗合タクシーの運行 (1)島久保・西方線		A	A			
	鹿児島第一交通圏	予約型乗合タクシーの運行 (1)池田線	・指宿市のりものガイドの刷新を発行し、医療機関を中心に配布することで、メインターゲットとなる高齢者への周知活動を行った。	A	A			
	柵鹿屋自動車学校	予約型乗合タクシーの運行 (1)魚見線	・住民の要望を受け、時刻表の変更を行った。(予約型乗合タクシー一般線)	A	C			
	柵鹿屋自動車学校	予約型乗合タクシーの運行 (2)鯉線		A	A			
	柵鹿屋自動車学校	予約型乗合タクシーの運行 (3)尾下線		A	C			
	柵南九州あづま交通	予約型乗合タクシーの運行 (開閉線)		A	A			
志布志市地域公共交通活性化協議会	チョイソコしぶし (有)大隅観光タクシー・大隅南海交通(株))	・市内全域でチョイソコしぶしを運行 ・土日祝を除く午前9時から午後4時まで運行 ・事業年度期間中に台風で2日間運休したが、それ以外は当初の予定どおり運行できた。	前回の事業評価結果を踏まえて、インターネット予約の開始、会員区分の廃止等の制度改正を行った。	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は乗合率。 ・利用実態を分析され、予約方法などの見直しに取り組まれていることを評価します。 ・引き続き、利用者の増加及び減少の要因を丁寧に分析し、利便性の向上が図られることを期待します。 ・今後も、志布志市地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。 ・協議会が、日々の公共交通の利用状況や関係する取組の進捗状況を関係者間で共有し、正しく認識してもらうための場として活用されることを期待します。 		